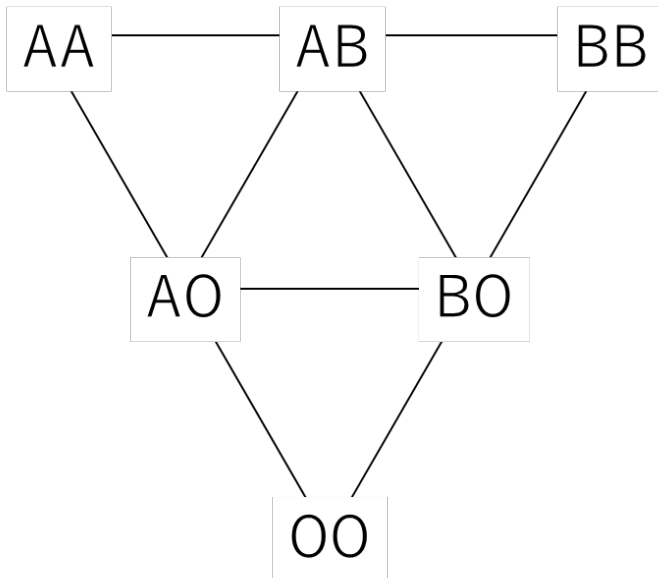


遺伝子型による

6 タイプ血液型の人間学

AA 型と AO 型、BB 型と BO 型はこんなに違う

宮尾繁幸・著



プロローグ

1932年古川竹二が『血液型と気質』を発表して以来、血液型性格分類は1世紀近くが経過しようとしている。ここ90年間、血液型性格分類は大きなブームとなった。能見正比古が血液型と性格の関連性を世に広めて以来、血液型と性格の関連性は巷では常に話題となってきた。ABO式血液型を4つのタイプに分け、A型は生真面目、O型はおおらか、B型は気分屋、AB型は二重人格などと評した本は数え切れない。各血液型の特徴は今まで何度も多くの書籍で語られてきたため、人々の認識にも一通り刻まれているだろう。しかし、ここで大きな疑問がある。そもそも、血液型の4分類は正しいのか？

ABO式血液型は、A、B、Oの3タイプの対立遺伝子が、AA、AO、BB、BO、AB、OOの6タイプの遺伝子型を構成する。すなわち、遺伝子レベルでは血液型は6分類なのである。であれば、性格も6分類するのが適切ではないのか。我々が「A型」と呼ぶのはAA型とAO型を合わせた呼称である。「B型」はBB型とBO型を合わせた呼称である。「O型」はOO型の呼称である。今まで、血液型で性格分類を行う際には、4分類が大前提であり、そこに何の疑問も持たれてこなかった。しかし、AA型とAO型、BB型とBO型は明らかに違う。4分類の血液型性格本を読み、「ん？自分とは違うな」と思った「A型」と「B型」の方、それはAA型とAO型、BB型とBO型を一緒に括って論じているからである。本書では従来の血液型の4分類は大きな間違いであると考えている。血液型は6タイプに分類すべきである。このような前提で本書は議論を進めていく。

そして、本書では、血液型と県民性、世界の文化・政治や人類の拡散史までを論じる。今まで、血液型の書籍は対人関係や恋愛が中心であった。本書では切り口を変え、全地球スケールで、血液型から人類社会の本質に迫りた

い。世界の政治、文化、そして人類の歴史までもが、血液型を見れば快刀乱麻に解き明かされてしまう。本書を読んでいただければ、そのことがわかりいただけると思う。

筆者

※なお、本書で言及する人物については、基本的に敬称略とさせていただく。

目次

プロローグ . . . 3

第 1 章 血液型 4 分類の誤謬 . . . 9

ABO 式血液型とは . . . 10

各抗原の分子構造 . . . 10

血液型と気質 . . . 11

日本心理学会の誤謬 . . . 11

血液型は気質に関係する . . . 13

血液型は 6 タイプで議論する必要がある . . . 14

気質を決めているのは糖鎖ではない . . . 15

第 2 章 A、B、O の 3 遺伝子が作る 6 タイプ血液型 . . . 19

血液型三角形 . . . 20

6 タイプ血液型と気質 . . . 21

ホモとヘテロの気質 . . . 21

O あり族と O なし族の気質 . . . 22

AO 型と AA 型、BO 型と BB 型の判別方法 . . . 22

AA 型と AO 型、BO 型と BB 型の気質の違い . . . 31

A、B、O 因子の気質特徴 . . . 32

有名人の 6 タイプ血液型一覧 . . . 34

第3章 6タイプ血液型の詳細説明・・・39

AA型・・・40

AO型・・・42

BB型・・・45

BO型・・・47

OO型・・・50

AB型・・・53

両親の血液型と気質・・・56

第4章 6タイプ血液型の相性・・・57

AO型のあなたから見て・・・58

OO型のあなたから見て・・・62

BO型のあなたから見て・・・66

AA型のあなたから見て・・・70

BB型のあなたから見て・・・73

AB型のあなたから見て・・・77

各血液型間の「主従関係」・・・80

第5章 血液型と各界での活躍・・・83

スポーツと血液型・・・84

野球、相撲、卓球・テニス・バドミントン、サッカー、冬季五輪競技種目、
ゴルフ、体操、陸上、水泳、アーティスティックスイミング、柔道・レス

リング、向いているスポーツ

億万長者はほとんど全員 OO 型 . . . 109

アイドルと血液型 . . . 110

SMAP、嵐、Perfume

戦国武将の血液型 . . . 112

武田信玄、徳川家康、織田信長、真田幸村、豊臣秀吉、上杉謙信、伊達政宗、明智光秀

第 6 章 血液型が文化をつくる . . . 115

日本列島の血液型分布と風土 . . . 116

血液型と県民性 . . . 116

日本の歴史と血液型分布 . . . 123

大手企業は A 遺伝子が高頻度な西日本発祥が多い . . . 124

A 遺伝子が高頻度な山梨から発祥した「甲州財閥」 . . . 127

近代日本経済の父 渋沢栄一を生んだ埼玉県深谷 . . . 127

保守が強い西日本、革新が強い東日本 . . . 127

世界の血液型と国民性 . . . 129

先進国には A 遺伝子が多い . . . 129

全体主義の B 遺伝子、自由主義の A 遺伝子 . . . 136

究極の B 遺伝子国家・インド . . . 137

先住民の血液型は偏りが多い . . . 138

B 遺伝子を持つ集団は外敵侵入に強い . . . 138

上下関係に厳しいアジアと寛容な欧米 . . . 140

写實的・論理的な西洋、情緒的・経験的な東洋　・・・140

人の移動と血液型分布　・・・142

　　O が開拓し、A が体系立て、B が洗練させる　・・・142

　　O 因子が多く A 因子と B 因子が少ないアフリカ人　・・・142

　　A 因子と O 因子しかいないポリネシア人　・・・144

　　A 因子が多いエスキモー　・・・145

　　B 因子が多い中国・朝鮮、A 因子が多い日本　・・・146

　　A 因子と O 因子のみのオーストラリア先住民　・・・146

　　現生人類の拡散と血液型　・・・147

コラム：動物・植物の血液型　・・・150

第7章　血液型気質論のこれから　・・・151

　　血液型気質論は「占い」ではなく「科学」である　・・・151

　　遺伝子型の検査を普及させるべき　・・・152

　　気質発現のメカニズムの解明と統計データの収集が必要・・・153

　　差別でなく区別　・・・153

参考文献　・・・157

第 1 章

血液型 4 分類の誤謬

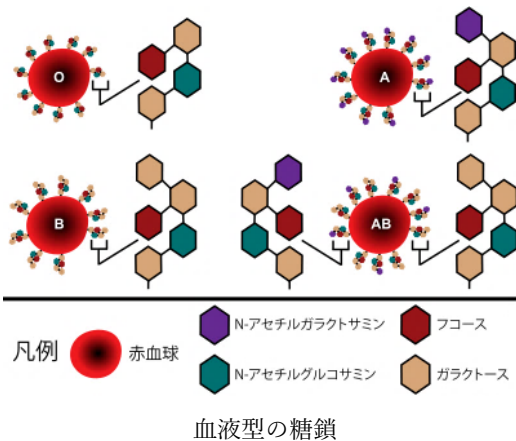
ABO 式血液型とは

人間の血液型には、分類の方法によって 300 種類以上も血液型がある。その中でも最も有名なのが ABO 式血液型である。これは赤血球上の抗原によるものである。

A 型の赤血球上には A 抗原があり、B 型には B 抗原、AB 型には A 抗原と B 抗原の両方を持っている。O 型の赤血球には A、B 抗原はない。

さらに、自分の赤血球とは反応しない抗体も持っている。A 型の人には抗 B 抗体 (B 型と反応するもの)、B 型の人には抗 A 抗体 (A 型と反応するもの)、O 型の人には抗 A 抗体と、抗 B 抗体の両方を持っている。AB 型の人には抗 A、B 抗体のどちらとも持たない。

ちなみにこの血液型物質は、血液のみに関わらず一個人の細胞、臓器、体液にはもちろん、毛髪などの硬組織にも分布する、個人を血清学的に識別できる方法であることが分かっている。



(Wikimedia https://commons.wikimedia.org/wiki/File:ABO_blood_group_diagram-ja.svg)

各抗原の分子構造

血液型は遺伝子によって決まっており、A、B、O の対立遺伝子が血液型を決定している。すなわち、遺伝子型では、AA、AO、BB、BO、AB、OO の 6 タイプが存在するのである。しかし、AA 型と AO 型は、BB 型と BO 型の抗体の産出量に関しては差は無く、表現型が同じであるため、表現型では AA と AO が A 型、BB と BO が B 型、AB が AB 型、OO が O 型となり、4 タイプ

となる。

すなわち、赤血球の抗原の糖鎖については、A 遺伝子と B 遺伝子が顕性遺伝子、O 遺伝子が潜性遺伝子ということになる。

血液型と気質

血液型と性格の関係性はいろいろ言われてきた。たとえば、A 型は生真面目、O 型は大雑把、B 型はマイペース、AB 型は二重人格などである。

ここで注意しなければならないのは、血液型と「性格」という言葉遣いである。性格は人それぞれだ。10 人居れば 10 の性格がある。よって血液型によって性格が決まるというのはやや語弊があると思う。ここは「気質」という言葉が正しいと思う。Wikipedia で気質のページを見てみると、「人間や哺乳類などの動物の集団が先天的にもっている刺激などに反応する行動特性である。性格と同一視されやすいが、性格は気質から作られる各個体の行動や意欲の傾向である。」とある。すなわち、気質とはより遺伝的な（先天的な）意味合いが強い。後天的要素（育った環境など）を含めた「性格」に対し、「気質」はほぼ先天的な要素から成り立っていると言って良い。血液型との関係性を探る際は「性格」より「気質」が相応しい。なぜなら、血液型は遺伝子だからである。血液型遺伝子が決めているのはその人の先天的な「気質」であり、後天的な要素を含んだ「性格」までは決め得ない。よって、本書では、以降、「気質」という語を用いることとする。

日本心理学会の誤謬

ABO 式血液型と気質との関連性についての日本の心理学会の公式見解は「関係ない」というものである。しかし本当なのか。日本の学術雑誌で査読ありのものに投稿された論文は、気質と関係があるとする研究がすべてリジェク

トされるという。日本の心理学会では「血液型と気質」の研究はタブーであり、「関係がある」という論文が認められる可能性は限りなくゼロに近いようだ。その証拠に、日本語の「査読あり」の心理学論文では、データに差があるというものは発見できない。（査読なしの論文でさえも、論じているのは「血液型性格診断によって植え付けられたステレオタイプが、性格に後天的な影響を与えている」といったものばかりであり、「血液型という遺伝的要因が、先天的な気質の一要因を決定している」とする研究は1つもないのである。）一方、英語や韓国語などの外国語の「査読あり」の論文では、気質に差があるという論文は複数存在している。

○血液型と気質（性格）が関係あるとする主な査読あり論文

- Shoko Tsuchimine, Junji Saruwatari, Ayako Kaneda, Norio Yasui-Furukori (2015) ABO Blood Type and Personality Traits in Healthy Japanese Subjects, Plos One.
- Beom Jun Kim, Dong Myeong Lee, Sung Hun Lee and Wan-Suk Gim (2007) Blood-type distribution
- Fatemeh Beheshtian, Roghayeh Hashemi and Zolfaghar Rashidi (2015) The Five Personality Factors over the Students with Four Blood Types.
- Mohammad Sharifi, Hamza Ahmadian and Ali Jalali (2015) The relationship between the big five personality factors with blood types in Iranian university students.
- So Hyun Cho, Eun Kook M. Suh, Yoen Jung Ro (2005) Beliefs about Blood Types and Traits and their Reflections in Self-reported Personality.
- Sung Il Ryu, Young Woo Sohn (2007) A Review of Sociocultural, Behavioral, Biochemical Analyses on ABO Blood-Groups Typology.

日本の心理学界は、血液型気質論を頭から「非科学的」と決めつけている節がある。しかし、そもそも血液型を「非科学的」と決めつける根拠は何なのか？根拠無く「非科学的」と決めつけることこそ非科学的ではないのか。おそらく、日本の心理学会が血液型気質論に拒絶反応を示すのは、差別を恐れているからだろう。そもそも「関係ない」ことを証明することは不可能だ(「悪魔の証明」)。ましてや、関係あるという研究結果が複数存在するのに、なぜ「関係ない」と決めつけているのか。日本の心理学界は差別を恐れるがゆえ血液型と気質の関係についての科学的議論を最初から禁止しているのである。これは科学でなく政治である。

科学は真実の追究のみを善とする。唯一の正義は真実であり、すべての目的は真実の解明だけでしかない。そこには「差別忌避のための真実封殺」という政治的行為の介入は絶対に許されない。日本の心理学界において血液型と気質の科学的議論が封印されているのだとすれば、日本の心理学会は科学的ではなく政治的な組織ということになる。我々は、このような、科学の仮面をかぶった政治的思想とは無縁の議論をしなければならない。

血液型は気質に関係する

血液型と気質が関連するという研究は海外の学術雑誌に投稿されたものでは複数存在する。その中で最も網羅的な研究は Tsuchimine et al.(2015)である。この研究では、被験者の遺伝子検査を行って血液型を決定しているので、遺伝子型まで正確に決定した上での調査が行われている。

この研究では、血液型を 4 タイプの表現型と 6 タイプの遺伝子側に分けそれぞれについて、「新規性追求」、「損害回避」、「報酬異存」、「持続性」、「自己志向性」、「協調性」、「自己超越」について分析を行っている。これらは、心理学における Personal trait という分析法における基本的な指標である。結果は、

4タイプに分けた場合でも、6タイプに分けた場合でも、差が認められるということであった。特に気質に関する前者4指標について比べると、以下のようになる¹。

○4タイプに分けた場合

A型：「報酬依存性」、「持続性」が高く、「損害回避性」が低い

B型：「報酬依存性」、「持続性」が低い

O型：「新規追求性」が高い

AB型：「損害回避性」が高く、「新規追求性」が低い

○6タイプに分けた場合

AA型：「持続性」、「報酬依存性」が6タイプ血液型の中で最も高い。

AO型：全ての指標で平均的

BB型：「新規追求性」が6タイプ血液型中で最高、「損害回避性」が最低

BO型：「報酬依存性」と「持続性」が6タイプ血液型中最低

OO型：「新規追求性」と「報酬依存性」が高め、「持続性」が低め

AB型：「損害回避性」が6タイプ血液型中最高、「新規追求性」が最低

血液型は6タイプで議論する必要がある

Tsuchimine et.al (2015)では、A、B、O、ABの4分類だけではなく、遺伝子型のAA、BB、AB、AO、BO、OOの6分類でも気質との関連性を論じている。そして、4タイプに分けた場合でも、6タイプに分けた場合でも、気質

¹ なお、Tsuchimine et.al (2015)ではデータ処理に一部誤りがあるため、筆者が修正した結果である。

との関連性が認められたのである。それも、AA 型と AO 型、BB 型と BO 型では別の傾向が示されたのだ。

詳細な指標の設定の仕方や統計分析については議論の余地があろうが、6 タイプにおいても血液型による心理学的な差異があるということは、すなわち、同じ「A 型」に区分されていた AA 型と AO 型、そして同じ「B 型」に区分されていた BB 型と BO 型は、明確に異なることを意味する。これは非常に大きな発見である。従来、血液型と気質の関連を論じた本では、もっぱら A 型、B 型、O 型、AB 型の 4 タイプのみで議論されてきた。しかしこの見方は誤りで、正しくは遺伝子型の 6 タイプで議論しなければならないことが明らかになっていたのである。

筆者も、前々から、AA 型と AO 型、BB 型と BO 型は明らかに気質が異なることを体験的に感じていた。筆者は「A 型」であるが、同じ「A 型」でも明らかに自分とは異なる気質を持つ「A 型」がいることを不思議に思っていた。あるとき、それは、AO 型と AA 型の違いであることに気づいたのである。筆者は（おそらく）AO 型であるが、AA 型の人とは気質が明らかに異なることを日々明確に感じている。

このように、科学的にも血液型は遺伝子型に基づく AA、BB、AB、AO、BO、OO の 6 タイプで論じなければならないことは明らかである。以下、本書では、この 6 区分で血液型について議論していく。

気質を決めているのは糖鎖ではない

血液型は赤血球の糖鎖の型によって判断される。A 抗体を持つ者は A 型、B 抗体を持つ者は B 型、A 抗体と B 抗体の両方を持つ者は AB 型、A 抗体も B 抗体も持たず、H 抗体のみしか持たない者は O 型である。H 抗体は O 型のみでなく、少数だが A 型、B 型、AB 型でも確認される。

ここで注目すべきは AB 型も H 抗体を持つということである。AB 型は遺伝的には O 型遺伝子を持っていない。にもかかわらず H 抗体も少数ながら検出されるのである。であれば、同じく O 遺伝子を持っていない AA 型や BB 型からも H 抗体が観察されると推定される。また、AA 型と AO 型では産出される A 抗体の量に差はなく、BB 型と BO 型の間でも産出される B 抗体にも差はないという。であれば、赤血球の抗原の糖鎖（同様のものは全身に存在）については、AO 型と AA 型、BO 型と BB 型に差はなく、従来の理解通り A 遺伝子と B 遺伝子は共顕性、O 遺伝子は潜性ということになる。もし気質に影響を与えているのが糖鎖であれば、AA 型と AO 型、BB 型と BO 型の気質は全く同じということになってしまう。

しかし、私が今まで観察してきた限り、AO 型と AA 型、BO 型と BB 型には明らかな気質の差異がある。AO 型と AA 型の関係は、AO 型と OO 型の関係と同様に、全くの別物だ。これは Tsuchimine et al. (2015) から明らかなのである。糖鎖が気質に影響を与える直接的要因なのであれば、このようなことにはならない。

ここで考えなければならないのは、血液型が気質に影響を与えているとして、その原因が糖鎖以外の可能性である。すなわち、気質を司るのは血液型遺伝子によって発現する別の物質である可能性である。

そもそも、気質を司るのは神経である。そこに差が生じるとすれば、それは神経伝達物質が原因である。神経伝達物質は数十種類ほど知られているが、詳細はまだまだ未解明な部分が多い。血液型によって気質の差異が生じるメカニズムとして、この神経伝達物質の産出に血液型遺伝子が携わっていることが考えられるのではないか。おそらく血液型遺伝子によって、産出される神経伝達物質の種類や割合が異なるのだろう。そして、その発現メカニズムは A と B と O の 3 遺伝子の共顕性と思われる。（赤血球の抗体の糖鎖が

A と B の共顕性、O の潜性であるのとは異なる。) すなわち、AO 型の人は A 遺伝子と O 遺伝子の発現の影響を受けた神経伝達物質が発現されるが、AA 型の人は A 遺伝子の影響を受けた神経伝達物質しか発現されない。BO 型と BB 型も同様である。ゆえに AA 型と AO 型、BB 型と BO 型の気質は別物なのである。

これは現時点では仮説であるが、蓋然性は高いと思われる。今後は、血液型遺伝子による神経伝達物質の産出メカニズムについての研究が必要であろう。

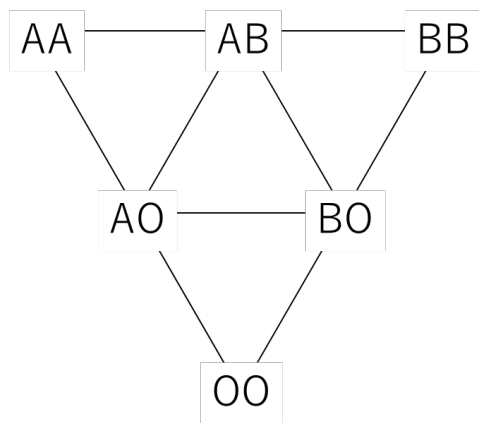
第 2 章

A、B、O の 3 遺伝子を作る 6 タイプ血液型

血液型三角形

血液型を考える際は対立遺伝子（allele、アリル）で考えなければならない。ABO 式血液型は A、B、O の 3 つの対立遺伝子で成り立っている。すなわち、AA 型は A 対立遺伝子がホモ接合した遺伝子型、AO 型は A 対立遺伝子と O 対立遺伝子がヘテロ接合した遺伝子型である。BB 型は B 対立遺伝子がホモ接合した遺伝子型、BO 型は B 対立遺伝子と O 対立遺伝子がヘテロ接合した遺伝子型である。OO 型は O 対立遺伝子がホモ接合した遺伝子型、AB 型は A 対立遺伝子と B 対立遺伝子がヘテロ接合した遺伝子型である。

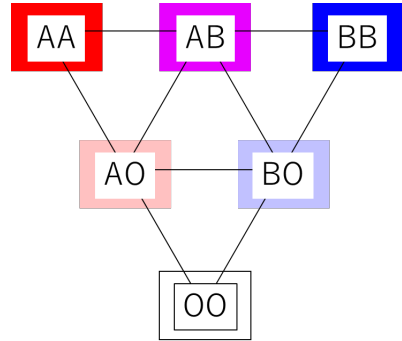
A、B、O の 3 対立遺伝子からなる遺伝子型による 6 タイプの血液型は三角形であらわすことができる。A と B は鏡の裏表のような存在である。一方、O は A と B が共に有す共通の要素（遺伝子）を持っていない。よって、各因子を概念的に図で表すとすれば、下図のようなイメージであり、A、B、O を頂点とした三角形を描くことができる。この 3 角形においては、AO 型は A と O の中間に位置し、BO 型は B と O の中間に位置し、AB 型は A と B の中間に位置する。以降、これを「血液型の三角形」と呼ぶことにする。



血液型の三角形

6 タイプ血液型と気質

前章で述べたように、血液型による気質分類は遺伝子型による6タイプである。気質の発現においては、AとBとOはすべて共顕性であり、対等に扱わなければならない。AA型はA遺伝子の形質のみが発現し、BB型はB遺伝子の形質のみが発現し、OO型は

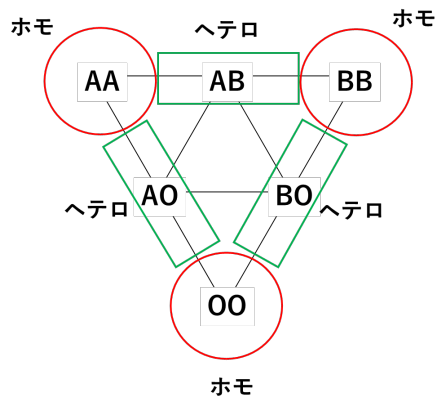


O遺伝子の形質のみが発現する。AO型はA遺伝子とO遺伝子の両方（中間）、BO型はB遺伝子とO遺伝子の両方（中間）、AB型はA遺伝子とB遺伝子の両方（中間）の形質が発現する。

これは色に例えるとわかりやすい。A遺伝子が赤、B遺伝子が青、O遺伝子が白をそれぞれ発現するとしよう。ホモ接合については、AA型は赤、BB型は青、OO型は白となるのは良いだろう。ヘテロ接合については、A、B、Oは共顕性であるので、AO型は赤と白が混合した中間のピンク、BO型は青と白が混合した中間の水色、AB型は赤と青が混合した中間の紫色となる。気質発現についてもこれと全く同様に考えればよい。

ホモとヘテロの気質

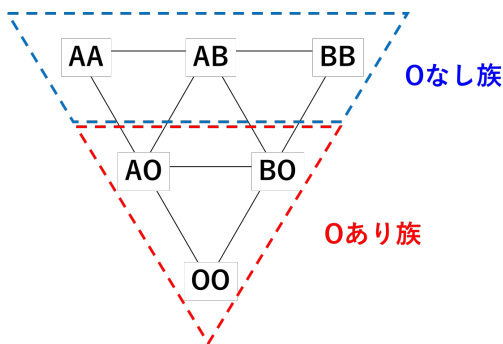
血液型には、ホモ接合とヘテロ接合がある。ホモは同じ遺伝子が重複する型で、三角形の頂点に位置するAA型、BB型、OO型、ヘテロは別の遺伝子が



組み合わせられる型で、三角形の辺上に位置する AO 型、BO 型、AB 型である。ホモは単一の遺伝子のみの重複のため、ブレがなく、一貫しており、安定型の気質である。ヘテロは異なる 2 つの遺伝子を持つため、両遺伝子の間を揺れ動き、葛藤があり、不安定型の気質である。

○あり族と○なし族の気質

「ホモとヘテロ」という区分とは別に、「○あり族と○なし族」という区分に分けることも可能だ。○あり族は OO 型、AO 型、BO 型である。○遺伝子が入っている分、おおらかで欲望的な気質になる。○なし族は AA 型、BB 型、AB 型である。○遺伝子がなく、淡泊で本能的な気質になる。



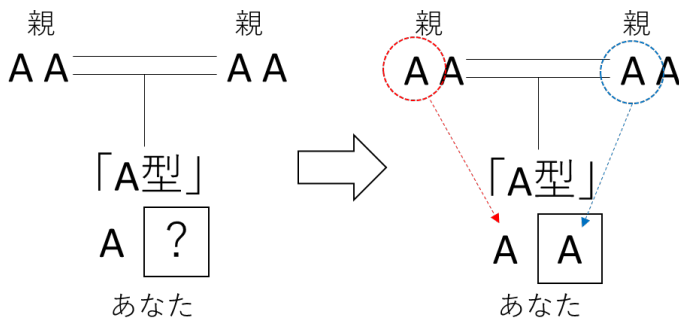
AO 型と AA 型、BO 型と BB 型の判別方法

そもそも、通常の血液型判定において、AA 型と AO 型はともに「A 型」、BB 型と BO 型はともに「B 型」と分類されてしまう。これは判別方法が抗原（糖鎖）であるからである。糖鎖生成においては、A と B が共顕性、O が潜性であるから、糖鎖からは AA 型と AO 型、BB 型と BO 型を判別できない。しかし気質発現は糖鎖発現とはメカニズムが異なり、A、B、O の 3 遺伝子はすべて共顕性であると考えられる。（よって、気質においては AA 型と AO 型、BB 型と BO 型は全く別物なのである。）

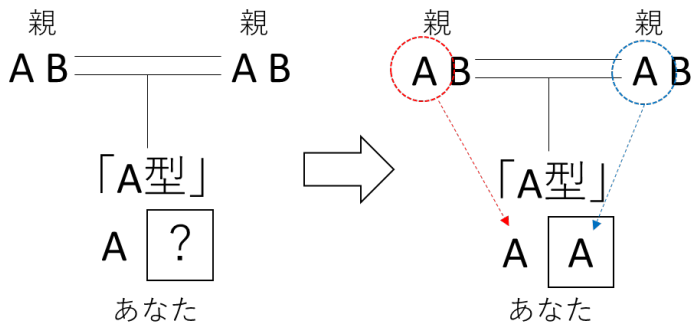
あなたが「A型」または「B型」である場合、AA型かAO型か、またはBB型かBO型かを判別することは、以下の場合可能である。

あなたが「A型」の場合

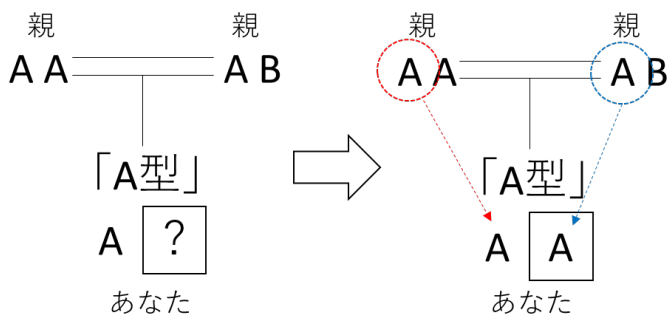
- ・両親が共にAA型の場合、あなたはAA型



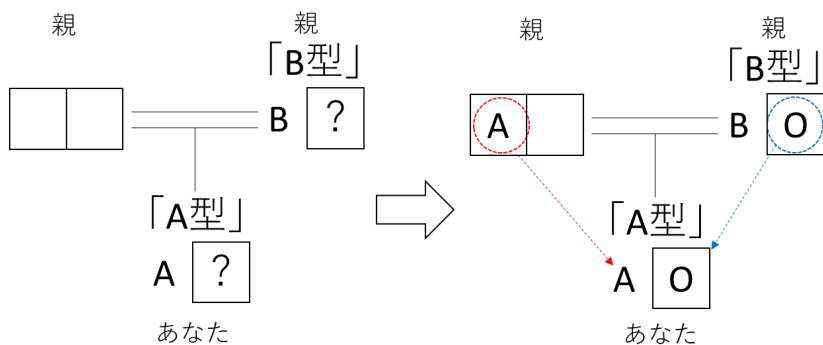
- ・両親が共にAB型であれば、AA型



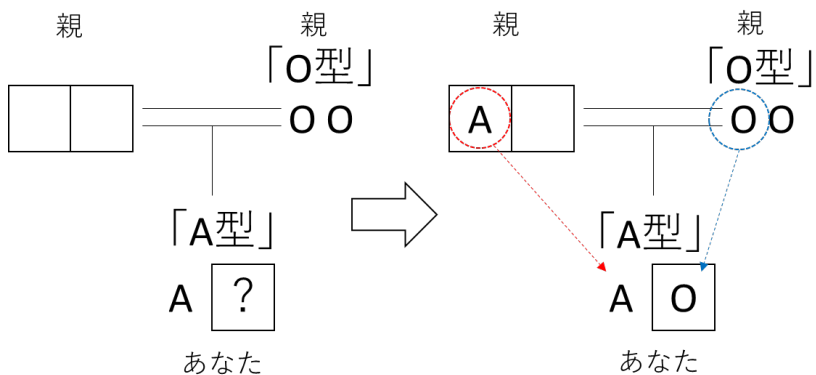
- ・両親のうち片方の親がAA型、もう片方の親がAB型であれば、AA型



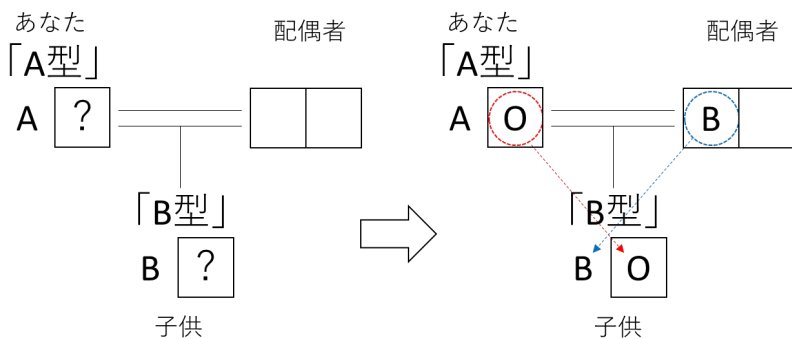
- ・両親のうち一方が「B型」であれば、AO型



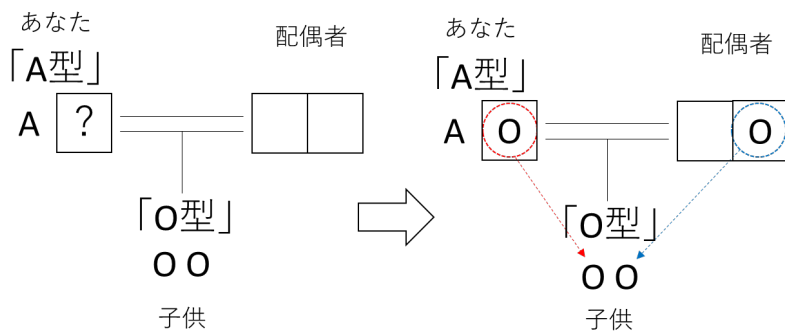
- ・両親のうち一方が「O型」（OO型）であれば、AO型



- ・子供に「B型」がいればAO型

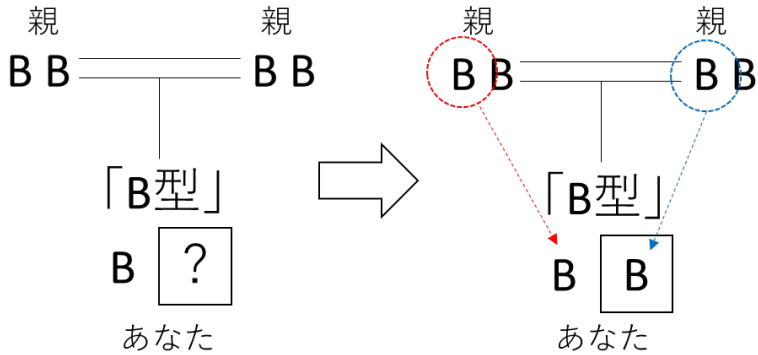


- ・ 子供に「O 型」（OO 型）がいれば、AO 型

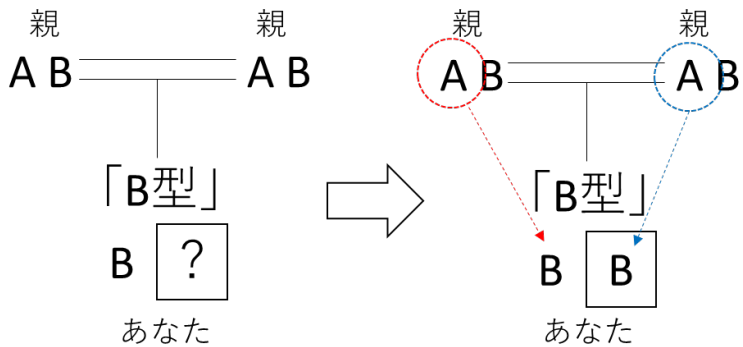


あなたが「B 型」の場合

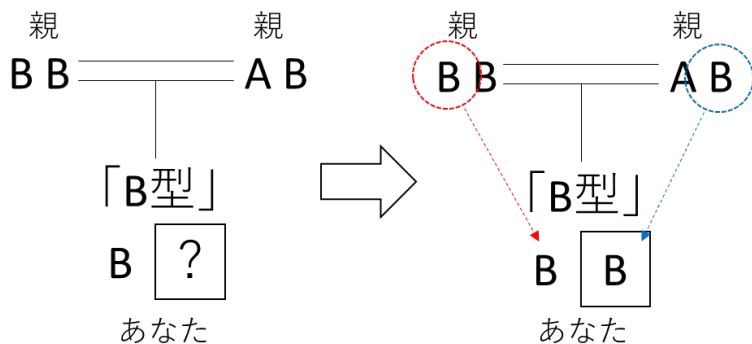
- ・両親が共に BB 型の場合、BB 型



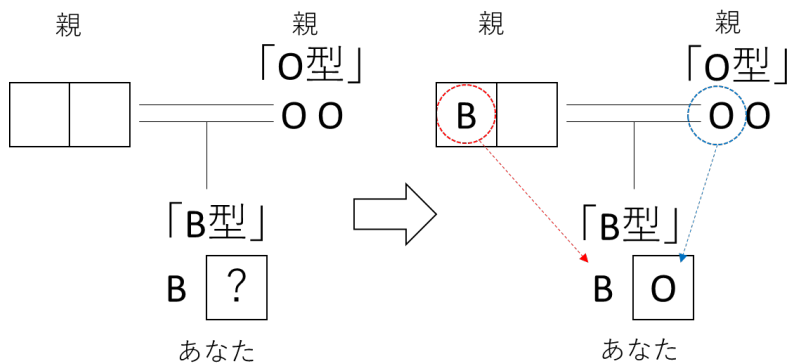
- ・両親が共に AB 型であれば、BB 型



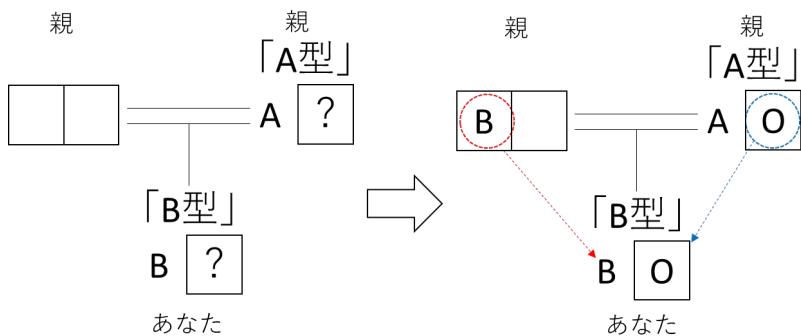
- ・両親のうち一方がAB型で、他方がBB型であれば、BB型



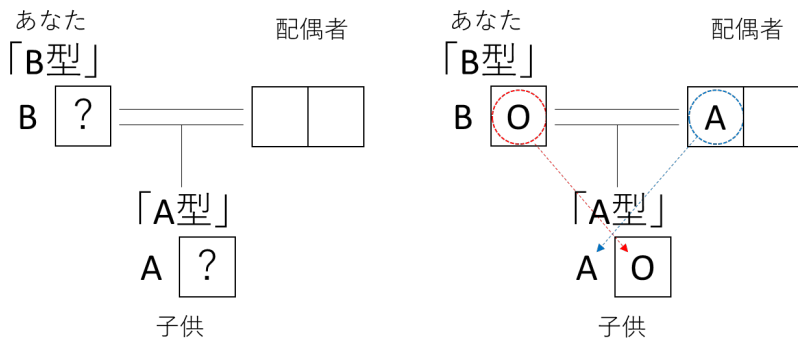
- ・両親のうち一方が「O型」（OO型）であれば、BO型



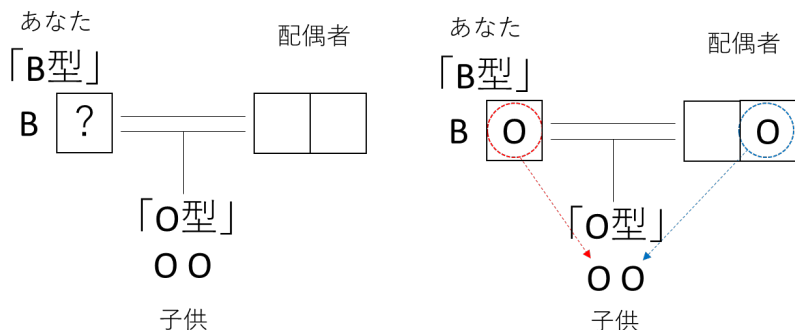
- ・両親のうち一方が「A型」であれば、BO型



- ・子供に「A型」がいればBO型



- ・ 子供に「O 型」（OO 型）がいれば、BO 型



このように決定できる場合であれば、話が簡単である。しかし、決定できないことも多い。特に AA 型・BB 型であることの決定は、両親が共に AB 型の場合か、両親の一方が AB 型で他方が AA 型・BB 型の場合、両親の両方が AA 型・BB 型である場合のみである。親が AA 型・BB 型であることが確定されている確率は極めて低いから、あなたが AA 型・BB 型であることを決定できるのは、殆どの場合、両親が共に AB 型の場合である。いずれにしても、もしあなたが AA 型か BB 型の場合、それを確定できる確率はかなり低いといえる。もちろん、高度な遺伝子検査をすれば、遺伝子型まで決定することは可能だが、普通はそこまですることはない。したがって、あなたが AA 型か AO 型か、BB 型か BO 型かは、今のところ、大抵は気質で判断していくしかない。

AA 型と AO 型、BO 型と BB 型の気質の違い

AA 型と AO 型、BB 型と BO 型の気質は、以下のように異なる。

AA 型、BB 型は、O 遺伝子を持たないホモ接合であるがゆえ、ストレートで一途、芯が強く、ブレず、素直で、淡泊で、完璧主義的である。これは AA 型と AO 型、BO 型と BB 型を見分ける上で本質的なポイントである。

AO 型と BO 型はヘテロ接合であるため、常に対立遺伝子の中間（混合）形質を示すことになり、しかもそれが揺れ動く。AO 型で言えば、その様相は、あるときは A の気質が強く出て、あるときは O の気質が強く出る。と共に、A と O の混合によって生じる特有の気質も生成される。心理的には常に葛藤が生じる不安定型である。O 遺伝子が入っている分、AA 型と比べればおおらかで欲望的になる。BO 型についても同様である。

AB 型が A と B の中間あるいは混合体であり、しばしば「二重人格」といわれるが、AO 型と BO 型も構造的にはこれと全く同じことである。ヘテロ接合である以上、AO 型、BO 型、AB 型はすべて「二重人格」的なのである。

AA 型、BB 型（ホモ接合、O なし族）

・ 芯が強い、ストレート、言動に迷いが少ない、一途、愚直、完璧主義的、淡泊

AO 型、BO 型（ヘテロ接合、O あり族）

・ 調和的、常に葛藤がある、器用、妥協的、しばしば大雑把、要領が良い

ヘテロ接合であり O 因子を含む AO 型と BO 型は、AA 型と BB 型とは構造的に全く異なるのである。今までの血液型論では AA 型と AO 型を「A

型」、BB 型と BO 型を「B 型」として括っていたが、これでは本質的に正しい議論は不可能である。

A、B、O 因子の気質特徴

A 遺伝子、B 遺伝子、O 遺伝子にはどのような気質特徴があるのかを纏めてみたい。これは、各遺伝子のホモ接合である、AA 型、BB 型、OO 型の特徴を見ていけばよいことになる。大雑把に、以下のような特徴があるように思われる。

A 遺伝子：几帳面、全体管理と秩序化を志向、周囲の環境を重視、洞察力に優れる

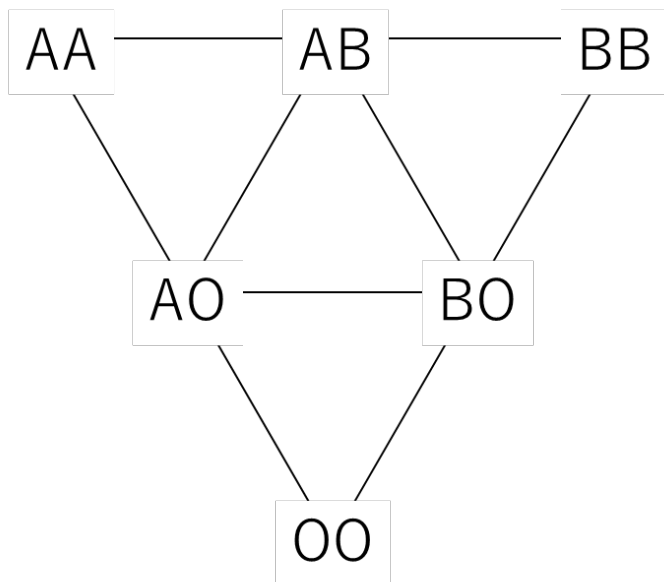
B 遺伝子：細部を極める、自分の立場を重視、マイペース、オタク気質、集団主義的

O 遺伝子：おおらか、大雑把、親分肌、現実的、社交的、欲望的

特に、A と B は鏡のような対称性を持っている。言葉で表せば様々な表現できるが、A 遺伝子が「全体を見て物事を秩序化する」方向を志向するのに対し、B 遺伝子は「全体が無秩序化しようとも細部を極める」方向を志向するということができる。また、A 遺伝子は周りの環境を重視するのに対し、B 遺伝子は自分の立場を重視するという特徴がある。

では、それぞれの遺伝子型の特徴を詳細に見ていくが、その前に、有名人の 6 タイプ血液型の表を挙げておく。血液型が公表されている人物のみ掲載している。普通のプロフィールでは「A 型」、「B 型」までしか記載されていないが、この表では AA 型と AO 型、BB 型と BO 型の判別を筆者の推定に基づいて行

っている点をご了承いただきたい。



有名人の6タイプ液型一覧

(4タイプ血液型が公表されている人物を掲載。AA型とAO型、BB型とBO型は筆者判別)

		「O型」 OO(30%)	「A型」 AO(30%)	「B型」 BO(19%)	「AB型」 AB(10%)
皇室			天皇陛下(徳仁)	愛子内親王殿下	昭和天皇
			皇后陛下(雅子)		
			上皇陛下(明仁)		
			上皇后陛下(美智子)		
			秋篠宮皇嗣殿下(文仁)		
			秋篠宮皇嗣妃殿下(紀子)		
			眞子内親王殿下(現・小室眞子)		
			佳子内親王殿下		
			悠仁親王殿下		
政治家	自民党	吉田茂	麻生太郎	小泉純一郎	安倍晋三
		谷垣祐一	小淵恵三	山崎祐	石破茂
		鳩山邦夫	福田康夫	田中角栄	中川秀一
		中曽根康弘	町村信孝	竹下登	小泉進次郎
		岸信介	佐藤栄作	二階俊博	加藤紘一
		森喜朗	片山虎之助	甘利明	岸田文雄
		菅義偉	亀井静香	細田博之	細野豪志
		河野太郎	小池百合子	鈴木宗男	
		舛添要一	高市早苗		
			野田聖子		
	公明党		山口那津男		
	民主党・ 社会党系	鳩山由紀夫	前原誠司	野田佳彦	小沢一郎
		菅直人	安住淳	枝野幸男	
		岡田克也	蓮舫	辻元清美	
		村山京市	福島瑞穂		
		河村たかし	木井たか子		
	その他	五木雄一郎			
		志位和夫	山本太郎	立花孝志	吉村洋文
			丸山穂高		
			北大路政也	石原裕次郎	高倉健
			江口洋介	中井貴一	松平健
芸能人	男優	生瀬勝久	阿部寛	佐藤浩市	高橋英樹
		向井理	竹中直人	菅田将暉	西田敏行
		堺雅人	谷原章介	松田翔太	神木隆之介
		草刈正雄	館ひろし	磯村勇斗	大泉洋
		武田鉄矢	江守徹		山本耕史
		石坂浩二	大沢たかお		渡哲也
		照英	伊武雅刀		松山ケンイチ
		小日向文世	加山雄三		松田敏平
		妻夫木聡	塚本高史		納本明
		岸谷五朗	藤原竜也		喜嶋政伸
		緒方嵐人	本木雅弘		平幹一郎
		高橋一生	市村正親		椎名桔平
		千葉真一	唐沢寿明		尾美としのり
		遠藤憲一	東出昌大		吉田鋼太郎
		伊東四朗	染谷将太		柄本佑
		遠藤賢一	寺屋聰		及川光博
		豊川悦司	渡辺徹		
		佐々木蔵之介	松坂桃李		
		森本レオ	五木宏		
		高橋和也	阿部サダヲ		
		小栗旬	鈴木京平		
		林遣都	小林薫		
		高橋克典	岡村隼		
		横浜流星	イッセー尾形		
			真田広之		
			上川隆也		
			長谷川博己		
	女優 モデル	上戸彩	奇	松坂順子	綾瀬はるか
		中村玉緒	武井咲	桐谷美玲	高島礼子
		吉高由里子	仲間由紀恵	扇原紀香	岡仲涼子
		宮崎あおい	松嶋菜々子	大和田美帆	宮沢りえ
		天海祐希	黒木瞳		柴咲コウ
		井上真央	大竹しのぶ		米倉涼子
		真矢みき	中谷美紀		かたせ梨乃
		土屋太鳳	浅野温子		篠原涼子
		波瑠	上野樹里		浜辺美波
		葉々緒	能年玲奈(現・のん)		吉岡里帆
		大政由緒	常盤貴子		清原果耶
		朝乃彩花	飯沼あさひ		柳家依都
		川口春奈	石岡さとみ		稲森いずみ
		二階堂ふみ	高畑淳子		堀北真希
		深田恭子	高岡早紀		
		桜井日奈子	竹内結子		
		吉永小百合	貫地谷しほり		
		小泉今日子	安藤サクラ		
		吉田羊	榮倉奈々		
		高橋ひかる	木村佳乃		
		土屋太鳳	宮崎あま		
		広末涼子	野際陽子		
		橋本愛	新垣結衣		
			美保純		
			足立梨花		
			常盤貴子		
			声田愛菜		
			鈴木京香		

		「O型」	「A型」		「B型」		AB型
芸能人	司会者 アナウンサー	OO(30%)	AO(30%)	AA(8%)	BO(19%)	BB(3%)	AB(10%)
		加藤浩次	みのもんた		小倉智昭		古館伊知郎
		テリイ伊藤	草野仁		富根誠司		安住紳一郎
		有働由美子	久保純子		中山秀征		坂上忍
			堀屋正明		赤江珠緒		
			池上彰				
			関口宏				
			羽鳥慎一				
			久保純子				
			久保田智子				
		美空ひばり	石川さゆり	GACKT	天童よしみ		星野源
		和田アキ子	小林幸子	蒙入レオ	潮川操子		aiiko
		北島三郎	永川まよし	蔵智志朗 (Superfly)	LISA		yui
		福山雅治	宇多田ヒカル	優永表明	YOSHIOKI		井上陽水
	歌手	森進一	高橋ジョージ		矢沢永吉		
		安室奈美恵	浜崎あゆみ		倉木麻衣		
		島津亜矢	松田聖子		尾崎豊		
		松任谷由実	細川たかし		森山直太朗		
		MISIA	五木ひろし		きやりーぼみゆぽみゆ		
		中島みゆき	美川憲一		堀ちえみ		
		吉川晃司	平原綾香				
		デーモン閣下	持田香織				
		坂本冬美	郷ひろみ				
		椎名林檎	さだまさし				
			由紀さおり				
			中森明菜				
			ティーン・フジオカ				
			美輪彰宏				
	SMAP	木村拓哉	中居正広				
		稲垣吾郎	星野剛				
	嵐		香取慎吾				相葉雅紀
			大野智				
			櫻井翔				
			松本潤				
	V6		二宮和也				
			井ノ原快彦		岡田准一		
			松岡昌宏				
	TOKIO	国分太一					
		城島茂					
		長瀬智也					
	KAT-TUN	山口達也			亀梨和也	田中聖	
		中丸雄一			上田竜也		
	NEWS	錦戸亮	山下智久		手越祐也		
	SEXY ZONE		佐藤勝利				
	タッキー & 翼		滝沢秀明				
			今井翼				
	乃木坂46	近藤真彦					
		西野七瀬	白石麻衣		秋元真夏		生駒里奈
		堀未央奈	生田絵梨花		新内真衣		
		与田祐希	高山一実				
	AKB系	指原利乃	前田敦子		大島優子		高橋みなみ
		柏木由紀					
	Perfume		大木彩乃(のっち)	西脇綾香(あーちゃん)			
			櫻野有香(かしゆか)				
	ももいろクローバーZ	高城れに	玉井詩織	中田ヤスタカ			百田夏菜子
							佐々木彩夏
	SPEED	今井絵理子	上原多香子				新垣仁絵(現・HITOE)
	サザンオールスターズ	関口知之	島袋寛子				
		松田弘	野沢秀行	桑田圭祐	原由子		
	ポルノグラフィティ		岡野昭仁				
			新藤兼一				
	いきものがかり	山下穂尊	吉岡聖恵				
			水野良樹				
	ゆず	岩沢厚治	北川悠仁				
	B'z	松本孝弘					稲葉浩志
	Mr.Children	桜井和寿	中川敬輔				
		田原建一	鈴木英哉				
	EXILE			ATSUSHI			

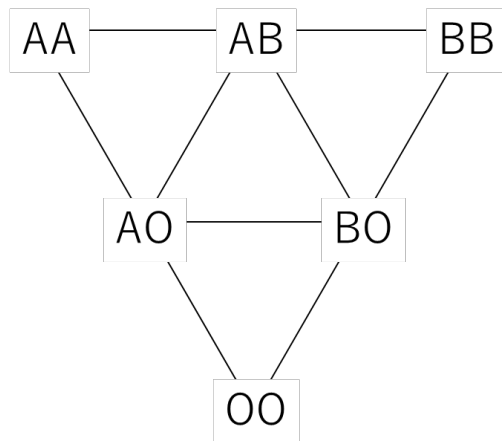
		「O型」	「A型」		「B型」		AB型
芸能人	タレント 芸人	OO(30%)	AO(30%)	AA(8%)	BO(19%)	BB(3%)	AB(10%)
		ピートけし	黒柳徹子	志村けん	松本 浩(タウナック)		島田紳助
		所ジョージ	マツコ・デラックス		明石家さんま		ベッキー
		タモリ	石田純一		ユースケ・サンタマリア		菊川怜
		上田晋也(ふくしきふくしき)	石橋貴明(ふんねるず)		高田純次		山里亮太(おききいんたー)
		有田哲平(おききいんたー)	浜田雅功(おききいんたー)		山川賢樹		柳沢 真
		木梨憲武(ふねるず)	有吉弘行		田中圭彦(アングラズ)		内村光良
		塚地 真	バカリズム		ミッツ・マングローブ		南原清隆
		南明奈	近藤春菜(ハリスンボン)		コロッケ		名倉潤(ネプチューン)
		小島瑠璃子	藤田ニコル		宮川大輔		DAIGO
		カンニング竹山	水越橋博士		田中裕二(爆笑問題)		
		日村勇紀(ハナマン)	光浦 照子		堀内健(ネプチューン)		
		設楽統(ハナマン)	星田奈利		原田泰直(ネプチューン)		
		山根良顕(アングラズ)	劇団ひとり		中川剛(中川家)		
		太田光(爆笑問題)	東郷かおり		春日俊彰(チートリー)		
		岡田圭基	中川礼二(中川家)		常田博之		
		千原ジュニア	狩野英孝		岡村隆史		
		上沼恵美子	田村亮(ロンポー)		藤森慎吾(オアシス・オハラジ)		
		若林正典(オードリー)	高橋茂雄(サパナ)		山崎弘也		
		田村淳(ロンポー)	関根勤		大橋(千鳥)		
		中田敦彦(オアシス・オハラジ)	小堺一機		スギちゃん		
		ふかわりょう	萩本欽一		つるの剛士		
		黒田 雄子	経正章		坂下千里子		
		黒沢かずこ(森三中)	中川剛子		宮田原英夫		
		村上知子(森三中)	ノブ(千鳥)		山内健司(かまいたち)		
		太田美幸(森三中)	今田耕司		清家隆一(かまいたち)		
		大久保佳代子	野々村真		博多華丸		
		YOU	クロちゃん(オアシス・オハラジ)		長嶋一茂		
		イモトアヤコ	古坂大魔王(ビコ太郎)				
		東野幸治	吉村崇(中道ノブシコブ)				
		伊達みきお(オアシス・オハラジ)	井森美幸				
		高澤たけし(オアシス・オハラジ)	飯井 壮				
		博多大吉	石原良純				
		高橋真由					
		加藤紗里					
		カズレーザー					
		小島よしお					
		伊集院光					
	インテリ芸人				やくみつる		松久亮悟
					宇治原史規		
	漫才		オール阪神		辰巳琢郎		
					宮川大助		宮川花子
	セクシー女優				オール巨人		
		川上なな美	みひろ		斎井 素		
落語	江戸	春風亭昇太	桂歌丸	林家こん平	三遊亭好美		三遊亭圓楽(5代目)
		立川志らく	三遊亭円楽(6代目)		林家たい平		立川談志
			林家木久扇				
			三遊亭小遊三				
	上方	笑福亭仁鶴(3代目)	桂文枝(6代目)				
		笑福亭権兵衛					
	歌舞伎・狂言・能	市川猿之助(4代目)	市川團十郎(12代目)		野村萬斎		市川海老蔵(11代目)
		尾上松也(2代目)			片岡家之助(2代目)		中村梅雀(2代目)
		中村芝翫(8代目)					
		中村錦堂(2代目)					
作家、脚本家、 プロデューサー (芸能・映画・テレビ関係)	作家、脚本家、 プロデューサー	宮崎駿	三谷幸喜		黒澤明		ジャニー喜多川
		高畑勲					
		藤子・F・不二雄	手塚治虫	大江健三郎			猪瀬直樹
			藤子不二雄A	松本清張			
	作家、漫画家		司馬遼太郎	さいようたかを			
			三島由紀夫				
		三木谷浩史(楽天)	堀江貴文	松下幸之助			
		橋正義(ソフトバンク)					
	経営者、実業家	堀井正(ファーストリテイリング)					
		似島昭雄(ニトリ)					
		渡辺恒雄(読売)					
		前澤友作(ZOZO)					
You Tuber・ネット	You Tuber・ネット	HAKAKIN		スーズ(鉄道系)	DaiGo		はじめしゃちょー
		ヒカル					
		西村博之					
ノーベル賞学者	ノーベル賞学者	溝川秀樹	野依良治		小柴昌俊		
					山中伸弥		
		茂木健一郎	森永達郎				落合陽一
その他学者	その他学者	さかなクン	尾木直樹				
			三浦瑠麗				
		岡本太郎					
芸術家	芸術家			瀬戸内寂聴	細木数子		
				森原彰			
教祖、占い師	教祖、占い師						

		「O型」	「A型」		「B型」	AB型	
スポーツ	野球	OO(30%)	AO(30%)	AA(8%)	BO(19%)	BB(3%)	AB(10%)
		王貞治	原辰徳	川上哲治	長嶋茂雄	野村克也	鶴岡一人
		張本勲	田淵幸一	新庄剛志	山本浩二	松中信彦	桑田真澄
		松井秀喜	田中将大	糸井義男	金田正一		岩隈久志
		佐々木主浩	ダルビッシュ有	江夏豊	野茂英雄		柳田悠岐
		落合博満	阿部慎之助	山崎武司	イチロー		ランディ・バース
		工藤公康	松山裕吾	清原和博	門田博光		斎藤雅樹
		中村剛也	城島健司	岡田達明	上原浩治		小久保裕紀
		堀内恒夫	アレックス・ラミレス		古田敦也		坂本勇人
		高橋由伸	青木宣親		大谷翔平		山本由伸
		衣笠祥雄	小笠原道大		菅野智之		
		金本知憲	菅野智之		内川聖一		
		松井稼頭央	前田健太		福留孝介		
		松坂大輔	高津臣吾		福本豊		
		井口資仁	山川穂高		若松敬		
		菅野山一	筒香嘉智		黒田博樹		
		山田久志	鈴木誠也		掛布雅之		
		タフィ・ローズ	岡本和真		森脇眞晶		
		稲葉篤紀	立浪和義				
		山田哲人	仰木彬				
		秋山幸二	谷繁元信				
		岩村明憲	岡田裕介				
		石井一久	藤川球児				
		村上宗隆					
スポーツ	ソフトボール		上野由岐子				
		北の富士	千代の富士	双葉山	大龍	稲勢の里	北の湖
		貴乃花	大乃国	輪島	柏戸		力道山
	相撲	曙	北勝海	高安	旭富士		小錦
		武双山	武蔵丸		琴錦		
		朝青龍	魁皇		舞の海		
		琴歐洲	栃東(大関)		若乃花(現・花田虎上)		
		日馬富士	白鵬		千代大海		
		琴姫菊	鶴童		豪栄道		
		照ノ富士	招提都				
		貴景勝	朝乃山				
		石川佳純			稲原堂		
		伊藤英誠			水谷隼		
	卓球	平野美宇					
		早田ひな					
	テニス	張本智和					
		國枝慎吾	錦織圭		杉山愛		松岡修造
	サッカー				伊達公子		
		長友祐都	川浪菜緒美				本田圭祐
		中田英寿					澤穂希
	ゴルフ	中村俊輔					
		石川遼	不動裕理		丸山茂樹		横峯さくら
					松山英樹		波野日向子
	水泳				宮里藍		
入江陵介		池江璃花子		北島康介			
		瀬戸大也		萩野公介			
				大橋悠依			
バレーボール		木村沙織					
ラグビー				五郎丸歩			
ハンマー投げ		宮伏由佳	宮伏広治				
		松友美佐紀	小畑久美子				
バドミントン		奥原希望	潮田玲子	藤井瑞希		垣岩令佳	
			高橋礼華				
			桃田賢斗				
カーリング			小笠原歩				
フィギュアスケート	荒川静香	高橋大輔		羽生結弦		船山弓枝	
	キム・ヨナ	安藤美姫		浅田真央		村主章枝	
	伊藤みどり	織田信成		宇野昌磨			
	紀平梨花			宮原知子			
スピードスケート	高木美帆	清水宏保		長島幸一郎			
		小平奈緒					
		高木聖那					
スキージャンプ		原田雅彦				葛西紀明	
		高梨沙羅					
レスリング	吉田沙保里	浜口京子		伊藤鑒	伊藤千春		
	柔道	井上康生		谷亮子			
フリース	後原信一			阿倍詩			
	ボクシング	ばんちやん瑠奈	アニマル浜口			アントニオ猪木	
歴史人物 (血判、遺髪などから)		内藤大助	員志堅用高		亀田興毅	亀田史郎	
			竹原慎一	真田幸村			
		豊臣秀吉	武田信玄		伊達政宗	上杉謙信	
		徳川秀忠	夏目漱石		坂本龍馬	藤原秀衡	
		北条政子			西郷隆盛		
		北条氏康					
外国人		スティーブン・セガール	小・カーター	ヨセフ・スターリン	文在寅	習近平	
		ジョージ・H・Wブッシュ	金正日	アドルフ・ヒトラー	ウサイン・ボルト	ビル・クリントン	
		ジョージ・W・ブッシュ	ドナルド・トランプ	孔子		J・F・ケネディ	
		アイゼンハワー	サダム・フセイン			バラク・オバマ	
		ナポレオン・ボナパルト	金正恩			金日成	
		毛沢東	スティーブン・スピルバーグ			諸葛孔明	
		ボル・ボト					
		ペー・ルース					
		ステーブ・ジョブズ					
		ビル・ゲイツ					

第 3 章

6 タイプ血液型の詳細説明

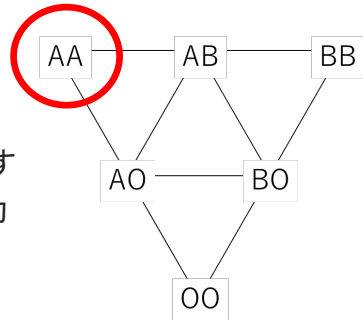
血液型は遺伝子である。遺伝子は 1 対の対立遺伝子座からなる。よって、1 人の人間は 2 個の血液型遺伝子を有することになる。それぞれを遺伝子が共顕性に気質を発現し、6 タイプの血液型で綺麗に気質が色分けされる。なお、本文中で言及している具体的人物については、AA 型と AO 型の判別、BB 型と BO 型の判別を筆者が行った上での言及である点にご了承いただきたい。



AA 型

日本人の約 8%

- ・完璧主義で手を抜かない、ストイック
- ・言動がストレートで正直
- ・迷いがなく芯が強い
- ・話が丁寧で一つ一つ端折らないで話す
- ・精神的支柱、時に教祖やシャーマンの
- ・しばしば生粋のリーダー



AA 型は A 遺伝子のホモ接合であるため、迷いが無い。心理的には安定型であり、一貫している。完璧主義であり、ストレートで正直。芯が強く、尖ったイメージがある。物事は一つ一つ理詰めで考え、説明は丁寧に、端折らないで行う。人を引きつける不思議な魅力があり、しばしばカリスマ性がある。人によっては、注目を浴びたり、人を喜ばせることが好きで、しばしば役者を演じるようなところがある。変人とみなされることもある（むしろわざと変人を演じるようなところがあり、あえて奇抜な言動をすることもある）。しばしば（人によっては）、生粋のリーダーであり、精神的支柱として、自ら先頭に立って組織を率いていく才能がある。人によって、教祖やシャーマンのような存在になることもある。性格は内向的な人と外交的な人に分かれるが、対人関係で臆することは少なく、友好関係は比較的広めである。

適職

自営業、政治家、作家、俳優、研究者、歌手

男性の特徴

AA 型男性は概して完璧主義で、リーダー気質が強い。しばしば人を引きつける魅力がある。カリスマ性があり、頼もしさがある。変わり者も多い。世界的な歌手である GACKT、サザンオールスターズのリーダー・桑田佳祐、コントの第一人者・志村けんなど、エンターテインメント業界でカリスマ性を発揮する人も多い。郵政選挙で劇場型政治を展開した小泉純一郎元首相、独特のパフォーマンスが「新庄劇場」と言われた野球選手の新庄剛志など、多くの聴衆の前で注目を浴びる役者を演じることに長けている人が多い。「NHK 党」をどぶ板から公党にまでした立花孝志、不倒の G9 時代を築いた巨人監督の川上哲治など、芯が通った強者が多い。一方で、その「教祖的魅力」から、新興宗教の教祖なども生じやすい血液型といえる。

有名人：GACKT、桑田佳祐、小泉純一郎、中井貴一、石原裕次郎、佐藤浩市、菅田将暉、川上哲治、新庄剛志、立花孝志、双葉山、志村けん

女性の特徴

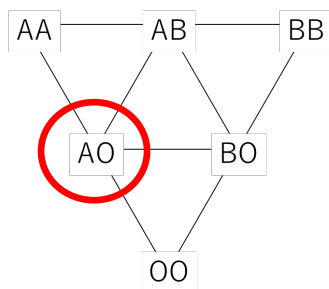
AA 型女性は堅実で芯の通った印象が強い。その感情は安定しており、迷いがないように感じられる。ややもすると「不思議ちゃん」の要素もあるように感じられる。Perfume のあ～ちゃん（西脇綾香）のような生粋のリーダー気質を持ち合わせている人もいるが、どちらかという、藤原紀香や松坂慶子のように、物静かな印象だが、しかしながら、しっかりと自分の世界を持っている人が多い。話してみればみるほど、その奥深い魅力を感じることができる人が多い。

有名人：藤原紀香、松坂慶子、西脇綾香（Perfume）、桐谷美玲

AO 型

日本人の約 30%

- ・神経質、心配性、シャイ、適度に大雑把
- ・周りの目を気にする
- ・物事の全体把握と体系化を志向する
- ・心理的に常に迷いと葛藤がある
- ・信念が強い
- ・気品と愛嬌がある



AO 型は A 遺伝子と O 遺伝子のヘテロ接合であるため、常に自分の中に A と O の葛藤がある。心理的には不安定型であり、しばしば自分で自分がわからなくなる

ときがある。常識派で、基本的に真面目で、信念が強い。プライドが高く、気品と愛嬌がある。神経質で内気な人が多いが、吹っ切れて碎ける場合もある。本来的には完璧主義を志向するが、疲れて無意識のうちに大雑把になることも多い。常に周りの目を気にし、嫌われることを恐れる。安全志向。利害意識が強く、失敗を恐れる。協調性が高く、空気を読むのがうまい人が多い。全体を俯瞰することに長け、ジェネラリストの傾向が強い。体系化を志向し、型があるものに強い。基本的に目立つことは好まない内向的性格の傾向があるが、外向的な人も一定割合いる。対人関係で気を遣いすぎて疲れることが多いためか、プライベートの友好関係はあまり広くはない。

適職

会社員（事務系）、公務員、俳優、歌手、アイドル、作家

男性の特徴

AO 型男性は、基本的には気品を備えた常識人が多い印象である。しかしそのキャラクターは多種多様だ。谷原章介のように演技から司会までマルチでこなす俳優や、渡辺謙や阿部寛のような個性的な正統派俳優、バラエティー界の主役にのし上がったマツコ・デラックス、有吉弘行など、芸能界での活躍も目立つ。みのもんた、草野仁、中居正広、浜田雅功など、司会者として活躍する人も多い。アイドルとしての適性もあり、SMAP や嵐のメンバーの過半はAO型である。相撲界では、白鵬、千代の富士など、記録的な大横綱を輩出している。野球界では、選手では突出した成績までは残さなかったものの今や巨人の不動の監督である原辰徳など、選手よりも監督での活躍が多い印象がある。また、この血液型の男性は、物事の構造を大局的に捉えることを好み、理想主義的な志向を持つ人も多い。実業家・堀江貴文や米前大統領ドナルド・トランプなど、理想に基づき過激な主張を行う人もいる。概して、技術的に何かを極めるよりは、自らの信念をもって、社会の中で何らかの対人向けサービスに携わる人が多いようである。

有名人：上皇陛下（明仁）、今上天皇陛下（徳仁）、秋篠宮皇嗣殿下（文仁）、麻生太郎、山口那津男、原辰徳、田中将大、内村航平、錦織圭、千代の富士、白鵬、ドナルト・トランプ、堀江貴文、堺正章、渡辺謙、舘ひろし、五木ひろし、さだまさし、桂歌丸、マツコ・デラックス、有吉弘行、谷原章介、阿部寛、玉木宏、長谷川博巳、阿部サダヲ、草野仁、みのもんた、浜田雅功、石田純一、大野智、松本潤、二宮和也、桜井翔、中居正広、香取慎吾、草薨剛、バカリズム、池上彰

女性の特徴

AO 型女性の特徴を一言で言えば、「理想の女性像」である。女性としての総合力は最も高いと思われる。強かで、芯が強く、気配りに長け、常識的で気品に満ちている。それでいて女性としての魅力も備えている。男性から見れば、理想的な女性であろう。家庭を持てば、まさに良妻賢母である。芸能界ではカリスマ性のある女優や歌手、アイドルとしての活躍が目立つ。宇多田ヒカルなど、世界的な歌手も多い。女優としては、杏、仲間由紀恵、新垣結衣など、売れっ子の正統派女優が多い。スポーツ界での活躍も目立ち、バドミンゴンのオグシオ（小椋久美子、潮田玲子）、水泳の池江璃花子などが活躍している。

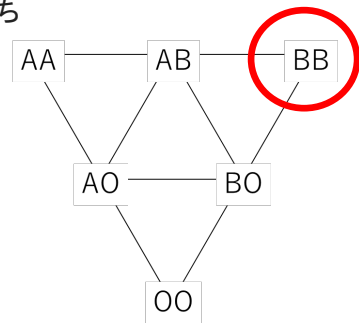
有名人：上皇后陛下（美智子）、皇后陛下（雅子）、小池百合子、黒柳徹子、仲間由紀恵、新垣結衣、宇多田ヒカル、浜崎あゆみ、石原さとみ、長澤まさみ、杏、武井咲、松嶋菜々子、芦田愛菜、松田聖子、石川さゆり、小林幸子、久保純子（アナ）、安藤サクラ、近藤春菜、白石麻衣、吉岡聖恵（いきものがかり）、池江璃花子、小平奈緒、小椋久美子、潮田玲子

BB 型

日本人の約 3%

- ・愚直で一途で無粋、物事に動じない安定型
- ・物事をおろそかにしない
- ・自他共に厳しく、他人への批判も厭わない傾向
- ・普段は冷静、理詰めで行動
- ・怒ると手がつけられないときがある
- ・権力を持つと独裁的、独善的になりがち

BB 型は B 遺伝子のホモ接合であるため、迷いが無い。心理的には安定型であり、一貫している。完璧主義であり、ストレートで正直。人を引きつける不思議な魅力がある。理詰めで行動し、物事をおろそかにしない。自他に厳しく、他人を批判することも厭わな



い傾向がある。クールで尖ったイメージがあり、普段は冷静だが、激昂すると手をつけられないことがある。非常に愚直で一途であり、そのために変わり者とみなされることもある。その地に足がついた言動から、しばしば組織において頼りにされ、長となることが多いが、権力を持つと独裁的になりがちである。対人関係で臆することは少ないが、なかなか理解されがたい性分であるせいか、プライベートの友好関係はさほど広くはない。

適職

政治家、スポーツ選手、技術者、研究者

男性の特徴

BB 型の男性はとにかく一途な印象が強い。「ID 野球」を掲げ、戦後の日本プロ野球の第一人者となった野村克也や、自民党を飛び出し、数々の政界再編を繰り広げ、政権交代の立役者となった小沢一郎など、ひたすら愚直に極めることでその業界における実力者となる人が多い。19 年ぶりの日本人横綱として絶大な人気を誇った稀勢の里も BB 型である。概して、政治やスポーツなどがチンコ勝負の世界で能力を発揮するようである。無名のうちは注目されることは少ないが、圧倒的な実力を身につけて注目されれば、他の追随を許さない存在になるようだ。

有名人：小沢一郎、野村克也、稀勢の里

女性の特徴

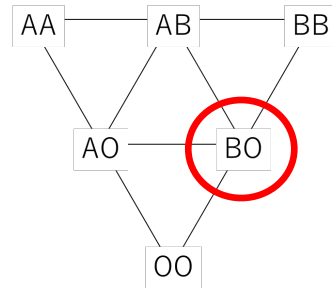
BB 型の女性については、筆者の中で自信を持って断言できる確固たる有名人が思い浮かばないが、おそらくは、頭脳明晰、判断力に優れ、妥協を許さない、自分の仕事はきっちりこなす、という優秀な女性が多いと思われる。基本的に冷静だと思われるが、一途で白黒はっきりつける厳しさがああり、時に激昂するなどの特徴があるかもしれない。

BO 型

日本人の約 19%

- ・集中力が高く、処理能力が高い
- ・職人・技術屋・芸術家気質、物事を極める
- ・リーダーシップ、スター性、しばしばカリスマ性がある
- ・感覚が鋭く、反射神経に優れ、軽快
- ・奇抜で自己主張は強いが常識も重視するバランス型
- ・体系化された環境でより力を発揮

BO 型は B 遺伝子と O 遺伝子のヘテロ接合であるため、常に自分の中に B と O の葛藤がある。心理的には不安定型であり、しばしば自分で自分がわからなくなることがある。B 遺伝子を用いて、物事を極めるのが得意であり、芸術家、技術屋の要素が強い。物事の処理能力が高い。集中力に長け、反射神経に優れる。あまり周りを気にしないが、自分が置かれている立場を重視する。奇抜さを好む一方で、常識も重視し、最終的には物事を丸く収めることを志向する。協調性が高く、対人関係は無難にこなす場合が多い。リーダーやスターの素質があり、味がある人が多い。基本的に外向的な人が多いが、内向的な人も一定数いる。混沌とした状況も得意だが、体系化された環境の中でかなりの力を発揮する。しかし自ら物事を体系化するのは苦手。対人関係で臆することは多少あるものの、友好関係は比較的広めである。



適職

芸術家、政治家、技術者、公務員（技術系）、研究者、俳優、スポーツ選手、

芸人

男性の特徴

BO型の男性は、業界においてトップクラスに位置する権威者が多い。それだけ物事を極め、成果を上げることにおいて、非常に長けていると言える。芸能界においては、西田敏行、高橋英樹などの俳優界の重鎮、明石家さんま、松本人志などお笑い界の大御所を擁す。スポーツにおいては並々ならぬ能力を発揮し、日本人メジャーリーガーの先駆者・野茂英雄、世界で最も多くヒットを打ったイチロー、唯一の400勝投手である金田正一、G9時代の巨人のスター・長嶋茂雄、メジャーで二刀流の大谷翔平、オリンピックで計4個の金メダルを獲得した水泳の北島康介、海外では陸上のウサイン・ボルトなど、突出したスター選手が多い。政治においてもトップに立つことが多く、元首相の安倍晋三、大阪維新の橋下徹、野党第一党の枝野幸男など、リーダー格にはBO型が多いが、対人関係はO遺伝子、思考回路はB遺伝子を駆使し、独裁的になりすぎず的確に組織を率いていくことが可能なのだろう。

有名人：安倍晋三、二階俊博、石破茂、枝野幸男、橋下徹、イチロー、金田正一、野茂英雄、長嶋茂雄、大谷翔平、西田敏行、松平健、高橋英樹、羽生結弦、北島康介、大鵬、明石家さんま、松本人志、田中裕二（爆笑問題）、矢沢永吉、ウサイン・ボルト、小倉智昭、宮根誠司、DaiGo（メンタリスト）、亀梨和也、YOSHIKI

女性の特徴

BO型の女性は、素朴でどこか愛嬌があるイメージである。基本的には対人関係を無難にこなすが、仕事に対する姿勢は厳しいものがあるようだ。そして、

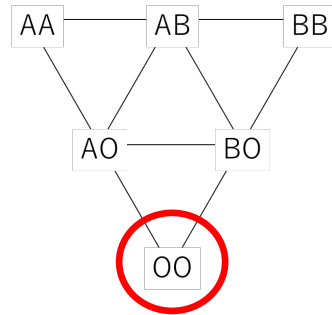
やはり技術的に優れている人が多い。特に活躍が著しいのは女優・アイドルとスポーツ（特にテニスや卓球など個人競技）である。好感度 No.1 女優の綾瀬はるか、ドクターXの主演・米倉涼子、元AKB48のセンター・大島優子、卓球の福原愛、テニスの伊達公子、杉山愛などがBO型である。

有名人：綾瀬はるか、かたせ梨乃、吉岡里帆、米倉涼子、大島優子、福原愛、杉山愛、伊達公子、LiSA、有村架純、天童よしみ、小倉優子、谷亮子、柴咲コウ、浜辺美波、清原果耶、伊調馨

〇〇 型

日本人の約 30%

- ・欲望に素直でストレート
- ・現実的で金儲けがうまい
- ・夢と野望は大スケール
- ・社交的で親分肌
- ・おおらかで心が広い
- ・理性的で人間くさい



〇〇 型は O 遺伝子のホモ接合であるため、迷いがない。心理的には安定型であり、一貫している。ストレートで正直。言動がわかりやすい。人たらしで、しばしば人を惹きつける魅力がある。理詰めで行動するが、感情も重視し、愛情に弱い。ロマンチストである一方で、現実的である。計算が得意で、お金大好き。夢は大スケールで、野心に燃える。対人関係を重視し、嫌われることを無意識に恐れるあまり、八方美人の傾向がある。考え方はオーソドックス。好戦的で負けず嫌いだが、無用な対立は嫌う。大雑把、おおらかで、親分肌、心が広い。性格は外向的な人が多く、社交的。対人関係では、初対面の人に臆することはあるものの、仲間意識が強く、友好関係は比較的広い。

適職

実業家（特にベンチャー）、会社員（営業系）、タレント、スポーツ選手、政治家

男性の特徴

〇〇 型男性は、経営者、芸能界、スポーツにおいて大いに活躍している。日

本の長者番付の上位はほとんどが OO 型である。創業者から社長になって成功している人は OO 型が圧倒的に多いのだ。これは、OO 型の現実的なセンスと、誰とでもうまくやっていける人間性、そして誰よりも「社会と金を愛する」ことから来ている。現実的な OO 型男性は、金こそが人間社会で生きていく上で何よりも大切なことを心得ているのだろう。スポーツにおいても、さまざまな種目で能力を発揮する。野球では王貞治、松井秀喜等のホームランバッター、日本球界唯一の 3000 安打打者の張本勲、3 度の三冠王を獲得した落合博満が OO 型である。相撲界では大横綱の貴乃花と朝青龍を輩出している。芸能界（特にタレント）には非常に多い。ビートたけし、タモリといった大御所から、福山雅治などの歌手、上田晋也、太田光などバラエティー番組に引っ張りだこの芸人を擁し、多方面で活躍している。

有名人：タモリ、ビートたけし、孫正義（ソフトバンク）、前澤友作（ZOZO）、三木谷浩史（楽天）、柳井正（ファーストリテイリング）、王貞治、張本勲、松井秀喜、落合博満、星野仙一、茂木健一郎、西村博之、堺雅人、福山雅治、遠藤憲一、向井理、木村拓哉、稲垣吾郎、高橋一生、武田鉄矢、所ジョージ、太田光、上田晋也、有田哲平、笑福亭鶴瓶、北島三郎、国分太一、城島茂、石川遼、朝青龍、貴乃花

女性の特徴

OO 型の女性は、自分を美しく見せる努力を怠らない印象がある。性格的には負けず嫌いで、自己主張が激しい印象だが、とにかく色気に溢れている。男性から見ると、非常に魅力的な女性に映る。その美貌を売りに、女優としての人気は高く、天海祐希、吉高由里子、上戸彩、川口春奈など、気骨があり女性としての魅力に溢れるイメージが強い。スポーツ界でも大いに活躍しており、

卓球の石川佳純、伊藤美誠、バレーボールの木村沙織、マラソンの高橋尚子など、日本代表のエースとして活躍する人材が多く輩出されている。

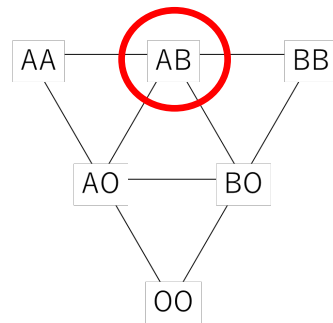
有名人：吉高由里子、上沼恵美子、剛力彩芽、吉田羊、上戸彩、土屋太鳳、井上真央、川口春奈、波瑠、安室奈美恵、菜々緒、天海祐希、石川佳純、伊藤美誠、美空ひばり、木村沙織、壇蜜、高橋尚子、高木美帆、島津亜矢、和田アキ子、松任谷由実、YOU

AB 型

日本人の約 10%

- ・二面性は捨てきれない
- ・無意識的な緻密性
- ・中立、公平、合理的な志向性
- ・人によっては口と頭の回転が非常に速い
- ・クールで皮肉めいた批評家気質
- ・全体マネジメントに長ける

AB 型は A 遺伝子と B 遺伝子のヘテロ接合であるため、常に自分の中に A と B の葛藤がある。心理的には不安定型であり、自分を制御できないときがある。常識の枠組みの中に奇抜さを取り入れることを好む。目



立つことはあまり好まないが、時と場合によってはかなり外向的になる人もいる。基本的に真面目で、非常にソツがなく、物事をおろそかにしない。考え方と人格における二面性は捨てきれず、常に A と B の間で揺れ動いている。人によっては非常に皮肉めいており、鋭さと緻密さを持ち合わせた批評家気質である。一方で、慈悲深い面や、誰とでも打ち解けられる柔軟さがあり、ユニークであるが常識人のイメージが強い。頭と口の回転が非常に速い人が一定数おり、このタイプの人は考えながら非常に高速で話すことができる。協調性は高いが、干渉を嫌う面もある。分析力と洞察力に優れ、物事を極めることも得意な一方、全体を俯瞰した組織マネジメントも得意。A と B の 2 つの遺伝子を駆使して物事を 2 面的に見ることで、できるだけ中立、公平、合理的な判断を志向する。クールでドライだが、心のつながりを大切にする。ベタベタした関

係を好まないが、プライベートの友好関係は狭くはない。

適職

会社員、公務員、自営業、俳優、芸人（漫才系）、作家、研究者

男性の特徴

AB 型男性は、口と頭の回転を武器にしている人が一定数いる。作家で東京都知事を 4 期務めた石原慎太郎は、速い口調で次々と難解な単語を繰り出し、反論を全く寄せ付けなかった。島田紳助、古館伊知郎などは驚くべきスピードで話し続けることでその地位を不動のものにした。山里亮太（南海キャンディーズ）は芸能界でもきつての頭と口の回転が速い芸人である。口調が速いわけではなくとも、言葉遣いが上手い人も多い。バラク・オバマは”Yes we can”をフレーズで全米を席卷した。松岡修造は独特のフレーズを駆使して視聴者を楽しませている。話すスピードが遅い AB 型も、その場を取り仕切るのが上手く、安住紳一郎などの司会者を生み出している。その他著名人では、ジャニーズの創立者・ジャニー喜多川、南海ホークスの名監督・鶴岡一人など、全体を俯瞰した組織マネジメントに長けていると言える。

有名人：石原慎太郎、岸田文雄、島田紳助、星野源、古館伊知郎、坂上忍、バラク・オバマ、相葉雅紀、内村光良、鶴岡一人、山里亮太、松岡修造、ジャニー喜多川、柳田悠岐

女性の特徴

AB 型女性は、堅実でソツなく、無難に仕事をこなす人が多い。広瀬すず、志田未来などの子役上がりの女優が多いのも特徴。漫才師の宮川花子のように、

口と頭の回転が速く、驚くべきスピードで話し続けることができる人がいるのは男性と共通する。ただし男性に比べて AB 型女性の個性は相対的に弱いように思われる。

有名人：広瀬すず、広瀬アリス、高畑充希、志田未来、水川あさみ、宮川花子、戸田恵梨香、百田夏菜子（ももいろクローバーZ）、名取裕子

両親の血液型と気質

以上の血液型の特徴であるが、当然ながら、育った環境にも影響を受ける。中でも家族（特に親）の血液型は大きく影響する。例えば、AO 型であっても、親が OO 型であれば OO 型に近い気質を持つだろうし、親や兄弟に BO 型がいれば、BO 型的になる。OO 型でも親や兄弟が AO 型であれば、AO 型に近くなるし、親や兄弟が BO 型であれば BO 型に近い気質になる。BB 型の場合、両親が BO 型の場合「はっちゃけた」性格になるが、親に AB 型がいる場合は極めて常識的な人物になる傾向があるようである。

第4章

6タイプ血液型の相性

血液型気質論において、最も関心が高いのは、相性である。以下、6タイプ血液型による新たな相性診断について、見ていこう。

AO 型のあなたから見て

AO 型

AO 型にとって、AO 型は最も違和感なく接することができる存在である。考えていることがわかり、思ったことも相談しやすい。危機に瀕しては協力し、自ずと絆は固くなるだろう。両者の関係は、概ね問題なく進むことが多いであろう。特に、あなたが相手に憧れを抱いていたり、好意を持っていたら、なおさらうまくいく可能性が高い。その逆も然りである。欠点としては、お互い刺激に乏しいことである。AO 型にとって AO 型は最も安心できる相手であると同時に、最も刺激が少ない相手ともいえる。普段は控えめな AO 型同士、2 人でいるときは、本音で話した方が刺激的で楽しい時間を過ごせるかもしれない。なお、同じ AO 型同士、最も合いやすいペアではあるが、当然個人差が存在するし、互いの気持ちがわかりやすい分、何かのきっかけで険悪になることもある。AO 型同士に限らず、同じ血液型だからといって安心せず、相手との関係を蔑ろにしないよう務めることは、当然ながら必要だろう。

OO 型

AO 型から見て、OO 型は良き友であり、賛同者であり、時には憧れの存在である。OO 型のおおらかで時に情熱的な生き方に、AO 型は魅力を感じるだろう。AO 型からみれば、OO 型の考えはオーソドックスで、自分の気分が害されることも少ないから、居心地の良さも感じるだろう。OO 型は相手を立てるのがうまく、繊細で内気な AO 型は OO 型の前向きな言動に助けられることも多い。OO 型も、細かい部分に目を行き届かせる AO 型を重宝する。問題は、AO 型が OO 型を物足りなく感じるとき、OO 型が AO 型に

傷つけられたと感じたとき、そして利害対立が生じたときである。AO 型が OO 型を軽視すれば、両者の関係は途端に冷え込む。OO 型が AO 型を恨めしく感じれば、OO 型は AO 型から離れていくだろう。両者の関係性において、常にお互いを思っていることが大切である。

BO 型

AO 型から見て、BO 型は、なんとなく接しやすいと感じるか、あるいは苦手意識を感じるかである。両者の関係は、個人間によるところが大きい。うまくいく場合、AO 型は BO 型に対して、気さくで良い人だという印象を持つだろう。こちらの思いもわかってくれるし、危機に瀕しては頼りにもなる。刺激を与えてくれる魅力的な存在と映るだろう。対して、好ましくないと感じる場合、最悪その人間性に耐えられないこともある。言動が厳しく、ややもすると利己的で、冷たいと感じるだろう。そのような相手であっても決定的な対立が生じることは少ない。AO 型から見て BO 型とうまくいくかどうかは、個人差も大きい。合ってしまえば、その関係性は長期的に盤石である。合わないならば、諦めも必要かもしれない。

AA 型

AO 型から見て、AA 型は、芯が強く、しっかりした人だという印象を抱く。よく知っていくうちに、AA 型の奥深さを理解し、AO 型にとって精神的支柱となることも多い。仲良しグループなどでは、AO 型が AA 型を長と仰ぐことも多い。控えめで臆しがちなことが多い AO 型にとって、AA 型は、臆することがなく、ストレートだから、頼りがいがあるし、なおかつ、AO 型の気持ちをよく理解してくれる。AO 型にとって、AA 型は頼りがいのあるリーダーである。両者の間に問題が生じるとすれば、AO 型が AA 型を変人

扱いしたり、愛想を尽かすときである。AA型の行き過ぎた考えに辟易したり、一緒にいることに困憊すれば、両者の関係は疎遠になるだろう。逆に、AA型を信頼し、真心で接すれば、信頼は揺るぎないものになる。

BB型

AO型にとって、BB型は一般的には、最も合わない相手である。AO型式の気遣いが通じず、ブレず、臆さないBB型を、AO型は恐れ嫌う。秩序構築を好むAO型だが、BB型を操縦することは不可能である。BB型の心ない言動に、AO型は自尊心を傷つけられることが多い。しかもBB型はAO型を無意識に侮蔑する傾向があり、このような仕打ちにAO型は耐えられず、恨みを抱く。AO型がBB型に過度な嫌悪感を抱き、結果、両者が対立することも多い。こうなると、AO型が泣き寝入りするか、お互い一歩も引かず、長期的な消耗戦となることもある。一方で、両者の関係がうまくいく場合もないわけではない。両者の利害関係が一致したとき、AO型がBB型を嫌わずに、違和感なく受け入れたときである。AO型にとって、BB型は、自分の感覚とは異なり、恐ろしい相手に見えるかもしれない。しかし、BB型の方はAO型に特段の悪意は持っていないことも多い。その真意を理解し、真心から接すれば、うまくいく可能性も見えてくる。仲良くなってしまうと、案外問題なく両者の関係は続いていく場合も多い。AO型がBB型とうまくいくためには、まずは先入観とプライドを捨てることである。

AB型

AO型にとってAB型は一般に助かる存在である。頭の回転が早く、臨機応変、合理的で、同じA因子を共有するAB型は、AO型にとって、優秀な理解者である。両者が友人関係となることは多く、「上品な」関係が構築で

きるであろう。一方で、AO型に苦手意識を与えるAB型が一定数いるのも事実である。ソツがなく、物言いも鋭いことがあるAB型を、AO型は鬱陶しく感じ、得意としないことも多い。AO型にとってAB型は「とっつきにくい相手」でもあり、AO型がAB型に辟易し、敬遠すれば、両者の関係は途端に冷え込むことになる。AO型とAB型がうまくいくのは、両者が信頼し合い、AO型がAB型に隠すことなく心から話せる関係であること、AO型がAB型を鬱陶しく思わないことである。

OO型のあなたから見て

AO型

OO型から見て、AO型は、真面目でしっかりした人だという印象を抱くだろう。AO型とは仲良くなることが多く、良き友人である。AO型をどこか「憎めないな」と思うことも多いだろう。OO型からすると、AO型はリードしてくれる存在でもある。秩序つくることを好むAO型だが、その秩序をOO型は嫌だとは思わないだろう。お互いが信頼しあえば、両者の関係は盤石である。問題が生じるのは、両者が利害対立したとき、OO型がAO型に「利用された」と感じたときである。OO型がAO型を恨めしく思う状況では、OO型はAO型に対して被害妄想を抱き、AO型の元を去っていくだろうし、両者の仲が悪くなれば、互いに頑として譲らないこともある。両者がうまくいくには、お互いがお互いを思うことが第一である。

OO型

OO型から見て、OO型は一緒にいて、最も楽しく、信頼し合える関係である。仲良しグループでも、OO型は互いに集まる傾向がある。OO型同士が集まると、結束力が強い集団になる。問題が生じるとすれば、発展性が乏しくなることである。Oという単一の因子しか有していない者同士、物の見方が単一化され、発展性がなくなるのである。また、OO型同士は、自己主張が強い分、人と場合によっては、闘争が起こる場合もある。たいていの場合、戦っても禍根を残さないことが多いのだが、好ましいことではないのは確かである。

BO 型

OO 型にとって、BO 型は子供のような存在である。たいていの場合、BO 型は OO 型に賛同し、真正面に異を唱えることは少ないから、OO 型にとって、BO 型は好ましい相手に見えるだろう。BO 型も、おだて上手で世話好きの OO 型には魅力を感じている。うまくいっているとき、両者の関係は、OO 型が主導権を握っている。問題となるのは、BO 型が OO 型に不満を抱いたとき、あるいは BO 型が OO 型を無能だと感じたときである。マイペースな OO 型の態度に耐えられなくなれば、BO 型は OO 型から離れていき、OO 型を無能だと感じれば、BO 型が OO 型に攻撃を仕掛けることもあり得る。こうなると、両者の関係は冷え込む。しかし、概ね、OO 型と BO 型は相性の良い組み合わせである。

AA 型

OO 型から見た AA 型は、堅いイメージである。AO 型でもしっかりしているように映るが、AA 型はさらにしっかり者のイメージがある。AO 型と異なり O 因子を共有しない分、AA 型とはなかなか皮膚感覚を共有できないことも多いだろう。両者の関係は感情よりも目的志向で結ばれることが多い。AA 型も OO 型と同じホモ接合で、ストレートで方向性ははっきりしているから、両者の関係性においては葛藤や迷いは少ない。OO 型は AA 型にべったりといったことは少なく、あくまでビジネスライクの信頼関係が主である。両者の関係が悪化するとすれば、それは、OO 型が AA 型に「耐えられない相手」と思われた時である。完璧主義で淡泊な AA 型から見ると、大雑把、欲望に素直な OO 型は、生理的に受け入れ難い時がある。人にもよるが、もっぱら OO 型を嫌う AA 型もあり、個人間では AA 型と OO 型が水と

油のような関係になってしまう場合もたまに見られる。OO 型にとって、AA 型とうまくいくには、欲を押さえ、しっかりと対応することが必要である。

BB 型

BB 型は、OO 型から見ても他とは異なって見えるだろう。無粋でブレのない BB 型を、OO 型は一目置いている。しかし、だからといって、はじめから BB 型を遠ざけたり、脅威に感じるようなことはない。OO 型は持ち前のコミュニケーション能力で、BB 型と良好な関係を築きたいと思うだろう。BB 型を嫌うことはなく、力を貸そうとして思いやりの言動に出ることも多い。BB 型の方も、現実的で目的達成力の高い OO 型を尊敬しており、自分に気を利かせてくれる OO 型に感謝している。このような場合、両者の関係は良好である。両者が親密になれば、BB 型が黒幕となり、OO 型を表舞台に立たせるという構図もしばしば見られる。元来相性が悪くない両者の関係であるが、それが崩れるとすれば、OO 型が BB 型の言動を問題と感じ、避けようとする場合である。このような場合、両者の関係は急速に瓦解するだろう。OO 型が BB 型とうまくいくには、常に BB 型を「味方」と思い、思いやりを忘れないことである。

AB 型

AB 型は OO 型にとって、面白い存在であり、有能であり、細かなところも怠らない、クールで理知的な存在、といったイメージがある。OO 型が OO 型以外で最も憧れるとすれば、AB 型である。自分にはない A 因子と B 因子を共に持つ AB 型に、OO 型は憧れるのである。非常にソツなく、しばしば物言いが辛辣なことがある AB 型であるが、細かいことを気にしない OO 型は、そんな AB 型とも波長が合うことが多い。AB 型の皮肉や辛らつな表現

も、OO型は現実的で気の利いた対応で楽しんでしまう。かといって、両者はベタベタするような感情的な関係にもならず、あくまでビジネスライクな信頼関係が主である。このような適度な距離を保ちながら、両者は良好な関係を築くことが多い。両者の関係が問題になるとすれば、OO型があまりにも欲望的になったり、AB型に干渉してしまう時である。もともとクールでドライなAB型であるから、OO型はそれ相応の「知的」な関係を保つ必要がある。

BO 型のあなたから見て

AO 型

BO 型から見た AO 型は、概ね好印象である。常に周りを気にして節度を保つことが多い AO 型は、BO 型から見ても、常識人と映るだろう。BO 型は AO 型の感情を汲み取ることに長けている面があり、普段は控えめな AO 型の中に秘められた感情や能力を、BO 型が見出すこともある。一方で、人にもよるが、意見の対立が生じる場合もある。これは、相反する A と B の因子を持つが故に、気質の相違が表面化することによる。このような場合、BO 型が AO 型に対して批判的になり、AO 型は BO 型を忌避する傾向がある。元来 B 因子を有する人に対し苦手意識を持っている AO 型は、BO 型の B 因子が強く出た際に嫌悪感を示すだろう。しかしながら、両者が決定的な対立関係になることは多くはない。両者に共有する O 因子が、致命的な消耗戦を防いでいるのである。むしろ、AO 型と BO 型はうまくいけば、絆の強いコンビになり得る。もっとも、両者とも、お互いを「どこか憎めない」という思いもあり、合ってしまえば、お互いに仲良くなることが多い。BO 型が AO 型と接する際に留意する点は、B 因子を前面に出さないことである。O 因子の要素を強く出せば、良好な関係を長期にわたって築けるだろう。

OO 型

BO 型から見て、現実的で目的指向性の強い OO 型は尊敬できる存在であることが多いとともに、プレッシャーを感じる存在でもある。両者の能力が同程度であれば、主導権は OO 型が握る。OO 型は BO 型にとって良いリーダーであり親分となりうる。OO 型は BO 型をおだてるのがうまく、その才能を発揮させるのがうまい。BO 型も OO 型の意を汲んで何かを行うこと

は、やりがいを感じるであろう。元来非常に相性の良い組み合わせである。そんな両者の関係が崩れるとすれば、BO 型が OO 型に不満を持ったときである。大雑把な OO 型は BO 型の感情に無頓着になることも多い。OO 型がマイペースになるあまり、BO 型が軽視されていると感じたとき、BO 型は OO 型から離れていくだろう。逆に、BO 型が OO 型と良好な関係を続けたければ、多少の我慢は必要かもしれない。

BO 型

同じ BO 型同士、感覚が最も合う組み合わせである。お互い思考回路が同じであり、価値観も共有でき、信頼関係も強いものがある。かといって、両者はベタベタした関係にはならない。互いに我が道を進む中で、必要に応じて Win-win を保つのが BO 型同士の関係である。当然ながら、互いに反発が生じることもあるし、権力闘争などの対立が生じることもあるが、そのような場合でも骨肉の争いにまで発展するようなことも少ない。互いに常識をわきまえるところはわきまえるし、Win-Win の関係でいることのメリットを誰よりも理解している者同士だからだ。特段の問題がなければ、BO 型同士、少なくとも体裁上は安定した関係を築くことができるだろう。

AA 型

BO 型からみた AA 型は堅物の印象を受ける。第一印象として、どこか合わない感じを受けるかもしれない。しかし話してみると、AA 型はしっかりした考えを持っていることが理解できるだろう。BO 型に対しても善意で接することが多い AA 型に対して、BO 型も悪い気がしないはずだ。両者の関係は、どちらか一方が批判的にならない限りうまくいくと考えていい。仲良くなれば、BO 型が AA 型を兄貴分のように慕う関係になることもある。逆

に、どちらか一方が批判的になれば、疎遠になりやすい。両者は共有する因子が存在しないため、深い理解は難しいが、互いをリスペクトする限り、ドライで良好な関係が築けるはずである。

BB 型

BO 型にとって、BB 型は親分のような存在だ。O 因子を持っていない分、ストレートな BB 型は、BO 型にとっても威圧感のある存在でもある。BB 型は元来 BO 型を嫌うことは少ない。むしろ好くことが多い。両者の関係は、ややもすると不器用な BB 型に、器用な BO 型が合わせるという形が多い。両者が密な関係になると、BB 型の意向を BO 型が実行する、といういわば主従関係のような形もしばしば見られる。両者の関係は概ね良好なことが多いが、関係が崩れるとすれば、BO 型が BB 型を避けるときである。独裁的、極論的になりがちな BB 型は、BO 型にとってもしばしば対応が難しい相手であり、BO 型が愛想を尽かせば、両者の関係は途端に冷え込むであろう。BO 型にとって、BB 型とうまくいきたいければ、愛想を尽かさず、極力 BB 型の意向に沿うことである。

AB 型

BO 型にとって、AB 型は気さくに何でも話せる相手である。同じ B 因子を共有し、頭の回転が速く、物事を多面的に見て、冷静で的確な言動を行う AB 型は、BO 型の好奇心や向上心を大いに満たし、適切な方向にリードしてくれる存在である。AB 型も有能で気さくな BO 型を買うことが多く、両者は Win-Win の関係となる場合が多い。両者の関係が悪くなるとすれば、AB 型の「二重人格」に BO 型が不信感を抱くときである。特に、AB 型の立場が上の場合、BO 型は AB 型に振り回されることが多い。BO 型が十分有能で

あれば問題は無いが、AB 型が BO 型を無能と見なした場合、BO 型は AB 型に歯が立たないだろう。このような場合、BO 型は AB 型に心身の疲弊を被る。だからこそ、BO 型にとって、AB 型とうまくいくには、自らの有能さを認めてもらうよう努める必要がある。

AA型のあなたから見て

AO型

AA型から見て、AO型は、価値観を共有し、自らの意を汲んでくれる存在であり、最も好意的になり得る存在だ。AO型も、AA型のストレートな方向性についていくことが多い。それも、決して無理矢理ではなく、互いに絆で結ばれているといった感じである。このような密な間柄になれば、両者の関係は、AA型がAO型をリードすることが多い。常にA因子とO因子の間で葛藤と迷いがあるAO型から見ると、ストレートで物怖じせず、しかも気持ちを共有できるAA型は非常に頼りになるリーダーである。このように両者の関係は、基本的にはうまくいくが、もし問題が生じるとすれば、常識派のAO型が、ややもすると極端で変わって見えるAA型の言動を問題視する場合である。このような場合、AO型はAA型にしばしば「変人」というレッテルを貼るが、このような蔑視に対し、AA型は大変傷つく。このような事態にならないためにも、逆に、AA型はAO型に「変人」と思われるような言動をしないよう、務めることも必要かもしれない。

OO型

AA型から見て、OO型は特に尖ったわけでもなく、普通の人に見えるだろう。あるいは、その欲望にストレートな言動をやや苦手に感じることもあるかもしれない。両者の関係は、基本的には目的志向で結ばれる。ともに目指すものが共通すれば、ドライな信頼で結ばれた良好な関係を築ける。一方で、両者に何らかの対立が生じれば、関係性は悪化する。特に、AA型がOO型に耐えられなくなったときに問題が生じる。完璧主義で淡泊なAA型から見ると、大雑把、欲望的なOO型は、生理的に受け入れ難い時がある。人に

もよるが、もっぱら OO 型を嫌う AA 型もいるほどである。結果、個人間では AA 型と OO 型が水と油のような関係になってしまう場合もたまに見られる。このようなことにならないためにも、AA 型は OO 型に対して寛容さが必要である。大雑把な OO 型を許すことができれば、関係は良好に保たれよう。

BO 型

AA 型から見て、BO 型は有能で気さくな存在である。AA 型は、基本的には BO 型に対して好意的な目で見ると言える。共通する因子がないため、両者の関係はドライであり、深い絆は生じにくいと言えるが、しかし決定的な対立にもなりにくい。AA 型と BO 型は、共に非常にストイックであるから、自分を磨くことに意識の方向性が行くことが多く、他人に意識の方向性が向かうことはあまりないのである。過度に独裁的になることもなければ、積極的に他人に秩序を強要することもない。そのため、両者の関係は、どちらか一方が批判的にならなければ、問題になることは少ない。逆にどちらかが批判的になれば、共有する因子がない分、疎遠になるだろう。

AA 型

同じ AA 型同士、特に違和感なく接することができると思われる。ただし、両者の関係は非常にドライである。AA 型同士、ストレートで尖った部分があるため、両者が同じグループで共存することは少ないかもしれない。AA 型は AO 型や AB 型とは互いに仲良くなりやすい傾向があるが、AA 型同士については、このような傾向はあまりないように思われる。ストレートで我が道を行く感の強い AA 型同士、特に群れる必要は無いのかもしれない。かといって、決定的な対立が生じる可能性も、非常に低いと思われる。

BB 型

AA 型から見て、BB 型は、一見合わないように思えるだろう。確かに AA と BB という、反対の気質をホモで持つ同士である。しかし両者は、一旦関係を築いてしまえば、意外にも非常に合う組み合わせである。他人に対して批判的な言動を厭わない BB 型であるが、こと AA 型に対しては、そのような傾向はなくなる。BB 型にとって、AA 型は「どこか憎めない」という思いを抱かせる存在のようである。そして、時に AA 型は、BB 型の予想を超えた驚きの言動をすることもあり、このような AA 型に、BB 型は惹かれることすらある。常に上から目線なことが多い BB 型だが、AA 型に対しては、一目置いているような感がある。AA 型も、BB 型の言動にたとえ嫌気がさすことがあったとしても、持ち前の忍耐強さで受け入れるし、むしろ BB 型を師、あるいはリーダーと慕うことが多い。しかし両者とも、そのような社会的立場を超えて、無条件で仲は良いことが多いのである。顕著な対立もさほど見られない。

AB 型

AB 型は AA 型にとって、最も合う相手の一つである。AA 型は AB 型の頭の回転の速さ、有能さに惹かれる。一方で AB 型も、AA 型のブレない芯のある人間性に信頼を寄せ、惹かれていく。AA 型にとって、AB 型は有能な部下にもなる。自らの意を汲み、多くの引き出しを駆使して仕える AB 型に、AA 型は大変満足する。一方で、AA 型が AB 型の「二面性」に信頼を置けなくなれば、両者の関係性は疎遠になるだろう。逆に言えば、AA 型は AB 型の多少の「二面性」には目をつぶり、信頼することに努めれば、長く良い関係が築けるだろう。

BB 型のあなたから見て

AO 型

BB 型から見て AO 型は概して平凡な印象を受ける。尖った部分が少なく、無難な選択をする AO 型の存在を、BB 型は軽視しがちである。そればかりか、BB 型は AO 型に嫌悪感を抱くことも多いだろう。BB 型にとって、AO 型は「自分の都合の良いように周りを利用する姑息な人」という印象も与えるかもしれない。概ね周囲からの評判は良い AO 型であるが、こと BB 型から見ると、悪印象である場合も多い。対する AO 型も、マイペースでブレない BB 型に対して、しばしば気遣いが通じない相手と恐れ嫌うことが多い。AO 型は、その繊細な気質がゆえ、上から目線で他人への批判を厭わない BB 型の言動にプライドを引き裂かれ、非常に傷つくことがある。このような場合、AO 型は BB 型を非常に恨み、BB 型は AO 型を軽蔑し忌み嫌うという関係性となり、両者が一歩も譲らない対立関係に至る場合もしばしば見られる。しかしこのような状態になるのも時と場合次第な面もあり、条件が変われば案外過去の対立も忘れてカラッと仲直りすることすらある。人にもよるが、両者は案外合う場合も少なくはない。両者の関係がうまくいくのは、BB 型が AO 型を認め、AO 型が BB 型を違和感なく受け入れる場合である。良好な場合、案外この組み合わせは長続きする。特に、無粋で独裁的になりがちな BB 型に最後まで付き合っているのは AO 型、といった場合さえも起こり得る。いずれにしても、BB 型にとって AO 型と上手くいくには、まずは AO 型を認めることである。

OO 型

BB 型にとって、心が広く、現実的でコミュニケーション能力に優れた OO 型は、概ね好印象であろう。OO 型の欲望にストレートな気質に苦手意識を抱くこともあるかもしれないが、両者の関係は概ね良好なことが多い。BB 型は OO 型の人間性に魅力を感じ、特に自らに目をかけてくれた OO 型に対し、感謝の念を抱くことも多い。OO 型も BB 型に一目置きつつも、思いやり、協力するが多いのである。そんな両者の関係が崩れるとすれば、BB 型の言動の度が過ぎ、OO 型に問題視されたときである。理性的で心の広い OO 型であるが、BB 型の「独裁化」の度が過ぎれば、さすがに問題視する。このような場合、OO 型は BB 型に協力することはなくなり、両者の関係は疎遠になる。BB 型が OO 型と上手くいくには、あまり暴走しすぎないことである。

BO 型

BB 型にとって BO 型は最も皮膚感覚が合う相手である。思考回路が共通し、自らの意図が通じやすい。特に互いに好いている場合は、抜群の相性を発揮するだろう。このような場合、BB 型にとって BO 型は最も主導権を握りやすく、自らの意を汲んで動いてくれる存在である。と同時に、BB 型が BO 型にどこか憧れの念さえ抱くこともある。両者の関係が悪化するとすれば、BB 型の行き過ぎた言動に BO 型が辟易し、愛想を尽かす場合である。O 遺伝子が入っている分、常識と体裁を重視する BO 型は、BB 型の「はっちゃけた」言動を問題視することがしばしばある。このような時、BO 型は BB 型から離れていき、最悪の場合は対立関係にもなる。元来相性の良い組み合わせであるので、BB 型が BO 型に対してあまり独善的にならなければ、両者の関係はうまくいくことが多いだろう。

AA 型

BB 型から見て、AA 型はなんとなく不思議な存在に映るだろう。自らと異なることははっきりと認識できるのだが、どこか憎めないという思いになる。一見、合わないように思われるかもしれない。しかし、話してみれば非常に仲良くなれる相手であろう。AA 型と BB 型は正反対に位置する鏡の左右のような関係だが、相性は決して悪くない。お互い淡泊な気質のため、決定的な対立関係になることも少ない。ただし AA 型は BB 型との間柄において、しばしば非常に忍耐している場合がある。BB 型の立場が上、AA 型の立場が下の場合、この傾向が顕著である。AA 型は BB 型に対して、師と仰ぎ、着いていくことも多いが、これは AA 型の忍耐力があってこそでもある。そんな AA 型に対して、BB 型はしばしば労ってあげる必要があるかもしれない。

BB 型

BB 型は最も割合が少ない血液型であるため、BB 型同士が接点を持つことは少ない。ゆえに、相性の診断も難しい。その希少性が故、BB 型にとって、他の BB 型は、自らの投影のように映るかもしれない。かといって、両者に深い関係が生じることもあまりないと思われる。無粋で一途に我が道を行く BB 型にとって、同じ BB 型に対して意識をすることは少ないだろう。故に、決定的な対立関係になることもないかもしれない。BB 型同士の関係性について書くには、より多くの事例観察が必要である。

AB 型

BB 型にとって、AB 型は、自らの意図が通じやすく、そして、一緒にいて能力が発揮しやすい相手である。AB 型の立場が上の場合、BB 型を育て、大

成させることに長けている。両者の関係の鍵は、AB 型が握っている。AB 型が BB 型の一途な姿勢を買い、力を貸せば、両者の関係は安定し、BB 型は大いに力を発揮できるだろう。対して、バランス感覚を重視する AB 型が BB 型の行き過ぎた言動を問題視し、遠ざけることがあれば、両者の関係は急速に瓦解するだろう。BB 型にしてみれば、自分の最大の理解者だったはずの AB 型が一転、理解不能な相手となり、敵となってしまうことも多い。このような場合、BB 型は AB 型に恨みさえ抱くことがある。逆に、BB 型にとって、AB 型と末永くうまくいくには、努めて常識的に振る舞うことである。

AB型のあなたから見て

AO型

AB型から見て、AO型は常識的で信頼できる相手と映る。信念があり、上品で、気遣いに長けるAO型を、AB型は尊重することが多い。概ね相性は良いであろう。両者はともに常識派であり、常識を越えるような対立関係に至ることは少ない。両者の関係が悪化するとすれば、AB型がAO型の「手を抜いた部分」に耐えられないとき、そして、AO型がAB型を鬱陶しく感じて遠ざける時である。非常にソツがないAB型は、AO型の時々物事を手を抜いて処理する部分に対して看過できない時がある。対するAO型は、AB型の時に緻密すぎる言動と二面的な人格を非常に厄介に感じるときがある。概ねAB型はAO型に対して好意的な目を向けることが多いが、AO型に鬱陶しがられ、辟易されてしてしまうこともある。概して、AB型がAO型とうまくいくには、あまり細かいことに拘らないことである。

OO型

AB型から見て、OO型は欲望にストレートで苦手意識を感じることがあるかもしれないが、相性は悪くない。むしろOO型はクールなAB型に惹かれることが多いのである。両者は共通する遺伝子を有しないため、ドライであるが、互いに不足する部分を補い合い、Win-Winの関係を構築することが多い。両者の関係が悪化するとすれば、AB型がOO型を軽視した時である。このような場合、両者は急速に疎遠になる。ただし、バランスを重視するAB型と心が広いOO型同士、骨肉の対立関係になるようなことはあまりないだろう。

BO 型

AB 型からみて、BO 型は部下のような存在である。両者の相性は非常に良い。AB 型は BO 型に対して好意を抱き、その活発で有能な姿を評価する。BO 型に対しては、AB 型はどこか親心のような感情を抱くことが多いのである。両者の間では、主導権は AB 型が握っている。AB 型は BO 型を使いこなすことに長けているといえるだろう。両者の関係が悪くなりうるのは、AB 型の力があまりにも強くなる場合である。AB 型にとって BO 型は扱いやすい存在であるがゆえ、特に、AB 型が BO 型を無能と見なしたとき、BO 型は AB 型に太刀打ちできないだろう。このような場合、BO 型は AB 型に心身共にボロボロにされる恐れがある。BO 型がこのような状態にならないために、AB 型は BO 型を常に尊重する必要がある。

AA 型

AB 型にとって AA 型は、頼りになる相手である。両者は互いに惹かれやすく、相性は非常に良い。AA 型は、頭の回転が速く有能で、かつ心を通わせ合いやすい AB 型を非常に買っており、AB 型も、迷いがなく一貫してブレがない AA 型を尊敬する。両者の関係は、AA 型が主導権を握ることが多く、AB 型も AA 型に率いられることについて、基本的には心地よさを感じるだろう。両者の関係が悪化するとすれば、AA 型の行き過ぎた言動を AB 型が問題視する場合、そして AB 型の二面性に AA 型が不信感を持った場合である。AB 型が AA 型とうまくいくには、あまり気まぐれにならないようにすることである。

BB 型

AB 型にとって BB 型は、時と場合によって抱く感情が変化する相手である。AB 型は BB 型の才能を買い、その能力を発揮させることに長けている。AB 型は、BB 型にとっては良き指導者であり、賛同者であり、支援者である。このような状況である限り、両者の関係は良好である。問題となるのは、BB 型が力をつけたときである。BB 型が権力を握ったときに、どうしても独裁的になりやすいが、公平性を重視する AB 型はこれを問題視するだろう。BB 型にとっては、昨日まで味方だった相手が今日から敵になったような気分を抱くことになる。AB 型の公平性、中立性、客観性が、こと BB 型との関係性という点においては仇となる。もし BB 型と末永くうまくいくことを望むなら、状況が変わっても BB 型への思いを変えないことが必要である。

AB 型

同じ AB 型同士、考えをよく理解でき、バランスと公平性を重視する者同士、無難な関係を築けることが多いだろう。他の血液型には理解しがたい独特の世界観で対話することも可能と思われる。ただし、お互い淡泊であり、強烈に惹かれることも少ないようである。また、A と B のどちらが出ているかによって、相手との歩調の合わせ方も変わってくるかもしれない。歩調が合わない場合、対立関係に陥ることもありうる。

各血液型間の「主従関係」

相性の項の最後に、各血液型間の強弱関係の傾向について見てみたい。人間関係は、完全に対等という関係は少ない。どちらかが主導権を握り、成り立っていることが多いものである。すなわち、一方が主、もう一方が従ということができる。

2人の別々の血液型が良好な関係を持つとき、どちらが主でどちらが従になりやすいかは概ね傾向として決まっている。もちろん、各人の置かれた立場、状況や年齢、性別、身分などによって、この関係が逆転することもある。しかし概ね大きな傾向としては、この「主従関係」が成り立つ。各血液型の「主従関係」をまとめたのが下表である。例えば、AO型であれば、AA型、BB型、BO型に対しては従となる一方、OO型に対しては主となり、AB型に対しては時と場合によって主にも従にもなる。

血液型間の主従関係

	OO	AO	BO	AA	BB	AB
OO	(主/従)	従	主	従	主/従	主/従
AO	主	(主/従)	従	従	従	主/従
BO	従	主	(主/従)	従	従	従
AA	主	主	主	(主/従)	従	主
BB	主/従	主	主	主	(主/従)	従
AB	主/従	主/従	主	従	主	(主/従)

これはあくまで傾向であるから、状況によって当てはまらないこともある。そして、これは、個々の能力においてどちらが優れているということでもない。

あくまで良好な両者間の関係性において、どちらが主導権を握りやすいかという傾向である。主、従それぞれの精神状態として、主の側は精神的に余裕があるが、従の側は常にプレッシャーを感じる状況になる、という傾向がある。なお、両者の関係が良好でない場合は、従側は主側に対して苦手意識を感じる人が多いだろう。

なお、遺伝子レベルでは、 $A > O > B > A$ という関係があるようである。すなわち、A 遺伝子は O 遺伝子を得意とするが、B 遺伝子には苦手意識を感じる。O 遺伝子は B 遺伝子を得意とするが、A 遺伝子には苦手意識を感じる。B 遺伝子は A 遺伝子を得意とするが、O 遺伝子には苦手意識を感じる。これは第 6 章の人類の移動と血液型に関わってくる話である。

第5章

血液型と各界での活躍

スポーツと血液型

野球

日本における国民的スポーツと言える野球だが、選手の血液型比率はほぼ日本人の平均と同じだという。しかし、突出した成績を残した選手を見ると偏りがみられる。B 遺伝子と O 遺伝子の割合が高いのだ。

キャリアで突出したバッターは OO 型、BO 型、BB 型

世界の本塁打王とされる王貞治は OO 型、本塁打数・ヒット数 2 位の野村克也は BB 型、世界のヒットメーカーイチローは BO 型、大リーグで唯一 30 本塁打を放った松井秀喜は OO 型である。通算本塁打、通算ヒット数などのランキングを見ると、B 遺伝子と O 遺伝子が目立ち、A 遺伝子は少ないのだ。

キャリアで突出したピッチャーは BO 型、OO 型の他に AB 型も

ピッチャーの通算勝利数を見ると、400 勝を挙げた BO 型の金田正一は突出した存在である。通算勝利数ランキング上位には OO 型も多いが、特筆すべきは上位 10 人に AB 型が 2 人も入っていることである。これは日本人の平均割合に比して多い。AB 型はピッチャー向きだと言えるだろう。

AO 型は短期集中では強いが選手寿命が短い

キャリア成績でほとんどランクインしていない AO 型であるが、短期集中的には突出した力を発揮する傾向がある。それを示すのがシーズン最多安打記録で、血液型が判明している上位 10 人中実に 7 人が AO 型なのだ。これは驚くべきことである。直近 20 年の首位打者、最多勝、最優秀防御率でも AO 型の率は高い。生涯キャリアでは全くと言っていいほど数字を積み重ねられない

AO 型だが、1 シーズンという短期であれば並外れた力を発揮することがあるのである。これは興味深い。もしこの活躍を毎年コンスタントに続けられればキャリアでも成績が突出するはずだが、そうはなっていない。これは、裏を返すと、AO 型の選手寿命が短いことを示すのではないか。

ホームランバッターは OO 型、BB 型

野球の華であるホームラン。ホームランバッターは OO 型が多い。通算本塁打数をみても、シーズン本塁打王をみても、OO 型と BB 型が頭一つ抜けている。

アベレージヒッターは BO 型、AO 型、AA 型

対して、アベレージヒッターには BO 型、AO 型、AA 型が多い傾向がある。直近 20 年のプロ野球首位打者獲得者の血液型では、AO 型と BO 型が日本人平均を超えている。プロ野球通算の打率を見ても、上位に位置するのは BO 型が多く、次いで AA 型、AO 型である。

最近のピッチャーは AO 型が強い

最近 20 年の最多勝、最優秀防御率のタイトルを獲得した投手の血液型は、AO 型が多い。通算記録ではからっきしの AO 型であるが、シーズン記録となると強さを発揮するようである。特に近年は、投手は AO 型に最も向いているポジションと言えるであろう。

キャッチャーは AO 型が多いが BB 型も向いている

キャッチャーは野球において独特のポジションだ。守備を行う選手の中で唯一外野を向いて守る。試合における重要性から、フィールドの指揮官ともいわ

れる。

キャッチャーと言ってまず思い浮かぶのが野村克也（BB 型）だろう。日本野球のキャッチャー論は 9 割以上の野村の論に発していると言ってもいい。彼は BB 型であるが、日本プロ野球のキャッチャーの割合で言えば、AO 型が高い。これは何を意味するのか。一見対照的な AO 型と BB 型だが、ともにキャッチャーというポジションに適しているのは何故だろうか。

AO 型と BB 型は共通点もある。それは、周りの状況を自分の思い通りにしたい、という性である。AO 型は協調的であるが、周囲の環境を整えることに並々ならぬ執念を（無意識ながら）燃やす。だから、AO 型が多い国は先進国が多いのだ。AO 型は常に周りを意識している。そして、周りを自分の思い通りに整えたいという無意識な願望を常に持っているのだ。

BB 型も基本的には似ている。だがもっと極端で、時に狂気さえも感じることもある。BB 型は地に足がついており非常に堅い印象を受けるが、権力を持つと独裁的になりやすい。それは、周りを自らの思い通りにしたいという並々ならぬ願望の表れである。しかもこのような時、BB 型は決して容赦はしないのである。AO 型の周りへの働きかけが「柔」であるならば、BB 型のそれは「剛」と言えよう。

やや話が飛躍したが、要するに常に周りを意識し、周りの環境を自分の理想の姿へ変えていこうとする性が、AO 型と BB 型は強いのであり、野球においてはそれがキャッチャーへの適性となるのである。

監督と血液型

過去によく実績を残した監督の血液型は、AA 型、AB 型、BB 型、OO 型の割合が日本人平均に比して高いようだ。一方、最近 20 年間の優勝チームの監督を見ると AO 型と OO 型が多い。

通算本塁打数（日本プロ野球）
上位20位（2021年シーズン終了時点）
（※参考は日米通算）

順位	選手名	血液型	本塁打
1	王貞治	OO	868
2	野村克也	BB	657
3	門田博光	BO	567
4	山本浩二	BO	536
5	清原和博	BO	525
6	落合博満	OO	510
参考	松井秀喜	OO	507
7	張本勲	OO	504
	衣笠祥雄	OO	
9	大杉勝男	OO	486
10	金本知憲	OO	476
11	田淵幸一	AO	474
12	土井正博	OO	465
13	T.ローズ	OO	464
14	長嶋茂雄	BO	444
15	中村剛也	OO	442
16	秋山幸二	OO	437
17	小久保裕紀	AB	413
18	阿部慎之助	AO	406
19	中村紀洋	OO	404
20	山崎武司	AA	403

	人数	割合	日本人 平均	指標
AA	1	5%	8%	0.60
AO	2	10%	30%	0.32
BB	1	5%	3%	1.59
BO	4	19%	19%	1.00
OO	12	57%	30%	1.90
AB	1	5%	10%	0.48

通算安打数（日本プロ野球）
上位20位（2021年シーズン終了時点）
（※参考は日米通算）

順位	選手名	血液型	安打
参考	イチロー	BO	4367
1	張本勲	OO	3085
2	野村克也	BB	2901
3	王貞治	OO	2786
参考	松井稼頭央	OO	2705
参考	松井秀喜	OO	2643
参考	青木宣親	AO	2593
4	門田博光	BO	2566
5	衣笠祥雄	OO	2543
5	福本豊	BO	2543
7	金本知憲	OO	2539
8	立浪和義	AO	2480
9	長嶋茂雄	BO	2471
10	土井正博	OO	2452
11	石井琢朗	BO	2432
12	落合博満	OO	2371
13	川上哲治	AA	2351
14	山本浩二	BO	2339
15	榎本喜八	OO	2314

	人数	割合	日本人 平均	指標
AA	1	5%	8%	0.66
AO	2	11%	30%	0.35
BB	1	5%	3%	1.75
BO	6	32%	19%	1.66
OO	9	47%	30%	1.58
AB	0	0%	10%	0.00

投手通算勝利数（日本プロ野球）
上位13位（2021年シーズン終了時点）

順位	選手名	選手名	勝利
1	金田正一	BO	400
2	米田哲也	AB	350
3	小山正明	「A型」 (未判別)	320
4	鈴木啓示	OO	317
5	別所毅彦	AB	310
6	V.スタルヒン	OO	303
7	山田久志	OO	284
8	稲尾和久	BO	276
9	梶本隆夫	?	254
10	東尾修	OO	251
11	野口二郎	?	237
	若林忠志	?	
13	工藤公康	OO	224

通算打率（5000打席以上）（日本プロ野球）
上位10位（2021年シーズン終了時点）
（※参考は日米通算）

順位	選手名	血液型	打率
参考	イチロー	BO	0.322
1	青木宣親	AO	0.3199
2	若松勉	BO	0.31918
3	張本勲	OO	0.31915
4	川上哲治	AA	0.313
5	落合博満	OO	0.311
6	小笠原道大	AO	0.310
参考	青木宣親	AO	0.307
7	長嶋茂雄	BO	0.305
8	篠塚和典	AO	0.304
9	大下弘	?	0.3030
10	和田一浩	OO	0.3029

	人数	割合	日本人 平均	指標
AA	1	10%	8%	0.26
AO			30%	
BB	0	0%	3%	0.00
BO	2	20%	19%	1.05
OO	5	50%	30%	1.67
AB	2	20%	10%	2.00

	人数	割合	日本人 平均	指標
AA	1	10%	8%	1.25
AO	3	30%	30%	1.00
BB	0	0%	3%	0.00
BO	3	30%	19%	1.58
OO	3	30%	30%	1.00
AB	0	0%	10%	0.00

シーズン最多安打記録（日本プロ野球）
上位10位（2021年シーズン終了時点）

順位	選手名	血液型	安打	記録年	出場試合
1	秋山翔吾	AO	216	2015年	143
2	M.マートン	?	214	2010年	144
3	イチロー	BO	210	1994年	130
4	青木宣親	AO	209	2010年	144
5	西岡剛	AO	206	2010年	144
6	A.ラミレス	AO	204	2007年	144
7	青木宣親	AO	202	2005年	144
8	長谷川勇也	AB	198	2013年	144
9	小笠原道大	AO	195	2001年	140
9	川端慎吾	OO	195	2015年	143
9	秋山翔吾	AO	195	2018年	143

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	7	70%	30%	2.33
BB	0	0%	3%	0.00
BO	1	10%	19%	0.53
OO	1	10%	30%	0.33
AB	1	10%	10%	1.00

シーズン毎の本塁打王（日本プロ野球）

セ・リーグ

年	選手名	血液型	本数
2000	松井秀喜	OO	42
2001	R.ベタジーニ	OO	39
2002	松井秀喜	OO	50
2003	A.ラミレス	AO	40
	T.ウッズ	?	
2004	T.ローズ	OO	45
	T.ウッズ	?	
2005	新井貴浩	BO	43
2006	T.ウッズ	?	47
2007	村田修一	AB	36
2008	村田修一	AB	46
2009	T.ブランコ	?	39
2010	A.ラミレス	AO	49
2011	W.バレンティン	?	31
2012	W.バレンティン	?	31
2013	W.バレンティン	?	60
2014	B.エルドレッド	?	37
2015	山田哲人	OO	38
2016	筒香嘉智	AO	44
2017	A.ゲレーロ	?	35
2018	N.ソト	?	41
2019	N.ソト	?	43
2020	岡本和真	AO	31
2021	岡本和真	AO	39
	村上宗隆	OO	

パ・リーグ

年	選手名	血液型	本数
2000	中村紀洋	OO	39
2001	T.ローズ	OO	55
2002	A.カブレラ	?	55
2003	T.ローズ	OO	51
2004	松中信彦	BB	44
	F.セギノール	?	
2005	松中信彦	BB	46
2006	小笠原道大	AO	32
2007	山崎武司	AA	43
2008	中村剛也	OO	46
2009	中村剛也	OO	48
2010	T.岡田	BO	33
2011	中村剛也	OO	48
2012	中村剛也	OO	27
2013	M.アブレイユ	?	31
2014	E.メヒア	?	34
	中村剛也	OO	
2015	中村剛也	OO	37
2016	B.レアード	?	39
2017	A.デスバイネ	?	35
2018	山川穂高	AO	47
2019	山川穂高	AO	43
2020	浅村栄斗	OO	32
2021	杉本裕太郎	BO	32

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	5	36%	30%	1.19
BB	0	0%	3%	0.00
BO	1	7%	19%	0.38
OO	6	43%	30%	1.43
AB	2	14%	10%	1.43

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	1	6%	8%	0.69
AO	3	17%	30%	0.56
BB	2	11%	3%	3.70
BO	2	11%	19%	0.58
OO	10	56%	30%	1.85
AB	0	0%	10%	0.00

シーズン毎の首位打者 (日本プロ野球)

セ・リーグ

年度	選手名	血液型	打率
2000	金城龍彦	AO	0.346
2001	松井秀喜	OO	0.333
2002	福留孝介	BO	0.343
2003	今岡誠	AO	0.340
2004	嶋重宣	AO	0.337
2005	青木宣親	AO	0.344
2006	福留孝介	BO	0.351
2007	青木宣親	AO	0.346
2008	内川聖一	BO	0.378
2009	A.ラミレス	AO	0.322
2010	青木宣親	AO	0.358
2011	長野久義	OO	0.316
2012	阿部慎之助	AO	0.340
2013	T.ブランコ	?	0.333
2014	M.マートン	?	0.338
2015	川端慎吾	OO	0.336
2016	坂本勇人	AB	0.344
2017	宮崎敏郎	BO	0.323
2018	D.ビシエド	?	0.348
2019	鈴木誠也	AO	0.335
2020	佐野恵太	AO	0.328
2021	鈴木誠也	AO	0.317

パ・リーグ

年度	選手名	血液型	打率
2000	イチロー	BO	0.387
2001	福浦和也	BO	0.346
2002	小笠原道大	AO	0.340
2003	小笠原道大	AO	0.360
2004	松中信彦	BB	0.358
2005	和田一浩	OO	0.322
2006	松中信彦	BB	0.324
2007	稲葉篤紀	OO	0.334
2008	リック.S	?	0.332
2009	鉄平	AB	0.327
2010	西岡剛	AO	0.346
2011	内川聖一	BO	0.338
2012	角中勝也	AO	0.312
2013	長谷川勇也	AB	0.341
2014	糸井嘉男	AA	0.331
2015	柳田悠岐	AB	0.363
2016	角中勝也	AO	0.339
2017	秋山翔吾	AO	0.322
2018	柳田悠岐	AB	0.352
2019	森友哉	AO	0.329
2020	吉田正尚	BO	0.350
2021	吉田正尚	BO	0.339

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	11	58%	30%	1.93
BB	0	0%	3%	0.00
BO	4	21%	19%	1.11
OO	3	16%	30%	0.53
AB	1	5%	10%	0.53

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	1	5%	8%	0.66
AO	7	37%	30%	1.23
BB	2	11%	3%	3.51
BO	5	26%	19%	1.39
OO	2	11%	30%	0.35
AB	3	16%	10%	1.58

シーズン毎の最多勝投手（日本プロ野球）

セ・リーグ

年	選手名	血液型	勝利
2000	M.パンチ	?	14
2001	藤井秀悟	AO	14
2002	上原浩治	BO	17
	K.ホッジス	?	
2003	井川慶	OO	20
2004	川上憲伸	OO	17
2005	下柳剛	AB	15
	黒田博樹	BO	
2006	川上憲伸	OO	17
2007	S.グライシンガー	?	16
2008	S.グライシンガー	?	17
2009	吉見一起	AO	16
	館山昌平	OO	
2010	前田健太	AO	15
2011	吉見一起	AO	18
	内海哲也	AO	
2012	内海哲也	AO	15
2013	小川泰弘	AO	16
2014	R.メッセンジャー	?	13
	山井大介	AO	
2015	前田健太	AO	15
2016	野村祐輔	AB	16
2017	菅野智之	AO	17
2018	大瀬良大地	AB	15
	菅野智之	AO	
2019	山口俊	AO	15
2020	菅野智之	AO	14
2021	青柳晃洋	BO	13
	九里亜蓮	AO	

パ・リーグ

年	選手名	血液型	勝利
2000	松坂大輔	OO	14
2001	松坂大輔	OO	15
2002	J.パウエル	?	17
2003	斉藤和巳	BO	20
2004	岩隈久志	AB	15
2005	杉内俊哉	AO	18
2006	斉藤和巳	BO	18
2007	涌井秀章	AO	17
2008	岩隈久志	AB	21
2009	涌井秀章	AO	16
2010	和田毅	OO	17
	金子千尋	OO	
2011	D.ホールトン	?	19
	田中将大	AO	
2012	攝津正	OO	17
2013	田中将大	AO	24
2014	金子千尋	OO	16
2015	大谷翔平	BO	15
	涌井秀章	AO	
2016	和田毅	OO	15
2017	東浜巨	AO	16
	菊池雄星	OO	
2018	多和田真三郎	BO	16
2019	有原航平	AB	15
2020	千賀滉大	AO	11
	石川柊太	OO	
	涌井秀章	AO	
2021	山本由伸	AB	18

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	14	58%	30%	1.94
BB	0	0%	3%	0.00
BO	3	13%	19%	0.66
OO	4	17%	30%	0.56
AB	3	13%	10%	1.25

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	9	35%	30%	1.15
BB	0	0%	3%	0.00
BO	4	15%	19%	0.81
OO	9	35%	30%	1.15
AB	4	15%	10%	1.54

シーズン毎の最優秀防御率投手（日本プロ野球）

セ・リーグ

年	選手	血液型	防御率
2000	石井一久	OO	2.61
2001	野口茂樹	AO	2.46
2002	桑田真澄	AB	2.22
2003	井川慶	OO	2.8
2004	上原浩治	BO	2.6
2005	三浦大輔	BO	2.52
2006	黒田博樹	BO	1.85
2007	高橋尚成	BO	2.75
2008	石川雅規	AO	2.68
2009	チェン.W	?	1.54
2010	前田健太	AO	2.21
2011	吉見一起	AO	1.65
2012	前田健太	AO	1.53
2013	前田健太	AO	2.1
2014	菅野智之	AO	2.33
2015	K.ジョンソン	?	1.85
2016	菅野智之	AO	2.01
2017	菅野智之	AO	1.59
2018	菅野智之	AO	2.14
2019	大野雄大	OO	2.58
2020	大野雄大	OO	1.82
2021	柳裕也	AO	2.20

パ・リーグ

年	選手名		防御率
2000	戒信行	?	3.27
2001	N.ミンチー	?	3.26
2002	金田政彦	?	2.5
2003	斉藤和巳	BO	2.83
	松坂大輔	OO	
2004	松坂大輔	OO	2.9
2005	杉内俊哉	AO	2.11
2006	斉藤和巳	BO	1.75
2007	成瀬善久	AB	1.82
2008	岩隈久志	AB	1.87
2009	ダルビッシュ有	AO	1.73
2010	ダルビッシュ有	AO	1.78
2011	田中将大	AO	1.27
2012	吉川光夫	OO	1.71
2013	田中将大	AO	1.27
2014	金子千尋	OO	1.98
2015	大谷翔平	BO	2.24
2016	石川歩	AO	2.16
2017	菊池雄星	OO	1.97
2018	岸孝之	AO	2.72
2019	山本由伸	AB	1.95
2020	千賀滉大	AO	2.16
2021	山本由伸	AB	1.39

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	11	55%	30%	1.83
BB	0	0%	3%	0.00
BO	4	20%	19%	1.05
OO	4	20%	30%	0.67
AB	1	5%	10%	0.50

	回数	割合	日本人 平均	指標
AA	0	0%	8%	0.00
AO	8	40%	30%	1.33
BB	0	0%	3%	0.00
BO	3	15%	19%	0.79
OO	5	25%	30%	0.83
AB	4	20%	10%	2.00

監督（日本プロ野球）

（2021年シーズン終了時点）

順位	監督名	血液型	リーグ 優勝	日本一	年数
1位	鶴岡一人	AB	11	2	23
	川上哲治	AA	11	11	14
3位	水原茂	OO	9	5	21
	藤本定義	OO	9	0	29
	原辰徳	AO	9	3	15
6位	森祇晶	BO	8	6	11
	西本幸雄	OO	8	0	20
8位	三原脩	AA	6	4	26
9位	上田利治	OO	5	3	20
	長嶋茂雄	BO	5	2	15
	野村克也	BB	5	3	24

順位	監督名		年数	試合	勝利	敗北	引分	勝率
1位	鶴岡一人	AB	23	2,994	1,773	1,140	81	0.609
2位	三原脩	AA	26	3,248	1,687	1,453	108	0.537
3位	藤本定義	OO	29	3,200	1,657	1,450	93	0.533
4位	水原茂	OO	21	2,782	1,586	1,123	73	0.585
5位	野村克也	BB	24	3,204	1,565	1,563	76	0.5
6位	西本幸雄	OO	20	2,665	1,384	1,163	118	0.543
7位	上田利治	OO	20	2,574	1,322	1,136	116	0.538
8位	王貞治	OO	19	2,507	1,315	1,118	74	0.54
9位	別当薫	AO	20	2,497	1,237	1,156	104	0.517
10位	星野仙一	OO	17	2,277	1,181	1,043	53	0.531

シーズン毎の優勝監督（日本プロ野球）

セ・リーグ

年度	チーム	監督	血液型
2000	巨人	長嶋茂雄	BO
2001	ヤクルト	若松勉	BO
2002	巨人	原辰徳	AO
2003	阪神	星野仙一	OO
2004	中日	落合博満	OO
2005	阪神	岡田彰布	AO
2006	中日	落合博満	OO
2007	巨人	原辰徳	AO
2008	巨人	原辰徳	AO
2009	巨人	原辰徳	AO
2010	中日	落合博満	OO
2011	中日	落合博満	OO
2012	巨人	原辰徳	AO
2013	巨人	原辰徳	AO
2014	巨人	原辰徳	AO
2015	ヤクルト	真中満	OO
2016	広島	緒方孝市	AO
2017	広島	緒方孝市	AO
2018	広島	緒方孝市	AO
2019	巨人	原辰徳	AO
2020	巨人	原辰徳	AO
2021	ヤクルト	高津臣吾	AO

パ・リーグ

年度	チーム	監督	血液型
2000	ダイエー	王貞治	OO
2001	近鉄	梨田昌孝	AO
2002	西武	伊原春樹	OO
2003	ダイエー	王貞治	OO
2004	西武	伊東勤	OO
2005	ロッテ	バレンタイン	?
2006	日本ハム	ヒルマン	?
2007	日本ハム	ヒルマン	?
2008	西武	渡辺久信	AO
2009	日本ハム	梨田昌孝	AO
2010	ソフトバンク	秋山幸二	OO
2011	ソフトバンク	秋山幸二	OO
2012	日本ハム	栗山英樹	AO
2013	楽天	星野仙一	OO
2014	ソフトバンク	秋山幸二	OO
2015	ソフトバンク	工藤公康	OO
2016	日本ハム	栗山英樹	AO
2017	ソフトバンク	工藤公康	OO
2018	西武	辻発彦	AA
2019	西武	辻発彦	AA
2020	ソフトバンク	工藤公康	OO
2021	オリックス	中嶋聡	AA

相撲…AO型が結果を残しやすい

大横綱の血液型

日本の国技である大相撲はどうか。
相撲の中でも頂点を極めた人の血液型
はどうであろうか。優勝 20 回以上の大
横綱を並べてみた。大鵬は BO 型、北
の湖は AB 型、千代の富士は AO 型、
貴乃花が OO 型、朝青龍が OO 型、白
鵬 AO 型である。こうしてみると、AO

	血液型	優勝回数
白鵬	AO	45
千代の富士	AO	32
大鵬	BO	31
朝青龍	OO	25
北の湖	AB	24
貴乃花	OO	22

型と OO 型が若干率が高いものの、ほぼ満遍なく複数の血液型から輩出され
ていることが分かる。中でも優勝回数 1 位の白鵬と 2 位の千代の富士は AO 型
である。相撲という競技は AO 型が向いていると言えよう。なお、6 場所制導
入以前に 69 連勝した双葉山はおそらく AA 型であろう。

歴代横綱には「A 型」が多い

次頁の表は、歴代横綱の血液型である。これを見ると、「A 型」が多い。自
らの型を持つという強い力士の条件に最も当てはまりやすいのが A 遺伝子(型
にはまったものを好む)なのであろう。

歴代横綱の血液型

O型	A型		B型		AB型
OO型	AO型	AA型	BO型	BB型	
千代山	朝潮	双葉山	若乃花(初)	稀勢の里	玉の海
鏡里	若乃花(2)	輪島	柏戸		北の湖
北の富士	三重ノ海		大鵬		
隆の里	千代の富士		旭富士		
曙	双羽黒		若乃花(3)		
貴乃花	大乃国				
朝青龍	北勝海				
日馬富士	武蔵丸				
照ノ富士	白鵬				
	鶴竜				
	(未判別)		(未判別)		
	玉錦	照国	羽黒山	前田山	
	栃錦	栃ノ海	琴桜		
	佐田の山				

O の卓球、B のテニス、A のバドミントン

卓球

卓球はもともと BO 型が強かった。福原愛や水谷隼などが BO 型だ。しかし、近年は OO 型の活躍が目立っている。女子では石川佳純、伊藤美誠、平野美宇、早田ひななど、トップ選手は全員 OO 型である。男子でも張本智和など OO 型の選手の活躍が目立っている。卓球は OO 型に非常に向いている競技である。

テニス

同じくラケットを使うテニスはどうかであろうか。日本人の活躍しているテニスプレイヤーの血液型は、錦織圭が AO 型、杉山愛が BO 型、伊達公子が BO 型、松岡修造が AB 型、国枝慎吾が OO 型である。血液型が満遍ないように見えるが、日本人の平均と比べると B 遺伝子の割合が高い。テニスは B 遺伝子が向いている競技と言えるだろう。

バドミントン

バドミントンの日本人選手はどうであろうか。小椋久美子が AO 型、潮田玲子が AO 型、藤井瑞希が BO 型、垣岩令佳が AB 型、高橋礼華が AO 型、松友美佐紀が OO 型、桃田賢斗が AO 型、奥原希望が OO 型である。トップ選手を見ると、A 遺伝子型の割合が日本人の平均に比べて高めだ。バドミントンは A 遺伝子（次いで O 遺伝子）が向いている競技と言えるであろう。

似たように見える卓球、テニス、バドミントンにおいて、このようにトップ選手の血液型の割合が異なるのは何であろうか。おそらく各競技におけるプレ

卓球選手の血液型（日本人）

2021年第31週現在				世界ランキング			
男子					女子		
4	張本智和	OO	12990		3	伊藤美誠	OO 15830
16	丹羽孝希	OO	9435		9	石川佳純	OO 11100
20	水谷隼	BO	9045		12	平野美宇	OO 10695
36	宇田幸矢	OO	6170		19	佐藤瞳	OO 8920
45	神巧也	BO	5460		23	加藤美優	AO 7775
48	森蘭政崇	AO	5195		26	早田ひな	OO 6895

テニス選手の血液型（外国人含む）

O型	A型		B型		AB型
OO	AO	AA	BO	BB	
国枝慎吾	錦織圭	ロジャー・フェデラー	伊達公子		松岡修造
ノバク・ジョコビッチ	沢松奈生子		杉山愛		ラファエル・ナダル
スタン・ワウリンカ			アンディ・マレー		
ドミニク・ティエム					
ミロシュ・ラオニッチ					

バドミントン選手の血液型（日本人）

バドミントンオリンピック日本人メダリスト、2021年時点世界ランキング上位日本人選手					
「O型」	「A型」		「B型」		AB型
OO	AO	AA	BO	BB	
松友美佐紀 (2016年リオデジャネイロ金)	高橋礼華 (2016年リオデジャネイロ金)		藤井瑞希 (2012年ロンドン銀)		垣岩令佳 (2012年ロンドン銀)
奥原希望 (2016年リオデジャネイロ銅) (2021年5月世界ランキング3位)	桃田賢斗 (2021年5月世界ランキング1位)				
	山口茜 (2021年5月世界ランキング5位)				

ースタイルの微妙な差異が理由であろう。

まず O 遺伝子が高い卓球であるが、卓球は反射神経の競技だ。一打一打打つ際に、考えていてはダメ、瞬時に反射的に対応しなければ勝つことはできない。よって、反射神経に優れた OO 型（次いで BO 型）が強いのだろう。AA 型、AO 型、AB 型、そして BB 型は、体が動く前にまず頭で考えてしまう傾向があるから、卓球のような反射的な競技には向いていないのである。

次にテニスだが、とにかくテニスは体力勝負だ。広いコート縦横無尽に動き回り続けなければならない。非常にタフな身体が求められる。それだけでなく、頭脳も必要だ。これは大きな負担だ。心身を休める暇が全くない競技なのである。しかもほとんど孤独の戦いである。（ダブルスの場合も相手との距離は一体感を育むにはかなり遠い。）要するに、孤独の中で、心身ともに、ひたすら自分を追い込み、追い詰める、自分をいじめ抜くような精神が求められる競技なのだ。このような性質上、自分にストイックで心身ともに打たれ強い B 遺伝子（特に BO 型）が結果を残すのであろう。

一方のバドミントンはやや様相が異なる。コートはテニスほど広くないので体力は消耗しない。身体には余裕がある。かといって卓球台のように狭くもない。シューは空気抵抗が強いため相手が打ってから自分が打つまでの間に少しばかりの時間がある。すなわちバドミントンは、卓球のように突出した反射神経が求められるわけではなく、打つまでに考える時間があるのだ。そしてラケットが軽量ゆえに、次に打つシューを自在に操ることも容易である。このような状況を得意とするのは A 遺伝子である。ある程度自分の身に余裕を持ちながら、頭を使って物事をうまく操作することは、A 遺伝子（特に AO 型）が得意とするところである。身体をさほど追い詰める必要もなく、適度に考える間があるバドミントンは、まさにそのような A 遺伝子が力を発揮しやすい競技なのであろう。

サッカー・・・B 遺伝子が少ない

サッカーにおいて得点王などの記録を持つ選手に「B 型」が少ないという。筆者はサッカーについて全く詳しくないため、歴代の選手の血液型について AA か AO か、BB か BO かを判別できないが、記録を残した選手の多くが「O 型」と「A 型」であり、B 遺伝子の割合が比較的低いことは確かである。（ただし AB 型の比率は日本人平均を勘案すると割と高い方である。）世界的に見ても、サッカーは最もポピュラーなスポーツであろうが、B 遺伝子の割合が高いアジアの国々はサッカーはあまり強くない。強いのは O 遺伝子（次いで A 遺伝子）が多い南米やヨーロッパである。B 遺伝子はサッカーには不向きと言えよう。サッカーは典型的なチーム競技であり、個人プレーが得意な B 遺伝子には適していないのだろう。

J リーグ歴代得点

順位	血液型 ※	選手名	得点
1	A	大久保嘉人	185
2	A	佐藤 寿人	161
3	O	中山 雅史	157
4	AB	前田 遼一	154
5	A	マルキーニョス	152
6	O	興梠 慎三	147
7	A	三浦 知良	139
8	O	ウェズレイ	124
9	O	小林 悠	120
10	O	ジュニーニョ	116

※筆者がサッカー選手に無知であり AA と AO、BB と BO が判別できないため、4 タイプ血液型で示す。

Jリーグ得点王

年	血液型 ※	選手名
1993	?	ディアス
1994	?	オルデネビッツ
1995	AB	福田 正博
1996	A	三浦 知良
1997	O	エムボマ
1998	O	中山 雅史
1999	O	黄 善洪
2000	O	中山 雅史
2001	?	ウィル
2002	B	高原 直泰
2003	O	ウェズレイ
2004	?	エメルソン
2005	?	アウラージョ
2006	?	ワシントン
	O	マグノ・アウベス
2007	O	ジョニーニョ
2008	A	マルキーニョス
2009	AB	前田 遼一
2010	?	ケネディ
	AB	前田 遼一
2011	?	ケネディ
2012	A	佐藤 寿人
2013	A	大久保 嘉人
2014	A	大久保 嘉人
2015	A	大久保 嘉人
2016	?	レアンドロ
	?	ピーター・ウタカ
2017	O	小林 悠
2018	?	ジョー
2019	A	仲川 輝人
2020	?	オルンガ
2019	A	仲川 輝人
2020	?	オルンガ

2018 年ワールドカップ

日本代表選手の血液型※

◆監督	
A	西野朗
◆G K	
O	川島永嗣
O	西川周作
B	権田修一
◆D F	
O	吉田麻也
O	長友佑都
A	今野泰幸
B	伊野波雅彦
A	酒井宏樹
O	内田篤人
A	森重真人
A	酒井高德
◆M F	
AB	遠藤保仁
O	長谷部誠
A	山口蛍
AB	本田圭佑
A	香川真司
A	斎藤学
B	青山敏弘
O	清武弘嗣
◆F W	
A	大久保嘉人
O	岡崎慎司
B	柿谷曜一朗
O	大迫勇也

冬季五輪競技種目

フィギュアスケート・・・BとOが強い

メダリスト（日本人と韓国人）					
OO型	AO型	AA型	BB型	BO型	AB型
荒川静香	高橋大輔			羽生結弦	
伊藤みどり				宇野昌磨	
鍵山 優真				浅田真央	
キム・ヨナ					

スピードスケート・・・AとOが強い

メダリスト 個人 長野オリンピック以降					
OO	AO	AA	BO	BB	AB
高木美帆	小平奈緒		長島圭一郎		
加藤条治	高木菜那				
	清水宏保				
	岡崎朋美				

スキージャンプ・・・A 遺伝子が強い

メダリスト 個人 長野オリンピック以降					
OO	AO	AA	BO	BB	AB
	小林陵侑				葛西紀明
	高梨沙羅				
	船木和喜				
	原田雅彦				

カーリング・・・OO 型が極めて少ない

女子カーリング オリンピック出場選手 2002-2022					
「O型」	「A型」		「B型」		A B 型
OO型	AO型	AA型	BO型	BB型	
藤澤 五月	小野寺 歩	吉田 知那美	目黒 萌絵		林 弓枝
	本橋 麻里		石崎 琴美		山浦 麻葉
	吉田 夕梨花				小野寺 佳歩
	未判別		未判別		
	近江谷 杏葉		寺田 桜子	米地美智子	

冬季五輪の種目を見ると、スピードスケートやスキージャンプなど、一発勝負で瞬発力が求められる競技は A 遺伝子が得意なことが見て取れる。A 遺伝子は持久力よりも瞬発力に優れていると言える。スピードスケートでも、短距離では AO 型の清水宏保や小平奈緒が強い。対照的に中長距離など論理的な冷静さが求められるものは OO 型の高木美帆が強い。スピードスケートにおける A 遺伝子の長所は、短距離であればあるほど発揮されると言えるだろう。

フィギュアスケートは B 遺伝子と O 遺伝子が強い。特に、技術力を極める B 遺伝子は、高度な技を次々と繰り出すフィギュアスケートで力を発揮しやすいのだろう。フィギュアスケートは、体力を消耗し、技も非常に難しい。自らを徹底的にいじめ抜かなければならない競技だ。心身共にタフでストイックな BO 型が強いのは納得できる。

カーリングは OO 型が極めて少ない。微妙な力加減など、非常に緻密なプレーが要求されるため、A 遺伝子か B 遺伝子が入っていないとやっていけないのであろう。どちらも入っていない OO 型には向いていない競技と言えよう。

ゴルフ・・・BO 型が強い

ゴルフ選手には「B 型」が多い。次頁表は、日本における複数回賞金王獲得者である。BO 型が目立つ。次いで OO 型多く、B 遺伝子（、次いで O 遺伝子）がゴルフに向いているのは明らかである。日本人初のマスターズで優勝した松山英樹も BO 型だ。ゴルフはひたすら孤独との戦いである。そして技術の要素が強い。これは B 遺伝子が得意とするところである。ただし女子に関しては不動裕理が AO 型であるなど、その限りではないようだ。男女差があるのは不思議である。

賞金王を複数回獲得した選手

OO	AO	AA	BO	BB	AB
中嶋常幸（4回）			尾崎将司（12回）		今平周吾（2回）
伊沢利光（2回）			青木功（5回）		
谷口徹（2回）			片山晋呉（5回）		
			尾崎直道（2回）		
			金庚泰（2回）		

賞金女王を複数回獲得した選手

OO	AO	AA	BO	BB	AB
樋口久子（11回）	不動裕理（6回）	涂阿玉（7回）	アン・ソンジュ（4回）		
大迫たつ子（3回）	塩谷育代（2回）		鈴木愛（2回）		
福島晃子（2回）	イ・ボミ（2回）		平瀬真由美（2回）		

体操・・・A 遺伝子が強い

体操は「A 型」が多い。下表が 2000 年以降のオリンピックの体操選手（個人）の血液型だ。体操はひたすら自分の「型」が求められる。いかに完璧に、ミスなく、綺麗に行うかが重要な競技である。これは細部に拘り、完璧主義の A 遺伝子が強いのは納得できる。

2000年以降 オリンピックメダリスト 個人					
	OO	AO	AA	BO	BB AB
	富田洋之	内村航平	鹿島丈博		
	白井健三	米田功			
	村上茉愛	橋本大輝			
		萱和磨			

陸上

陸上は、短距離、長距離とも O 遺伝子が強い印象だ。理由については、細かいことに拘らずに、ひたすら走るという OO 型の気質が強みを発揮しているのかもしれない。

競歩のメダル獲得者が AB 型と BO 型というのは興味深い。競歩は走らずに速く歩くという非常に技術が求められる競技であり、B 遺伝子が向いているのかもしれない。

形式上陸上に含まれるが、他の陸上競技とは競技形式が全く異なるハンマー投げは AO 型の室伏広治が強い。これは、瞬間的な力の発揮が求められるスキージャンプやスピードスケート（いずれも AO 型が得意）と通じるものがある。

2000年以降 オリンピック陸上競技メダリスト（個人）						
OO	AO	AA	BO	BB	AB	不明
高橋尚子 （マラソン）	室伏広治 （ハンマー投げ）		池田向希 （競歩）		荒井広宙 （競歩）	山西利和 （競歩）
野口みずき （マラソン）						

水泳

水泳は A 遺伝子と B 遺伝子が強いようである。岩崎恭子（AO 型）、北島康介（BO 型）、池江璃花子（AO 型）、瀬戸大也（AO 型）、萩野公介（BO 型）など、AO 型と BO 型が強いのである。この傾向は不思議であるが、緻密性（A または B）と大雑把さ（O）を兼ね備える遺伝子型の組み合わせが強みを発揮するのかもしれない。また、男女で差がある（女子は AO が多いが男子は AO が少なく BO が多い）も興味深い。

2000年以降 競泳 男子 オリンピックメダリスト 個人						
	OO	AO	AA	BO	BB	AB
	入江陵介	瀬戸大也		森田智己		立石諒
	山本貴司			北島康介		
	松田丈司			萩野公介		
	坂井聖人			本田灯		
2000年以降 競泳 女子 オリンピックメダリスト 個人						
	OO	AO	AA	BO	BB	AB
	柴田亜衣	中尾美樹	金藤理絵	大橋悠依		
	寺川綾	中村礼子				
	鈴木聡美	中西悠子				
		星奈津美				

アーティスティックスイミング（旧・シンクロナイズドスイミング）

アーティスティックスイミング選手は「B型」が極端に少ないが、A B型の割合は日本人平均より遥かに高い。これは興味深い。

女子シンクロナイズドスイミング オリンピック出場選手 2000-2016				
※筆者が選手について無知でAAとBO、BBとBOを判別できなため、4種で表示				
「O型」	「A型」	「B型」	AB型	不明
立花 美哉	神保 れい	石黒 由美子	酒井 麻里子	福村寿華
武田 美保	青木 愛		中村 麻衣	安永真白
原田 早穂	松村 亜矢子		三井 梨紗子	京極おきな
鈴木 絵美子	橘 雅子		吉田 胡桃	木島萌香
藤丸 真世	小林 千紗		中牧 佳南	柳澤明希
乾 友紀子	箱山 愛香			
足立 夢実	糸山 真与			
塚本真由	吉田萌			

柔道・レスリング

最後に、日本のお家芸とも言われる柔道、それとレスリングであるが、血液型による顕著な差は見られなかった。

向いているスポーツ

		〇〇	Ａ〇	ＡＡ	Ｂ〇	ＢＢ	ＡＢ
野球	パワー系	◎	△	△	○	○	△
	ヒット系	△	○	○	◎	○	△
	ピッチャー	○	◎	△	△	×	◎
	キャッチャー	○	◎	×	△	◎	×
	選手寿命	◎	×	△	◎	◎	○
	監督	◎	○	◎	△	○	○
相撲		△	◎	◎	○	◎	△
卓球		◎	△	×	○	?	×
テニス		◎	△	◎	◎	?	◎
バドミントン		○	◎	?	○	?	○
サッカー		◎	○	○	△	△	○
フィギュアスケート		○	△	?	◎	?	△
スピードスケート		○	◎	?	○	?	△
スキージャンプ		×	◎	?	△	×	◎
カーリング		×	○	◎	○	◎	◎
ゴルフ	男子	○	×	?	◎	?	○
	女子	○	○	◎	○	?	?
体操		◎	◎	◎	△	△	△
陸上	長距離	◎	○	△	△	△	△
	短距離	◎	△	△	○	△	△
	競歩	△	×	×	◎	?	◎
	ハンマー投げ	○	◎	?	?	?	?
水泳	男子	◎	×	?	◎	?	○
	女子	◎	◎	◎	△	?	×
アーティスティックスイミング		○	○	○	×	×	◎

億万長者はほとんど全員 OO 型

世界の億万長者は殆どが OO 型であるという。これは日本でも例外ではない。血液型が億万長者ランキング TOP10 のうち血液型が判明している人の全てが OO 型なのだ。

世界 10 位までの血液型判明者（フォーブス世界長者番付 2018）

2 位 OO 型 ビル・ゲーツ／900 億ドル（マイクロソフト）

3 位 OO 型 ウォレン・バフェット／840 億ドル（バークシャー・ハサウェイ）

5 位 OO 型 マーク・ザッカーバーグ／710 億ドル（フェイスブック）

（参考）OO 型 スティーブ・ジョブズ（アップル）

日本のビリオネア TOP10（2021 年 3 月 15 日）

1 位 孫 正義 OO 型／454 億ドル（ソフトバンク）

2 位 柳井 正 OO 型／441 億ドル（ファーストリテイリング）

3 位 滝崎武光 ?／258 億ドル（キーエンス）

4 位 永守重信 ?／87 億ドル（日本電産）

5 位 高原豪久 ?／79 億ドル（ユニ・チャーム）

6 位 三木谷浩史 OO 型／67 億ドル（楽天）

7 位 似鳥昭雄 OO 型／52 億ドル（ニトリ）

8 位 重田康光 ?／49 億ドル（光通信）

9 位 安田隆夫 ?／43 億ドル（ドン・キホーテ）

10 位 伊藤雅俊 ?／40 億ドル（セブン&アイ・ホールディングス）

10 位 森 章 ?／40 億ドル（森トラスト）

10 位 野田順弘 ?／40 億ドル（オービック）

アイドルと血液型

いわゆるアイドルと言われる芸能人は AO 型が多い。以下、SMAP、嵐、Perfume についてみてみよう。

SMAP

日本のアイドル史上、SMAP ほど成功したグループはいないだろう。舞台が主だったジャニーズにおいて、俳優や司会業など、個々が活躍する場を開拓していった功績は非常に大きい。SMAP のメンバーの血液型は中居正広 AO 型、木村拓哉 OO 型、草彅剛 AO 型、稲垣吾郎 OO 型、香取慎吾 AO 型である。AO 型と OO 型からなるグループらしく、個々が自律的にキャラクターを持って活躍し、品性とイメージを備え、スター性もあった。これほどのアイドルはもはや誕生しないであろう。

嵐

SMAP に次いで国民的アイドルとなったのが嵐である。メンバーの血液型は、大野智、櫻井翔、松本潤、二宮和也が AO 型、相葉雅紀が AB 型である。5 人中 4 人が AO 型というのは驚きに値する。そして、相葉が AB 型というのが重要なポジションを担っていたと言えよう。5 人が全員 AO 型だと B 遺伝子を持つ者がいない。AB 型は AO 型と潜在的に十分に共感することが可能であり、加えて、AO 型が持たない B 遺伝子の視点も有すのだ。B 遺伝子を有すファンの心をつかむのに一役買ったであろう。嵐の中ではどちらかというが目立たない印象もあった相葉であるが、血液型気質論の観点からは、グループの中ではキーストーンのような重要な役割を果たしていたと言える。

Perfume

筆者は Perfume ファンである。女性アイドル代表として Perfume について血液型の観点から説明しよう。

Perfume は広島県出身のテクノポップアイドルユニットである。日本でも数少ない、結成直後から 20 年近くの間、同じメンバーで続いているグループである。Perfume が結成されたのは 3 人が小学 6 年生の時（現在の 3 人になったのは中学 1 年時）であり、3 人はアクターズスクール広島の 1 期生だった。中学 3 年生で上京し、テクノポップ路線に転じ、下積み時代を経て、大学 1 年生時にブレイクを果たした。活動拠点と音楽スタイルを変えながらも、3 人の強い絆と結束力、仲の良さは、全く揺るいでいない。これが Perfume の最大の魅力と言えるだろう。

Perfume は 3 人とも「A 型」である。筆者の見立てによれば、あ〜ちゃん（西脇綾香）が AA 型、かしゆか（檜野有香）とのっち（大本彩乃）は AO 型である。Perfume に正式なリーダーはいないが、実質的なリーダー役は AA 型のあ〜ちゃんである。AA 型がリーダーとなり、AO 型の 2 人とは強い信頼関係で結ばれているといえる。かしゆかとのっちは、あ〜ちゃんに出会ったときに大きな影響を受け、「長」と仰ぐようになったという。これは AA 型と AO 型の関係性を表す良い例である。両者の関係性が良好な場合、AO 型は AA 型をリーダーと仰ぎ着いていく、ということが多いのである。結成当初、Perfume のメンバーはあ〜ちゃん、かしゆかと「別のメンバー」の 3 人だったが、すぐに「別のメンバー」が脱退したため、あ〜ちゃんがのっちをスカウトしたという経緯を持つ。あ〜ちゃんは、当時ののっちが「スクール 1 の歌姫」であったことをスカウトした最大の理由としているが、同じ「A 型」であったことも条件の一つだったという。AA 型が最も共感し、好意を持ちやすい相手が AO 型であることを示す良いエピソードである。

戦国武将の血液型

武田信玄 AO 型 （「A 型」であることは判明している）

武田信玄は典型的な AO 型であろうと思う。その特徴と言えば、人を重んじ、自らに不利にならないよう徹底的に準備をし、そして全体最適を志向することである。筆者は、武田信玄は正統派の最強武将と考えている。当時の武田の騎馬隊は最強と言われ、織田信長は武田信玄を最も恐れていたという。「人は城、人は石垣、人は堀」というように、武田信玄は家臣を非常に信頼していた。これは AO 型ならではである。戦の際には徹底的に準備、根回しをし、まず負ける戦はしなかった。用意周到かつ損失を恐れる安定志向の AO 型らしい思考回路といえるだろう。そんな武田信玄が惜しかったのは、川中島の戦いだろう。上杉謙信と消耗戦を行っていたことで、天下の芽を失った。もっとも、最初から天下を狙っていなかったという見方もあるが、やはりこれも AO 型らしい。常識派の AO 型は、常識を超える非常に奇抜な考えを、たとえば思いついたとしても、現実的に実行に移すことまではしないことが多いのである。

徳川家康 AO 型？（息子の秀忠が OO 型のため、AB 型、AA 型、BB 型ではないことは判明している）

徳川家康の血液型は AO 型か OO 型でやや迷うところだが、AO 型だろう。天下取りの機が来るまで辛抱強く待ち、秀吉に対しては忠臣を演じながら、秀吉が死すや否や、様々な工作を開始して天下を収め、260 年にも及ぶ盤石な江戸幕府の体制を築き上げた。その忍耐力と緻密さは A 因子がなければできないと思う。秀吉の死から関ヶ原、そして大阪の陣で豊臣氏を滅亡させるまでの流れは、本当に計算され尽くしているといった感じであり、これ

ぞAO型の真骨頂というものを感ずるのである。もちろん、そこに至るまでの長い忍耐と下積みの時代があったからこそ、戦国の最終覇者になったことは言うまでもない。

織田信長 BB型あるいはAA型

織田信長の血液型は、AA型かBB型であることは間違いない。切れ味鋭く奇抜すぎる言動、時に残忍すぎる仕打ち、恨みを忘れない執念深さ、完璧を追求する厳しい姿勢などは、O因子が入っているとはとても思えないものである。そして、迷いがないことから、ヘテロのAB型でもない。その驚くべき行動力と判断力、他の武將を見下す態度などから、個人的にはBB型ではないかと思う。しかし、血痕からは「A型」であったという。であればAA型だろう。（もっともこの血痕は、最近では本人のものではないとする見方も有力なようである。）

真田幸村 AA型（「A型」であることが判明している）

真田幸村は気骨のある武士としてのイメージが強い。徳川の世にならんとする中、一人徳川に立ち向かい、命がけで戦ったという印象が強い。真田幸村が反徳川になった理由は不明だが、一点突破力と芯の強さを十二分に兼ね備えた武將であったことは間違いないであろう。方向性は極めてストレートであり、そこからは一切の迷いも感じられない。血痕から「A型」であることが判明しているが、ヘテロのAO型ではなくホモのAA型であろう。

豊臣秀吉 OO型（判明済）

豊臣秀吉はOO型であることが判明している。強い野心と出世欲、人たらしを言われるほどの巧みな人身掌握術をもって、一代で農民から天下人まで

大出世した秀吉は、まさに OO 型そのものである。現在でも、一代で大企業に上り詰めた創業者は OO 型が多いのである。

上杉謙信 AB 型（判明済）

上杉謙信は AB 型であることが判明している。自らを毘沙門天の生まれ変わりと言い、百戦錬磨のその姿は、いささか神秘性に富んでいたに違いない。決して天下への欲を出さず、義を貫くという、クールでドライな印象を与える上杉謙信は、まさに AB 型そのものであろう。

伊達政宗 BO 型（「B 型」であることが判明している）

伊達政宗は「B 型」であることが判明しているが、BB 型ではないだろう。その現実的で妥協的な言動は O 因子が入っていなければ説明がつかない。とはいえ、小田原の陣後に秀吉に白装束で面会する、自らの居城の天守の内装を金箔で覆うなど、奇抜で派手な演出を好むところはいかにも BO 型らしさがある。

明智光秀 AB 型？

NHK 大河ドラマ「麒麟が来る」の主人公となった明智光秀は、ドラマでは実直な男として書かれていたが、宣教師の記録などを見ると、狡猾な面も持ち合わせていたようである。このような二面性を持っていること、織田信長（AA 型か BB 型）が全幅の信頼を置いていたことからして、明智光秀は AB 型だと思われる。織田信長は本能寺の変で「是非に及ばず」と言ったことは有名だが、頭の回転が速く抜け目のない AB 型の明智光秀に攻められては仕方ないと悟ったのかも知れない。

第6章

血液型が文化をつくる

人の気質は血液型によって決まっている。であれば気質の集合体である社会、さらには社会が作り出す文化も、また血液型の影響を受けることが想定される。日本全国、世界各地には様々な文化が存在する。各地の風土や、県民性や国民性といったものの多くが、実は血液型によって決まっている。

日本列島の血液型分布と風土

血液型と県民性

日本各地には「県民性」が存在する。例えば大阪の「いらち」、高知の「いごっそう」、鹿児島県の「ぼっけもん」などは有名だ。県民性は血液型と同様によく話題になるが、実は、この県民性には、大局的には血液型が影響していると考えられるのである。例えば、西日本と東日本という大雑把な傾向について見てみよう。

西日本の人は東日本の人に比べて、気さくで前向きな印象がある。コミュニケーション能力に優れ、信念が強い。ややもすると利ざとく狡猾なところもあるかもしれない。よく日本人は「思ったことを口に出さない」と言うが、西日本人はあまりこれには当てはまらない。比較的ストレート、本音で接する人が多いように思う。これはA遺伝子の割合が高く、B遺伝子の割合が低いからだと思われる。A遺伝子主導で物事が進めやすい分、ストレートな言動が可能なのだ。一本気の気質が強い「九州男児」、高知「いごっそう」、広島「熱しやすく冷めやすい」、鹿児島「ぼっけもん」等、西日本に特有のストレートな気質はA遺伝子によるものであろう。

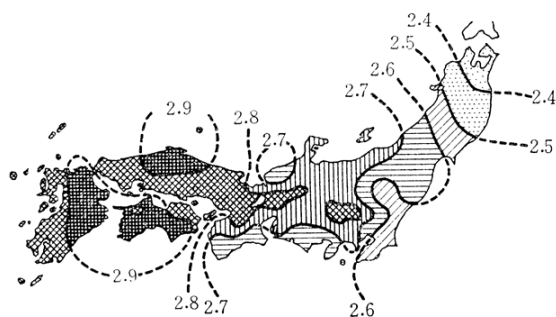
いっぽう、東日本、特に東北の人は「奥ゆかしい」と言われる。引っ込み思案で本音をなかなか出さず、内気な印象がある。これは、B遺伝子の割合が多いからだろう。B遺伝子が増えると、A遺伝子は物事をストレートに言うことを躊躇うようになる。A遺伝子のストレートな物言いが、B遺伝子の反発を招くことも多いからだ。よって、思ったことをあまり話さない、内気な性格が形成されてしまうのであろう。

北海道の人はおおらかで心が広い。これは O 遺伝子の影響が強いからだろう。北海道は O 遺伝子の割合が日本一高いのである。同じく楽天的な印象が強い沖縄も O 遺伝子の割合が高い。

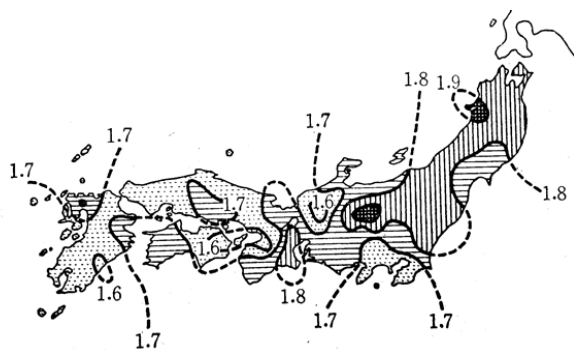
筆者は東日本出身で日本各地に居住経験があるが、西日本では、社会全体の体系化が東日本よりも数段進んでいると感じる。それも、上に言われてそうしているのではなく、個々が主体性を持って社会の体系化を志向しているように思う。これは、西日本に A 遺伝子が多いことが影響しているものと思われる。A 遺伝子は物事を体系化し、管理する志向性が強いから、A 遺伝子の割合が高い地域では、必然的に社会全体の体系化や管理体制が充実するのである。

また、東日本は縦関係重視の社会、西日本では横関係重視の社会であるという。これは自分の立場を重視する B 遺伝子の割合が東日本（特に東北）で高いからであろう。B 遺伝子は上の者には素直に従い、下の者には自らに従うことを強いる傾向がある。要するに上下関係を重視するのだ。対する A 遺伝子は上下関係よりも個人を尊重する。したがって、B 遺伝子の割合が高い地域は、必然的に上下関係が重視される文化となるのである。

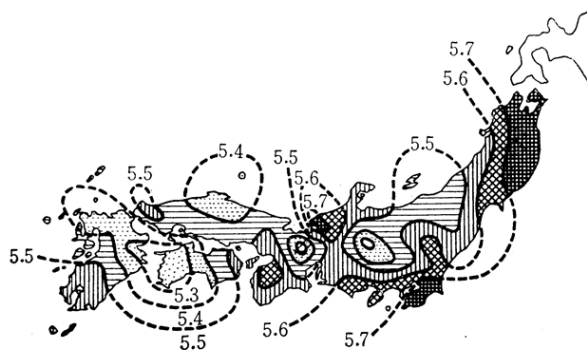
このように、西日本と東日本の文化の違いは A 遺伝子多い西日本、B 遺伝子の多い東日本、という構図で概ね説明できるのである。



A 遺伝子の割合



B 遺伝子の割合



O 遺伝子の割合

(古畑種基 (1962)『血液型の話』岩波書店 による)

都道府県別 血液型割合

(古畑種基 (1962)『血液型の話』岩波書店 による)

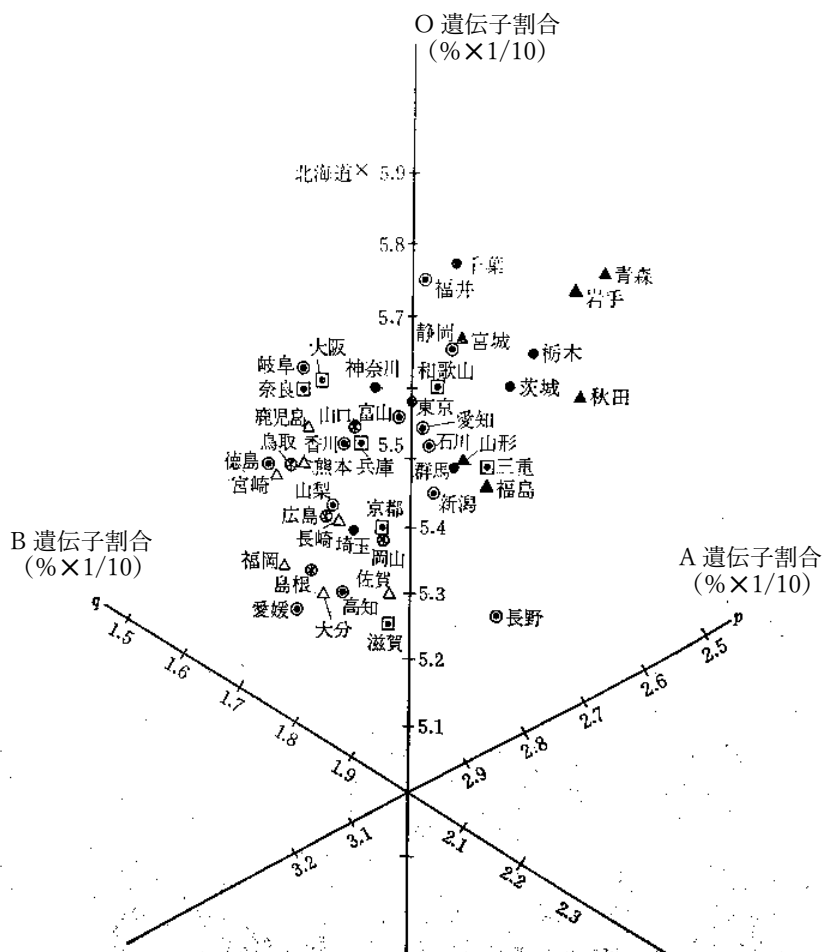
	検査数	O型	「A型」 (AA型 + AO型)	「B型」 (BB型 + BO型)	AB型	A遺伝子	B遺伝子	O遺伝子	OO	AA	AO	BB	BO	AB
北海道	102490	34.86%	37.04%	18.93%	9.17%	0.262	0.148	0.59	34.86%	6.73%	30.31%	2.11%	16.82%	9.17%
青森県	100411	33.24%	33.27%	25.13%	8.37%	0.238	0.186	0.576	33.24%	5.70%	27.57%	3.49%	21.64%	8.37%
秋田県	2842	31.25%	34.24%	25.16%	9.36%	0.25	0.191	0.559	31.25%	6.26%	27.98%	3.67%	21.49%	9.36%
岩手県	20514	32.96%	34.20%	24.35%	8.49%	0.244	0.182	0.574	32.96%	5.99%	28.21%	3.33%	21.02%	8.49%
山形県	5942	30.21%	37.14%	23.73%	8.93%	0.268	0.182	0.55	30.21%	7.28%	29.86%	3.37%	20.36%	8.93%
宮城県	228453	32.12%	36.57%	22.69%	8.63%	0.261	0.172	0.567	32.12%	6.84%	29.73%	2.99%	19.70%	8.63%
福島県	4954	29.98%	35.63%	23.33%	11.06%	0.266	0.187	0.547	29.98%	6.97%	28.66%	3.41%	19.92%	11.06%
栃木県	1829	31.93%	35.16%	24.22%	8.69%	0.252	0.183	0.565	31.93%	6.41%	28.75%	3.38%	20.84%	8.69%
茨城県	2764	31.41%	34.84%	23.19%	10.46%	0.257	0.182	0.561	31.41%	6.49%	28.35%	3.24%	19.95%	10.46%
群馬県	4.703	30.19%	36.51%	22.71%	10.59%	0.27	0.181	0.549	30.19%	7.21%	29.30%	3.21%	19.50%	10.59%
埼玉県	4026	29.16%	39.39%	21.68%	9.76%	0.287	0.173	0.54	29.16%	8.27%	31.12%	2.99%	18.69%	9.76%
東京都	77625	31.13%	37.75%	22.05%	9.07%	0.271	0.171	0.558	31.13%	7.38%	30.37%	2.93%	19.12%	9.07%
千葉県	48387	33.34%	36.32%	22.22%	8.12%	0.256	0.167	0.577	33.34%	6.59%	29.73%	2.81%	19.41%	8.12%
神奈川県	6931	31.47%	37.57%	21.04%	9.93%	0.273	0.166	0.561	31.47%	7.35%	30.22%	2.71%	18.33%	9.93%
新潟県	25188	29.84%	37.19%	22.74%	10.24%	0.274	0.18	0.546	29.84%	7.46%	29.73%	3.22%	19.52%	10.24%
長野県	20848	27.79%	36.52%	24.71%	10.98%	0.275	0.198	0.527	27.79%	7.56%	28.96%	3.91%	20.80%	10.98%
山梨県	2750	29.64%	39.64%	20.87%	9.85%	0.289	0.167	0.544	29.64%	8.32%	31.32%	2.78%	18.09%	9.85%
静岡県	14115	31.90%	36.96%	22.76%	8.38%	0.263	0.172	0.565	31.90%	6.98%	29.98%	3.01%	19.75%	8.38%
愛知県	27836	30.68%	37.39%	22.58%	9.35%	0.271	0.175	0.554	30.68%	7.35%	30.04%	3.08%	19.50%	9.35%
岐阜県	15045	31.63%	40.20%	20.27%	7.91%	0.282	0.155	0.563	31.63%	8.05%	32.15%	2.45%	17.82%	7.91%
富山県	6126	30.92%	37.81%	21.69%	9.58%	0.274	0.17	0.556	30.92%	7.47%	30.34%	2.88%	18.81%	9.58%
石川県	51827	30.53%	37.15%	22.53%	9.78%	0.271	0.177	0.552	30.53%	7.32%	29.83%	3.11%	19.42%	9.78%
福井県	3957	33.06%	37.17%	21.41%	8.36%	0.262	0.163	0.575	33.06%	6.90%	30.27%	2.66%	18.75%	8.36%
滋賀県	2744	27.70%	39.03%	22.58%	10.42%	0.29	0.184	0.526	27.70%	8.43%	30.60%	3.36%	19.22%	10.42%
三重県	4629	30.11%	36.18%	23.78%	9.92%	0.266	0.185	0.549	30.11%	7.06%	29.12%	3.43%	20.35%	9.92%
奈良県	2709	31.34%	39.46%	19.68%	9.52%	0.284	0.156	0.56	31.34%	7.98%	31.48%	2.41%	17.27%	9.52%
和歌山県	6922	31.38%	37.27%	22.31%	9.05%	0.268	0.172	0.56	31.38%	7.20%	30.07%	2.97%	19.34%	9.05%
京都府	15270	29.12%	38.76%	22.27%	9.85%	0.284	0.176	0.54	29.12%	8.07%	30.69%	3.12%	19.15%	9.85%
大阪府	28183	31.59%	39.83%	20.28%	8.30%	0.281	0.157	0.562	31.59%	7.97%	31.86%	2.49%	17.79%	8.30%
兵庫県	9153	30.57%	38.91%	20.99%	9.54%	0.281	0.166	0.553	30.57%	7.88%	31.03%	2.74%	18.25%	9.54%
岡山県	8846	29.06%	38.40%	22.04%	10.50%	0.284	0.177	0.539	29.06%	8.01%	30.39%	3.11%	18.93%	10.50%
鳥取県	1.591	30.11%	40.60%	20.36%	8.93%	0.291	0.16	0.549	30.11%	8.51%	32.09%	2.59%	17.77%	8.93%
島根県	4965	28.46%	40.34%	20.97%	10.23%	0.296	0.17	0.534	28.46%	8.75%	31.59%	2.88%	18.09%	10.23%
広島県	13577	29.55%	40.24%	21.18%	9.03%	0.29	0.167	0.543	29.55%	8.48%	31.76%	2.82%	18.36%	9.03%
山口県	7303	30.98%	38.98%	20.81%	9.52%	0.281	0.165	0.554	30.98%	7.89%	31.09%	2.70%	18.11%	9.52%
徳島県	6535	30.16%	41.64%	20.37%	7.83%	0.294	0.157	0.549	30.16%	8.79%	32.85%	2.55%	17.82%	7.83%
愛媛県	7369	27.78%	41.02%	20.97%	10.23%	0.302	0.171	0.527	27.78%	9.14%	31.88%	2.93%	18.04%	10.23%
香川県	5436	30.63%	39.57%	20.97%	8.83%	0.282	0.165	0.553	30.63%	8.04%	31.53%	2.72%	18.25%	8.83%
高知県	2061	28.14%	40.32%	21.88%	9.66%	0.295	0.175	0.53	28.14%	8.78%	31.54%	3.10%	18.78%	9.66%
福岡県	33576	28.61%	41.53%	20.62%	9.24%	0.3	0.165	0.535	28.61%	9.09%	32.44%	2.75%	17.87%	9.24%
大分県	4417	28.03%	39.91%	21.15%	10.91%	0.297	0.174	0.529	28.03%	8.75%	31.16%	2.99%	18.16%	10.91%
佐賀県	3887	28.25%	38.72%	22.64%	10.39%	0.287	0.182	0.531	28.25%	8.24%	30.48%	3.31%	19.33%	10.39%
長崎県	37423	29.39%	39.27%	21.09%	10.25%	0.288	0.17	0.542	29.39%	8.24%	31.03%	2.86%	18.23%	10.25%
熊本県	18802	30.14%	39.87%	20.26%	9.73%	0.289	0.162	0.549	30.14%	8.31%	31.56%	2.60%	17.66%	9.73%
宮崎県	3201	30.05%	39.96%	19.34%	10.65%	0.293	0.159	0.548	30.05%	8.43%	31.53%	2.45%	16.89%	10.65%
鹿児島県	37857	30.79%	39.81%	20.48%	8.92%	0.285	0.16	0.555	30.79%	8.13%	31.68%	2.58%	17.90%	8.92%
沖縄県	32430	32.96%	36.03%	21.61%	9.40%	0.259	0.167	0.574	32.96%	6.63%	29.40%	2.74%	18.87%	9.40%

血液型因子割合 都道府県ランキング (古畑種基 (1962)『血液型の話』岩波書店 による)

	A遺伝子		B遺伝子		O遺伝子
愛媛県	0.302	長野県	0.198	北海道	0.59
福岡県	0.3	秋田県	0.191	千葉県	0.577
大分県	0.297	福島県	0.187	青森県	0.576
島根県	0.296	青森県	0.186	福井県	0.575
高知県	0.295	三重県	0.185	岩手県	0.574
徳島県	0.294	滋賀県	0.184	沖縄県	0.574
宮崎県	0.293	栃木県	0.183	宮城県	0.567
鳥取県	0.291	岩手県	0.182	栃木県	0.565
滋賀県	0.29	山形県	0.182	静岡県	0.565
広島県	0.29	茨城県	0.182	岐阜県	0.563
山梨県	0.289	佐賀県	0.182	大阪府	0.562
熊本県	0.289	群馬県	0.181	茨城県	0.561
長崎県	0.288	新潟県	0.18	神奈川県	0.561
埼玉県	0.287	石川県	0.177	奈良県	0.56
佐賀県	0.287	岡山県	0.177	和歌山県	0.56
鹿児島県	0.285	京都府	0.176	秋田県	0.559
奈良県	0.284	愛知県	0.175	東京都	0.558
京都府	0.284	高知県	0.175	富山県	0.556
岡山県	0.284	大分県	0.174	鹿児島県	0.555
岐阜県	0.282	埼玉県	0.173	愛知県	0.554
香川県	0.282	宮城県	0.172	山口県	0.554
大阪府	0.281	静岡県	0.172	兵庫県	0.553
兵庫県	0.281	和歌山県	0.172	香川県	0.553
山口県	0.281	東京都	0.171	石川県	0.552
長野県	0.275	愛媛県	0.171	山形県	0.55
新潟県	0.274	富山県	0.17	群馬県	0.549
富山県	0.274	島根県	0.17	三重県	0.549
神奈川県	0.273	長崎県	0.17	鳥取県	0.549
東京都	0.271	千葉県	0.167	徳島県	0.549
愛知県	0.271	山梨県	0.167	熊本県	0.549
石川県	0.271	広島県	0.167	宮崎県	0.548
群馬県	0.27	沖縄県	0.167	福島県	0.547
山形県	0.268	神奈川県	0.166	新潟県	0.546
和歌山県	0.268	兵庫県	0.166	山梨県	0.544
福島県	0.266	山口県	0.165	広島県	0.543
三重県	0.266	香川県	0.165	長崎県	0.542
静岡県	0.263	福岡県	0.165	埼玉県	0.54
北海道	0.262	福井県	0.163	京都府	0.54
福井県	0.262	熊本県	0.162	岡山県	0.539
宮城県	0.261	鳥取県	0.16	福岡県	0.535
沖縄県	0.259	鹿児島県	0.16	島根県	0.534
茨城県	0.257	宮崎県	0.159	佐賀県	0.531
千葉県	0.256	大阪府	0.157	高知県	0.53
栃木県	0.252	徳島県	0.157	大分県	0.529
秋田県	0.25	奈良県	0.156	長野県	0.527
岩手県	0.244	岐阜県	0.155	愛媛県	0.527
青森県	0.238	北海道	0.148	滋賀県	0.526

6 種血液型割合 都道府県ランキング (古畑種基 (1962)『血液型の話』岩波書店 による)

	OO		AA		BB		AO		BO		AB
北海道	34.86%	愛媛県	9.14%	長野県	3.91%	徳島県	32.85%	青森県	21.64%	福島県	11.06%
千葉県	33.34%	福岡県	9.09%	秋田県	3.67%	福岡県	32.44%	秋田県	21.49%	長野県	10.98%
青森県	33.24%	徳島県	8.79%	青森県	3.49%	岐阜県	32.15%	岩手県	21.02%	大分県	10.91%
福井県	33.06%	高知県	8.78%	三重県	3.43%	鳥取県	32.09%	栃木県	20.84%	宮崎県	10.65%
岩手県	32.96%	島根県	8.75%	福島県	3.41%	愛媛県	31.88%	長野県	20.80%	群馬県	10.59%
沖縄県	32.96%	大分県	8.75%	栃木県	3.38%	大阪府	31.86%	山形県	20.36%	岡山県	10.50%
宮城県	32.12%	鳥取県	8.51%	山形県	3.37%	広島県	31.76%	三重県	20.35%	茨城県	10.46%
栃木県	31.93%	広島県	8.48%	滋賀県	3.36%	鹿児島県	31.68%	茨城県	19.95%	滋賀県	10.42%
静岡県	31.90%	滋賀県	8.43%	岩手県	3.33%	島根県	31.59%	福島県	19.92%	佐賀県	10.39%
岐阜県	31.63%	宮崎県	8.43%	佐賀県	3.31%	熊本県	31.56%	静岡県	19.75%	長崎県	10.25%
大阪府	31.59%	山梨県	8.32%	茨城県	3.24%	高知県	31.54%	宮城県	19.70%	新潟県	10.24%
神奈川県	31.47%	熊本県	8.31%	新潟県	3.22%	宮崎県	31.53%	新潟県	19.52%	島根県	10.23%
茨城県	31.41%	埼玉県	8.27%	群馬県	3.21%	香川県	31.53%	愛知県	19.50%	愛媛県	10.23%
和歌山県	31.38%	長崎県	8.24%	京都府	3.12%	奈良県	31.48%	群馬県	19.50%	神奈川県	9.93%
奈良県	31.34%	佐賀県	8.24%	石川県	3.11%	山梨県	31.32%	石川県	19.42%	三重県	9.92%
秋田県	31.25%	鹿児島県	8.13%	岡山県	3.11%	大分県	31.16%	千葉県	19.41%	山梨県	9.85%
東京都	31.13%	京都府	8.07%	高知県	3.10%	埼玉県	31.12%	和歌山県	19.34%	京都府	9.85%
山口県	30.98%	岐阜県	8.05%	愛知県	3.08%	山口県	31.09%	佐賀県	19.33%	石川県	9.78%
富山県	30.92%	香川県	8.04%	静岡県	3.01%	兵庫県	31.03%	滋賀県	19.22%	埼玉県	9.76%
鹿児島県	30.79%	岡山県	8.01%	埼玉県	2.99%	長崎県	31.03%	京都府	19.15%	熊本県	9.73%
愛知県	30.68%	奈良県	7.98%	宮城県	2.99%	京都府	30.69%	東京都	19.12%	高知県	9.66%
香川県	30.63%	大阪府	7.97%	大分県	2.99%	滋賀県	30.60%	岡山県	18.93%	富山県	9.58%
兵庫県	30.57%	山口県	7.89%	和歌山県	2.97%	佐賀県	30.48%	沖縄県	18.87%	兵庫県	9.54%
石川県	30.53%	兵庫県	7.88%	東京都	2.93%	岡山県	30.39%	富山県	18.81%	奈良県	9.52%
山形県	30.21%	長野県	7.56%	愛媛県	2.93%	東京都	30.37%	高知県	18.78%	山口県	9.52%
群馬県	30.19%	富山県	7.47%	島根県	2.88%	富山県	30.34%	福井県	18.75%	沖縄県	9.40%
徳島県	30.16%	新潟県	7.46%	富山県	2.88%	北海道	30.31%	埼玉県	18.69%	秋田県	9.36%
熊本県	30.14%	東京都	7.38%	長崎県	2.86%	福井県	30.27%	広島県	18.36%	愛知県	9.35%
三重県	30.11%	神奈川県	7.35%	広島県	2.82%	神奈川県	30.22%	神奈川県	18.33%	福岡県	9.24%
鳥取県	30.11%	愛知県	7.35%	千葉県	2.81%	和歌山県	30.07%	兵庫県	18.25%	北海道	9.17%
宮崎県	30.05%	石川県	7.32%	山梨県	2.78%	愛知県	30.04%	香川県	18.25%	東京都	9.07%
福島県	29.98%	山形県	7.28%	福岡県	2.75%	静岡県	29.98%	長崎県	18.23%	和歌山県	9.05%
新潟県	29.84%	群馬県	7.21%	沖縄県	2.74%	山形県	29.86%	大分県	18.16%	広島県	9.03%
山梨県	29.64%	和歌山県	7.20%	兵庫県	2.74%	石川県	29.83%	山口県	18.11%	鳥取県	8.93%
広島県	29.55%	三重県	7.06%	香川県	2.72%	新潟県	29.73%	山梨県	18.09%	山形県	8.93%
長崎県	29.39%	静岡県	6.98%	神奈川県	2.71%	宮城県	29.73%	島根県	18.09%	鹿児島県	8.92%
埼玉県	29.16%	福島県	6.97%	山口県	2.70%	千葉県	29.73%	愛媛県	18.04%	香川県	8.83%
京都府	29.12%	福井県	6.90%	福井県	2.66%	沖縄県	29.40%	鹿児島県	17.90%	栃木県	8.69%
岡山県	29.06%	宮城県	6.84%	熊本県	2.60%	群馬県	29.30%	福岡県	17.87%	茨城県	8.63%
福岡県	28.61%	北海道	6.73%	鳥取県	2.59%	三重県	29.12%	徳島県	17.82%	岩手県	8.49%
島根県	28.46%	沖縄県	6.63%	鹿児島県	2.58%	長野県	28.96%	岐阜県	17.82%	静岡県	8.38%
佐賀県	28.25%	千葉県	6.59%	徳島県	2.55%	栃木県	28.75%	大阪府	17.79%	青森県	8.37%
高知県	28.14%	茨城県	6.49%	大阪府	2.49%	福島県	28.66%	鳥取県	17.77%	福井県	8.36%
大分県	28.03%	栃木県	6.41%	岐阜県	2.45%	茨城県	28.35%	熊本県	17.66%	大阪府	8.30%
長野県	27.79%	秋田県	6.26%	宮崎県	2.45%	岩手県	28.21%	奈良県	17.27%	千葉県	8.12%
愛媛県	27.78%	岩手県	5.99%	奈良県	2.41%	秋田県	27.98%	宮崎県	16.89%	岐阜県	7.91%
滋賀県	27.70%	青森県	5.70%	北海道	2.11%	青森県	27.57%	北海道	16.82%	徳島県	7.83%



血液型因子 都道府県 散布図 (古畑種基 (1962)『血液型の話』岩波書店 による)

日本の歴史と血液型分布

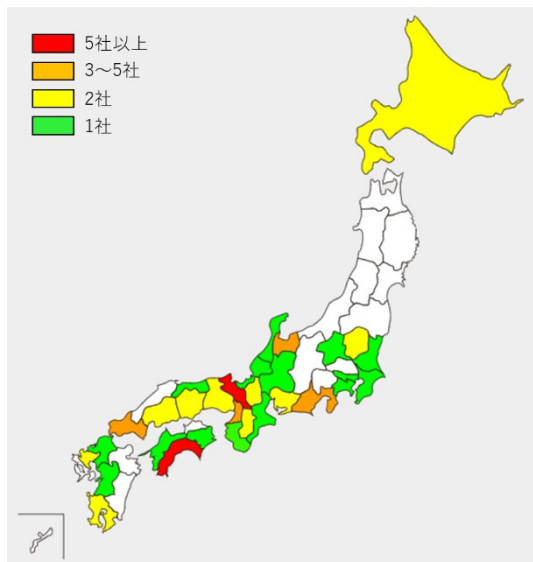
では、日本列島においてなぜこのような血液型分布が成立したのであろうか。西日本に A 遺伝子が多いのは渡来系弥生人に A 遺伝子が高かったからだと言われる。確かにこれは一因かもしれないが、別の理由もあるように思う。それは、大和朝廷への帰属意識である。大和朝廷は古墳時代～平安時代にかけて日本列島を支配していったと考えられるが、最後まで大和朝廷の支配に抵抗したのが「蝦夷」と呼ばれる人々である。蝦夷は大和による支配に抗い、東北地方の北へ北へと逃れていった。この蝦夷に B 遺伝子が高かったのではないか。大和朝廷に早くから従った人々は A 遺伝子が多かった。一方で、最後まで大和朝廷に従うことを拒否した人々は B 遺伝子が多かったのではないか。B 遺伝子は反骨精神に富むところがあり、安易に他勢力の支配を受け入れたがらないところがあったのかもしれない。西日本に A 遺伝子が多く、東北地方の北部ほど B 遺伝子が高いという分布は、このようなシナリオを想起させる。

なお、明治時代になって本格的に和人が入植した北海道は O 遺伝子の割合が高いが、これは、O 遺伝子のパイオニア精神を示すものであろう。



大手企業は A 遺伝子が高頻度な西日本発祥が多い

三菱（高知）、三井（大阪・京都）、住友（愛媛）の三大財閥をはじめ、トヨタ（愛知）、スズキ（静岡西部）、ホンダ（静岡西部）、マツダ（広島）などの大手自動車メーカー、パナソニック（大阪）、シャープ（大長か）などの機械メーカー等、大企業は大半が西日本の発祥である。次頁の表に、日本の大企業 100 社（TOPIX100）の発祥地をまとめてみた。この表を見てわかることは、大企業の多くが西日本発祥ということである。日本列島では西日本ほど A 遺伝子の割合が高いことは前述したが、A 遺伝子が多い地域で企業が発祥しやすいのである。A 遺伝子は自ら組織や社会を構築し、体系化することに長けている。これは企業発祥には非常に適合する気質である。A 遺伝子の割合が高い西日本は、組織的な行動が起こしやすい風土なのであり、これがそのまま大企業の発祥につながっていると考えられる。



大手企業 100 社（TOPIX100）（2020 年 3 月時点） 創業者出身県

大手企業 100 社 (TOPIX100) (2020 年 3 月時点) (その 1)

	創業者	創業者出身地	創業地	現・本社所在地	創業者、創業地については以下の備考
HOYA	山中正一、山中茂	愛知県	東京都	東京都	
旭化成	野口達	石川県	鹿児島県	東京都	
オリエンタルランド	川崎千春	茨城県	千葉県	千葉県	
ユニ・チャーム	高原 慶一朗	愛媛県	愛媛県	愛媛県	
野村ホールディングス	野村徳七 (初代)	大阪府	大阪府	東京都	※野村財閥
大和証券グループ本社	八木興三郎	大阪府	大阪府	東京都	※株式会社藤本ビルブローカー銀行
リクルートホールディングス	江副浩正	大阪府	東京都	東京都	
塩野義製薬	塩野義三郎	大阪府	大阪府	大阪府	
積水ハウス			大阪府	大阪府	※ 積水化学工業株式会社
第一生命ホールディングス	矢野恒太	岡山県	東京都	東京都	
ANAホールディングス	美土路昌一	岡山県	東京都	東京都	※興民社
	中野勝義	北海道			
オリックス	高原 慶一朗	鹿児島県	東京都	東京都	
京セラ	稲盛 和夫	鹿児島県	京都府	京都府	
味の素	鈴木三郎助	神奈川県	東京都	東京都	※合資会社鈴木製菓所
花王	長瀬富部	岐阜県	東京都	東京都	
三井物産	三井家	京都府	京都府・大阪府	東京都	※三井財閥
住友商事	住友家	京都府	京都府	東京都	※住友財閥
フナツク	古河市兵衛	京都府	新潟県	山梨県	※古河財閥
三井住友トラスト・ホールディングス	三井家	京都府	京都府・大阪府	東京都	※三井財閥
	住友家	京都府	大阪府	東京都	※住友財閥
	三井家	京都府	京都府・大阪府	東京都	※三井財閥
三井住友フィナンシャルグループ	三井家	京都府	京都府・大阪府	東京都	※三井財閥
	住友家	京都府	大阪府	東京都	※住友財閥
第一三共	慶松勝左衛門	京都府	東京都	東京都	
富士フイルムホールディングス	三井家	京都府	京都府・大阪府	東京都	※三井財閥
任天堂	山内 房治郎	京都府	京都府	京都府	
住友金属鉱山	住友家	京都府	大阪府	東京都	※住友財閥
住友電気工業	住友家	京都府	大阪府	東京都	※住友財閥
富士通	古河市兵衛	京都府	新潟県	東京都	※古河財閥
村田製作所	村田昭	京都府	京都府	京都府	
東レ	三井家	京都府	京都府・大阪府	東京都	※三井財閥
住友不動産	住友家	京都府	大阪府	東京都	※住友財閥
新日鐵住金	住友家	京都府	大阪府	東京都	※住友財閥
日本電産	永守重信	京都府	京都府	京都府	
テルモ	北星泰三郎	熊本県	東京都	東京都	
S U B A R U	中島知久平	群馬県	群馬県	東京都	※飛行機研究所
三菱ケミカルホールディングス	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
三菱商事	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
東京海上ホールディングス	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
三菱地所	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
J X T Gホールディングス	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
三菱U F Jフィナンシャル・グループ	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
M S & A Dインシュアランスグループホールディングス	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
三菱重工業	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
三菱電機	岩崎弥太郎	高知県	大阪府	東京都	※三菱財閥
小松製作所	竹内明太郎	高知県	石川県	東京都	
ソフトバンクグループ	孫正義	佐賀県		東京都	
ソフトバンク	孫正義	佐賀県		東京都	
伊藤忠商事	伊藤 忠兵衛 (初代)	滋賀県	大阪府	大阪府・東京都	※伊藤忠財閥
丸紅	伊藤 忠兵衛 (初代)	滋賀県	大阪府	東京都	

大手企業 100 社 (TOPIX100) (2020 年 3 月時点) (その 2)

	創業者	創業者出身地	創業地	現・本社所在地	創業者、創業地については以下の備考
トヨタ自動車	豊田佐吉	静岡県	愛知県	愛知県	
本田技研工業	本田宗一郎	静岡県	静岡県	東京都	
デンソー	豊田佐吉	静岡県	愛知県	愛知県	※トヨタ自動車
スズキ	鈴木道雄	静岡県	静岡県	東京都	
資生堂	福原有信	千葉県	東京都	東京都	
セコム	飯田 亮	東京都	東京都	東京都	
大塚ホールディングス	大塚武三郎	徳島県	徳島県	東京都	
ソニー	井深大	栃木県	東京都	東京都	
	盛田昭夫	愛知県			
日立製作所	小平浪平	栃木県	茨城県	東京都	
東京エレクトロン	足立正	鳥取県	東京都	東京都	※東京放送
S O M P O ホールディングス	安田善次郎	富山県	東京都	東京都	※安田財閥
みずほフィナンシャルグループ	安田善次郎	富山県	東京都	東京都	※安田財閥
武田薬品工業	武田長兵衛	奈良県	大阪府	東京都	
大和ハウス工業	石橋信夫	奈良県	奈良県	大阪府	
キーエンス	滝崎武光	兵庫県	兵庫県	大阪府	
オリックス	福井慶三	兵庫県	兵庫県	大阪府	
クボタ	久保田権四郎	広島県		大阪府	
キヤノン	吉田 五郎	広島県	東京都	東京都	
エーザイ	内藤豊次	福井県		東京都	
ブリヂストン	石橋正二郎	福岡県	福岡県	東京都	
ニトリホールディングス	似島昭夫	北海道	北海道	北海道	
イオン	初代岡田惣左衛門	三重県	三重県	千葉県	
ファーストリテイリング	柳井 正	山口県	山口県	山口県	
日産自動車	鮎川義介	山口県		神奈川県	※鮎川財閥
ダイキン工業	山田晃	山口県	大阪府	大阪府	
パナソニック	松下幸之助	和歌山県	大阪府	大阪府	
アサヒグループホールディングス			大阪府	東京都	※大阪麦酒会社
パンダナムコホールディングス					
アステラス製薬					
中外製薬	外資系		東京都	東京都	
K D D I					
小野薬品工業	初代小野市兵衛		大阪府	大阪府	
国際石油開発帝石	国策企業			東京都	
日本電信電話	旧国系			東京都	
キンホールディングス	ローゼンフェルト		神奈川県	東京都	
リソナホールディングス					
N T T ドコモ	旧国系				
大東建託	多田勝美		愛知県	東京都	
日本たばこ産業	旧国系			東京都	
信越化学工業			長野県	東京都	
日本航空	旧国系			東京都	
関西電力	旧国系			大阪府	
S M C			東京都	東京都	
シスメックス			兵庫県	兵庫県	※TOA株式会社
日本郵政	旧国系			東京都	
中部電力	旧国系			愛知県	
いすゞ自動車			東京都	東京都	
セブン&アイ・ホールディングス					
東海旅客鉄道	旧国系			愛知県	
東日本旅客鉄道	旧国系			東京都	
西日本旅客鉄道	旧国系			大阪府	
東京瓦斯	旧国系			東京都	

A 遺伝子が高頻度な山梨から発祥した「甲州財閥」

東武鉄道、京王電鉄、阪急電鉄など、鉄道会社には甲州（山梨県）発祥のものが少なくない。甲州発祥の企業を指す「甲州財閥」と言う名称もあるくらいである。山梨県は東日本か西日本かと言えば東日本である。しかし、山梨県の A 遺伝子の割合は、西日本に匹敵するほど高いのである（P120 の表を参照）。山梨県から財閥が出た理由は、東日本では屈指の A 遺伝子の比率の高さであると考えられる。今でも山梨県に行くと、どこか西日本的な風土が漂っているように感じられるのは、気のせいではあるまい。

近代日本経済の父 渋沢栄一を生んだ埼玉県深谷

2021 年の大河ドラマの主人公渋沢栄一は近代日本経済の父と言われ、500 以上の企業の設立に携わったと言われる。渋沢栄一を生んだ地は埼玉県深谷であるが、この地もまた、A 遺伝子が多い地域である（埼玉県北西部から山梨県にかけては、東日本の中で最も A 遺伝子が高いエリアである）。渋沢栄一自身の血液型は不明だが、近代日本の中心である東京に近い地の利も相まって、深谷の地から渋沢のような人物が生まれたのであろう。

保守が強い西日本、革新が強い東日本

血液型の東西分布は政治にも影響する。西日本では、保守（自民党）が強い。保守王国と言われる地域は西日本に多い。これは A 遺伝子が多いことと無関係ではないだろう。A 遺伝子は自民党を支持する傾向が強いのである。対して、革新勢力（野党）は東日本、特に東北で強い。民主王国と言われる地域は B 遺伝子や O 遺伝子の多い東日本の特に太平洋側に偏っている。B 遺伝子と O 遺伝子は民主党など革新勢力を支持する傾向が比較的強いのであろう。

世界の血液型と国民性

日本国内と同様、世界にも血液型による風土の違いが存在する。しかも国内に比してその割合の相違が大きい分、文化的にも如実に差異として表れてくる。

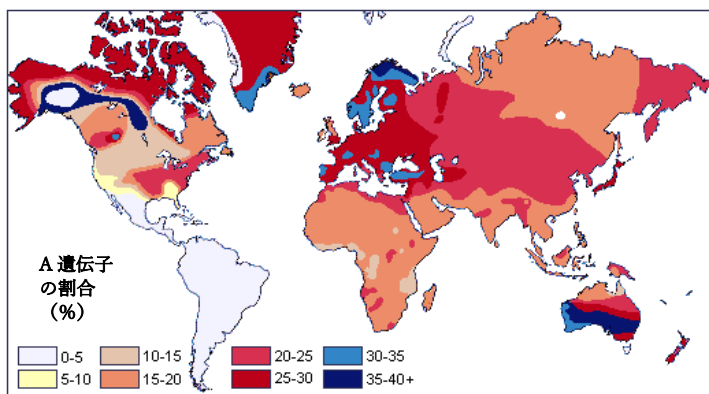
先進国には A 遺伝子が多い

世界の国々の血液型の割合を俯瞰して、まず気づく点は、いわゆる先進国といわれる国では A 遺伝子の割合が高いことである。ヨーロッパ、北米、日本、これらは皆 A 遺伝子の頻度が高く、先進国だ。これは A 遺伝子の特性を考えれば至極当然である。A 遺伝子は物事を秩序化・体系化する志向性が強い。社会全体を整え、管理するという、先進国たらしめる行為は、A 遺伝子の最も得意とするところである。A 遺伝子が多い地域では、街が整然とし、法の秩序が整っている。A 遺伝子が多い先進国では、人々が常に自らの社会

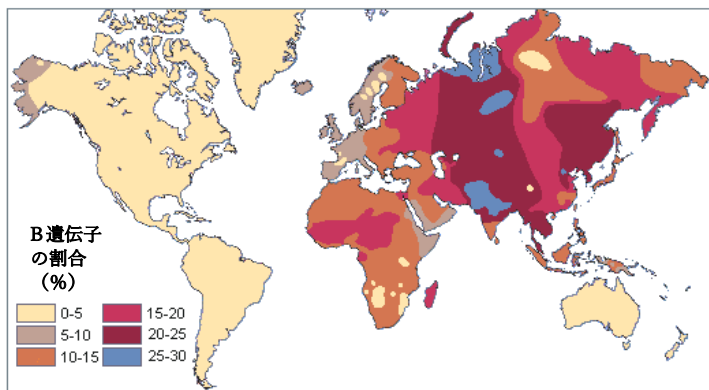
主要各国の血液型因子の割合

(<http://www.bloodbook.com/world-abo.html> より算出 (カナダは "Types & Rh System, Canadian Blood Services".))

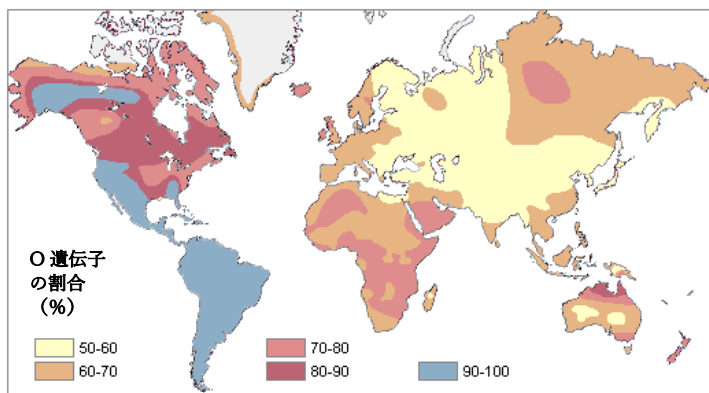
		A	B	O
G 7	アメリカ (白人)	25.4%	7.9%	66.7%
	イギリス (イングランド人)	26.1%	6.4%	67.5%
	フランス	29.3%	5.1%	65.6%
	日本	25.9%	16.0%	58.1%
	ドイツ	26.6%	9.9%	63.5%
	イタリア (ミラノ人)	25.6%	7.7%	66.7%
	カナダ	26.4%	6.5%	67.2%
	ブラジル	25.8%	6.5%	67.8%
	ロシア	24.2%	16.2%	59.6%
	韓国	22.2%	21.6%	56.2%
	中国 (北京人)	19.4%	22.6%	58.0%
	インド	17.0%	36.6%	46.4%



https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Blood_type_distribution#/media/File:Map_of_blood_group_a.gif に加工



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Map_of_blood_group_b.gif



https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Map_of_blood_group_o.gif

(Wikimedia より)

世界の民族の4種血液型の割合 (<http://www.bloodbook.com/world-abo.html> より)

	「A型」	「B型」	「O型」	AB型
アビシニア人	27	25	43	5
アイヌ (日本)	32	32	17	18
アルバニア人	43	13	38	6
大アンダマン人	60	23	9	9
アラブ人	31	29	34	6
アルメニア人	50	13	31	6
アジア系アメリカ人	28	27	40	5
オーストリア人	44	13	36	6
バントゥー	30	19	46	5
バスク人	44	4	51	1
ベルギー人	42	8	47	3
ボロロ人 (ブラジル)	0	0	100	0
ブラジル人	41	9	47	3
ブルガリア人	44	15	32	8
ビルマ族	24	33	36	7
ブリヤート人 (シベリア)	21	38	33	8
サン人	34	9	56	2
中国人-広東人	23	25	46	6
中国人-北京人	27	32	29	13
チュヴァシ人	29	33	30	7
クロアチア人	34	17	42	7
チェコ人	44	18	30	9
デンマーク人	44	11	41	4
オランダ人	43	9	45	3
エジプト民族	36	24	33	8
イングランド人	42	9	47	3
エスキモー (アラスカ)	44	13	38	5
エスキモー (グリーンランド)	36	23	54	8
エストニア人	36	23	34	8
フィジー人	34	17	44	6
フィン人	41	18	34	7
フランス人	47	7	43	3
グルジア人	37	12	46	4
ドイツ人	43	11	41	5
ギリシャ人	42	14	40	5
ジブチ (ハンガリー)	27	35	29	10
ハワイ先住民	61	2	37	1
ヒンドゥー教徒 (ボンベイ)	29	48	12	11
マジャール人	43	16	36	5
アイスランド人	32	10	56	3
インド人 (インド)	22	53	17	7
ネイティブアメリカン	16	4	79	1

	「A型」	「B型」	「O型」	AB型
アイルランド人	35	10	52	3
イタリア人 (ミラノ)	41	11	46	3
日本人	38	22	30	10
ユダヤ人 (ドイツ)	41	12	42	5
ユダヤ人 (ポーランド)	41	18	33	8
カルムイク人	23	41	26	11
キクユ族 (ケニア)	19	20	60	1
朝鮮民族	32	31	28	10
サーミ人	63	4	29	4
ラトビア人	37	24	32	7
リトアニア人	34	20	40	6
マレー人	18	20	62	0
マオリ	54	1	46	0
マヤ人	1	1	98	1
モロス	16	20	64	0
ナバホ族	27	0	73	0
ニコバル人	9	15	74	1
ノルウェー人	50	8	39	4
バプア人 (ニューギニア島)	27	23	41	9
ベルシア人	33	22	38	7
ペルー先住民	0	0	100	0
フィリピン人	22	27	45	6
ポーランド人	39	20	33	9
ポルトガル人	53	8	35	4
ルーマニア人	41	19	34	6
ロシア人	36	23	33	8
サルデーニャ人	26	19	50	5
スコッツ	34	12	51	3
セルビア系 (セルビア人)	42	16	38	5
ジョンベン人 ニコバル系	0	0	100	0
スロバキア人	37	16	42	5
南アフリカ人	40	11	45	4
スペイン人	47	10	38	5
スーダン人	16	21	62	0
スウェーデン人	47	10	38	5
スイス人	50	7	40	3
タタール	30	29	28	13
タイ人	22	33	37	8
デュルク系民族	34	18	43	6
ウクライナ人	40	18	37	6
黒人アメリカ人	27	20	49	4
白人アメリカ人	40	11	45	4
キン族	22	30	42	5

世界の民族の A 遺伝子の割合ランキング (http://www.bloodbook.com/world-abo.html より算出)

A			
大アンダマン人	48.4%	朝鮮民族	24.2%
サーミ人	42.3%	スロバキア人	24.0%
ハワイ先住民	37.9%	タタール	23.5%
ポルトガル人	34.6%	グルジア人	23.4%
アルメニア人	34.1%	リトアニア人	22.7%
マオリ	31.9%	ベルシア人	22.6%
ノルウェー人	31.7%	クロアチア人	22.6%
スイス人	31.6%	テュルク系民族	22.1%
チェコ人	31.1%	フィジー人	22.0%
ブルガリア人	30.9%	アラブ人	21.9%
スペイン人	30.6%	チュヴァシ人	21.7%
スウェーデン人	30.6%	アイルランド人	21.2%
オーストリア人	29.6%	中国人-北京人	21.2%
フランス人	29.3%	ジプシー (ハンガリー)	20.8%
アイヌ (日本)	29.1%	スコッツ	20.7%
エスキモー (アラスカ)	28.8%	インド人 (インド)	20.2%
マジャル人	28.6%	サン人	19.9%
ユダヤ人 (ポーランド)	28.6%	エスキモー (グリーンランド)	19.6%
アルバニア人	28.4%	バントゥー	19.4%
フィン人	28.2%	アジア系アメリカ人	19.0%
デンマーク人	28.1%	アイスランド人	18.9%
ルーマニア人	28.0%	カルムイク人	18.8%
日本人	27.7%	バプア人 (ニューギニア島)	18.7%
ドイツ人	27.7%	アビシニア人	18.0%
ヒンドゥー教徒 (ボンベイ)	27.5%	ビルマ族	17.4%
セルビア系 (セルビア人)	27.4%	黒人アメリカ人	17.1%
ポーランド人	27.4%	サルデーニャ人	16.5%
ギリシャ人	27.1%	タイ人	16.0%
オランダ人	26.7%	ブリヤート人 (シベリア)	16.0%
ウクライナ人	26.6%	中国人-広東人	15.3%
ユダヤ人 (ドイツ)	26.4%	キン族	15.2%
ラトビア人	26.1%	フィリピン人	14.8%
バスク人	26.0%	ナバホ族	14.6%
ベルギー人	25.8%	キクユ族 (ケニア)	11.3%
イングランド人	25.6%	マレー人	10.6%
ロシア人	25.5%	スーダン人	9.5%
エジプト民族	25.3%	モロス	9.3%
ブラジル人	25.2%	ネイティブアメリカン	8.6%
イタリア人 (ミラノ)	25.2%	ニコバル人	5.1%
エストニア人	25.1%	マヤ人	0.5%
南アフリカ人	25.1%	ボロロ人 (ブラジル)	0.0%
白人アメリカ人	25.1%	ペルー先住民	0.0%
		ジョンベン人 ニコバル系	0.0%

世界の民族の B 遺伝子の割合ランキング (<http://www.bloodbook.com/world-abo.html> より算出)

B			
インド人 (インド)	40.5%	キクユ族 (ケニヤ)	11.9%
ヒンドゥー教徒 (ボンベイ)	40.1%	フィジー人	11.8%
カルムイク人	30.6%	セルビア系 (セルビア人)	11.7%
アイヌ (日本)	29.1%	マレー人	11.7%
ブリヤート人 (シベリア)	26.7%	モロス	11.5%
ジプシー (ハンガリー)	25.9%	スロバキア人	11.3%
中国人-北京人	24.5%	アルメニア人	10.6%
チュヴァシ人	24.3%	ギリシャ人	10.2%
大アンダマン人	24.2%	オーストリア人	10.1%
朝鮮民族	23.6%	アルバニア人	9.8%
ビルマ族	22.9%	エスキモー (アラスカ)	9.7%
タイ人	22.9%	ユダヤ人 (ドイツ)	8.7%
タタール	22.9%	グルジア人	8.4%
アラブ人	20.7%	ニコバル人	8.4%
キン族	20.0%	ドイツ人	8.1%
アジア系アメリカ人	18.4%	デンマーク人	8.1%
ラトビア人	18.0%	スコッツ	7.9%
エジプト民族	17.9%	南アフリカ人	7.8%
フィリピン人	17.8%	白人アメリカ人	7.8%
日本人	17.4%	スペイン人	7.7%
ロシア人	17.3%	スウェーデン人	7.7%
エストニア人	17.0%	イタリア人 (ミラノ)	7.6%
アビシニア人	16.8%	アイルランド人	6.6%
中国人-広東人	16.5%	ポルトガル人	6.4%
バブア人 (ニューギニア島)	16.2%	アイスランド人	6.4%
ベルシア人	15.8%	オランダ人	6.4%
ポーランド人	15.3%	ブラジル人	6.3%
チェコ人	14.4%	イングランド人	6.2%
ルーマニア人	14.3%	ノルウェー人	6.1%
リトアニア人	14.2%	サン人	5.8%
ユダヤ人 (ポーランド)	14.0%	ベルギー人	5.6%
フィン人	13.7%	スイス人	5.3%
ウクライナ人	13.2%	フランス人	5.1%
エスキモー (グリーンランド)	13.1%	サーミ人	3.6%
黒人アメリカ人	13.0%	バスク人	2.7%
バントゥー	12.8%	ネイティブアメリカン	2.2%
テュルク系民族	12.5%	ハワイ先住民	1.6%
サルデーニャ人	12.4%	マオリ	0.7%
スーダン人	12.3%	マヤ人	0.5%
クロアチア人	12.1%	ボロロ人 (ブラジル)	0.0%
ブルガリア人	12.1%	ナバホ族	0.0%
マジャル人	12.0%	ペルー先住民	0.0%
		ジョンベン人 ニコバル系	0.0%

世界の民族の O 遺伝子の割合ランキング (<http://www.bloodbook.com/world-abo.html> より算出)

O			
ボロロ人 (ブラジル)	100.0%	スイス人	63.1%
ペルー先住民	100.0%	リトアニア人	63.1%
ジョンベン人 ニコバル系	100.0%	ギリシャ人	62.7%
マヤ人	99.0%	アジア系アメリカ人	62.6%
ネイティブアメリカン	89.2%	ノルウェー人	62.2%
ニコバル人	86.5%	アルバニア人	61.8%
ナバホ族	85.4%	スペイン人	61.7%
モロス	79.1%	スウェーデン人	61.7%
スーダン人	78.2%	ベルシア人	61.6%
マレー人	77.8%	エスキモー (アラスカ)	61.4%
キクユ族 (ケニヤ)	76.8%	タイ人	61.0%
アイスランド人	74.7%	セルビア系 (セルビア人)	60.9%
サン人	74.3%	ハワイ先住民	60.5%
アイルランド人	72.2%	オーストリア人	60.3%
スコッツ	71.3%	ウクライナ人	60.2%
バスク人	71.3%	ビルマ族	59.7%
サルデーニャ人	71.0%	マジャル人	59.4%
黒人アメリカ人	69.8%	ポルトガル人	59.0%
ベルギー人	68.6%	フィン人	58.1%
ブラジル人	68.5%	エストニア人	57.8%
グルジア人	68.2%	ルーマニア人	57.7%
中国人-広東人	68.2%	ユダヤ人 (ポーランド)	57.5%
イングランド人	68.1%	アラブ人	57.3%
バントゥー	67.8%	ポーランド人	57.3%
フィリピン人	67.3%	ブリヤート人 (シベリア)	57.3%
エスキモー (グリーンランド)	67.3%	ロシア人	57.2%
マオリ	67.3%	ブルガリア人	57.0%
イタリア人 (ミラノ)	67.2%	エジプト民族	56.8%
南アフリカ人	67.1%	ラトビア人	55.8%
白人アメリカ人	67.1%	アルメニア人	55.3%
オランダ人	66.9%	日本人	54.9%
フィジー人	66.3%	チェコ人	54.5%
フランス人	65.6%	中国人-北京人	54.3%
テュルク系民族	65.4%	サーミ人	54.1%
クロアチア人	65.3%	チュヴァシ人	54.0%
アビシニア人	65.2%	タタール	53.6%
バブア人 (ニューギニア島)	65.1%	ジプシー (ハンガリー)	53.3%
ユダヤ人 (ドイツ)	64.9%	朝鮮民族	52.2%
キン族	64.8%	カルムイク人	50.6%
スロバキア人	64.7%	アイヌ (日本)	41.7%
ドイツ人	64.2%	インド人 (インド)	39.3%
デンマーク人	63.9%	ヒンドゥー教徒 (ボンベイ)	32.4%
		大アンダマン人	27.4%

世界の民族の6種血液型の割合ランキング (<http://www.bloodbook.com/world-abo.html> より算出)

	OO	AA	AO	BB	BO	AB					
ポロロ人 (ブラジル)	100.0%	タマンダラン人	27.9%	ハワイ先住民	46.0%	ヒンドロ-黒種 (ボンベイ)	18.3%	インド人 (インド)	35.3%	アイヌ (日本)	18.2%
ペルー先住民	100.0%	ゲルマン	17.7%	ゲルマン	45.3%	インド人 (インド)	18.2%	カラムイク人	31.2%	タタール	13.9%
シモンペン人 ニコバル系	100.0%	ワシ族先住民	14.4%	マオリ	43.2%	カラムイク人	9.4%	ブリヤート人 (シベリア)	30.8%	中国人-北京人	12.9%
マヤ人	97.0%	ポルトガル人	12.0%	ポルトガル人	41.0%	アイヌ (日本)	8.4%	ヒンドロ-黒種 (ボンベイ)	29.7%	ヒンドロ-黒種 (ボンベイ)	11.0%
ネイティブアメリカン	79.0%	アラビア人	11.8%	イスラム	40.0%	ブリヤート人 (シベリア)	7.2%	ジプシー (ハンガリー)	27.9%	カラムイク人	10.0%
ニコバル人	74.7%	マオリ	10.3%	ノルウェー人	39.4%	タマンダラン人	7.0%	タイ人	27.8%	日本人	10.0%
ナバ族	73.0%	ノルウェー人	10.1%	フランス人	38.4%	ジプシー (ハンガリー)	6.8%	ビルマ族	27.7%	ジプシー (ハンガリー)	9.9%
モロコシ	64.0%	イスラム	10.0%	チベット人	38.2%	チベット人	6.1%	チベット人	27.2%	朝鮮民族	9.9%
スーダン人	62.6%	チェコ人	9.7%	スペイン人	37.7%	中国人-北京人	5.8%	キン族	26.2%	パプア (ニューギニア島)	9.0%
マレー人	62.0%	ブルガリア人	9.6%	スウェーデン人	37.7%	朝鮮民族	5.7%	中国人-北京人	25.9%	タマンダラン人	8.9%
キクユ族 (ケニア)	60.0%	スペイン人	9.3%	バスク人	37.2%	ビルマ族	5.3%	朝鮮民族	25.0%	チェコ人	8.9%
サン人	55.4%	スウェーデン人	9.3%	デンマーク人	36.1%	タイ人	5.2%	アラブ人	24.6%	ポーランド人	8.9%
アイスランド人	55.4%	オーストリア人	8.8%	オランダ人	35.9%	タタール	5.1%	アイヌ (日本)	24.0%	ブルガリア人	8.1%
アイスランド人	52.0%	ヒンドロ-黒種 (ボンベイ)	8.6%	オーストリア人	35.7%	アラブ人	4.4%	タタール	23.9%	ブリヤート人 (シベリア)	8.0%
バスク人	51.0%	フランス人	8.6%	エスキモー (アラスカ)	35.6%	キン族	4.1%	フィリピン人	23.8%	スウェーデン人 (ポーランド)	8.0%
スコット	51.0%	アイヌ (日本)	8.4%	ドイツ人	35.4%	アジア系アメリカ人	3.5%	アジア系アメリカ人	23.5%	ロシア人	8.0%
サルデーニャ人	50.0%	エスキモー (アラスカ)	8.4%	ベルギー人	35.4%	ラトビア人	3.5%	中国人-広東人	22.2%	タイ人	8.0%
黒人アメリカ人	49.0%	ゲルマン	8.3%	イングランド人	35.0%	エジプト民族	3.2%	アシメニア人	22.1%	ジャバ族	7.9%
ベルギー人	47.0%	ドイツ人 (ポーランド)	8.2%	ブルガリア人	35.0%	フィリピン人	3.2%	ラトビア人	20.7%	エストニア人	7.9%
ブラジル人	47.0%	アラビア人	8.0%	ポルトガル人	35.0%	ロシア人	3.0%	エジプト民族	20.5%	ウクライナ人	7.1%
イングランド人	46.5%	フィン人	8.0%	マジャル人	34.7%	日本人	3.0%	パプア (ニューギニア島)	20.4%	インド人 (インド)	7.1%
グルジア人	46.5%	ルーマニア人	8.0%	ブラジル人	34.6%	エストニア人	2.9%	ロシア人	20.0%	ビルマ族	7.0%
バントウ	46.0%	デンマーク人	7.9%	ギリシャ人	34.2%	アシメニア人	2.9%	エストニア人	19.8%	クロアチア人	7.0%
中国人-広東人	46.0%	日本人	7.7%	イタリア人 (ミラノ)	34.2%	中国人-広東人	2.7%	スウェーデン人	19.7%	フィン人	7.0%
イタリア人 (ミラノ)	45.5%	セルビア人 (セルビア)	7.7%	ユダヤ人 (ベルリン)	34.1%	パプア (ニューギニア島)	2.6%	ベルギー人	19.5%	ドイツ人	7.0%
マオリ	45.5%	ドイツ人	7.6%	セルビア人 (セルビア)	33.9%	ベルギー人	2.5%	日本人	19.0%	ベルギー人	7.0%
オランダ人	45.0%	ポーランド人	7.4%	フェリス人	33.9%	ポーランド人	2.3%	モロコシ	18.8%	エスキモー (グリーンランド)	6.6%
フィリピン人	45.0%	ギリシャ人	7.4%	ブルガリア人	33.7%	ルーマニア人	2.1%	マレー人	18.6%	オーストリア人	6.1%
南アフリカ人	45.0%	ウクライナ人	7.2%	南アメリカ人	33.7%	チェコ人	2.1%	キクユ族 (ケニア)	18.6%	ポルトガル人	6.0%
白人アメリカ人	45.0%	スウェーデン人	7.1%	ルーマニア人	33.0%	リトアニア人	2.0%	黒人アメリカ人	18.3%	アラブ人	6.0%
エスキモー (グリーンランド)	44.6%	ラトビア人	7.0%	フィン人	33.0%	ユダヤ人 (ポーランド)	2.0%	リトアニア人	18.0%	ルーマニア人	6.0%
フィジー	43.6%	ユダヤ人 (ドイツ)	6.9%	スウェーデン人 (ポーランド)	32.8%	フィン人	1.9%	サルデーニャ人	17.5%	中国人-広東人	6.0%
アシメニア人	43.0%	バスク人	6.8%	ウクライナ人	32.4%	ウクライナ人	1.8%	ポーランド人	17.5%	リトアニア人	6.0%
フランス人	43.0%	ベルギー人	6.6%	グルジア人	31.9%	黒人アメリカ人	1.7%	バントウ	17.4%	フィリピン人	6.0%
ケルト系民族	42.6%	イングランド人	6.6%	タマンダラン人	31.5%	エスキモー (グリーンランド)	1.7%	エスキモー (グリーンランド)	17.3%	ルーマニア人	6.0%
キン族	42.4%	ロシア人	6.6%	スロバキア人	31.2%	バントウ	1.6%	ルーマニア人	16.9%	フィジー	5.9%
クロアチア人	42.0%	エジプト民族	6.5%	ポーランド人	31.2%	ケルト系民族	1.6%	ケルト系民族	16.8%	ケルト系民族	5.9%
ユダヤ人 (ドイツ)	42.0%	イタリア人 (ミラノ)	6.4%	アイスランド人	30.5%	スウェーデン人	1.5%	フィン人	16.1%	ウクライナ人	5.9%
スロバキア人	42.0%	グルジア人	6.4%	日本人	30.3%	サルデーニャ人	1.5%	ウクライナ人	16.1%	トルコ人	5.1%
デンマーク人	41.0%	エストニア人	6.4%	ラトビア人	30.0%	マジャル人	1.5%	ユダヤ人 (ポーランド)	15.8%	アシメニア人	5.0%
ドイツ人	41.0%	南アフリカ人	6.3%	サン人	29.7%	ブルガリア人	1.5%	タマンダラン人	15.6%	アジア系アメリカ人	5.0%
パプア (ニューギニア島)	41.0%	白人アメリカ人	6.3%	スコット	29.7%	クロアチア人	1.4%	ユダヤ人	15.7%	バントウ	5.0%
アジア系アメリカ人	40.0%	朝鮮民族	6.0%	ロシア人	29.4%	キクユ族 (ケニア)	1.4%	クロアチア人	15.6%	エスキモー (アラスカ)	5.0%
リトアニア人	40.0%	スロバキア人	5.8%	エストニア人	29.3%	マレー人	1.4%	フィジー	15.5%	ドイツ人	5.0%
イスラム	40.0%	グルジア人	5.5%	エジプト民族	29.1%	セルビア人 (セルビア)	1.4%	スロバキア人	14.7%	マジャル人	5.0%
ギリシャ人	39.6%	タタール	5.4%	クロアチア人	29.0%	フィジー	1.4%	マジャル人	14.5%	ユダヤ人 (ドイツ)	5.0%
ノルウェー人	38.6%	リトアニア人	5.2%	フィジー	28.9%	モロコシ	1.4%	セルビア人 (セルビア)	14.5%	ルーマニア人	5.0%
アルバニア人	38.0%	ベルギー人	5.1%	リトアニア人	28.8%	スロバキア人	1.3%	ニコバル人	14.0%	スロバキア人	5.0%
セルビア人 (セルビア)	38.0%	クロアチア人	5.0%	ケルト系民族	28.8%	アルメニア人	1.1%	ブルガリア人	13.7%	ベルギー人	5.0%
タイ人	37.0%	インド人 (インド)	4.5%	エスキモー (グリーンランド)	28.0%	ユダヤ人 (ドイツ)	0.8%	アルメニア人	11.9%	デンマーク人	4.6%
ウクライナ先住民	36.6%	アイスランド人	4.5%	朝鮮民族	25.7%	グルジア人	0.7%	グルジア人	11.4%	サマニ人	4.0%
ウクライナ人	36.6%	中国人-北京人	4.4%	ナバ族	24.9%	ニコバル人	0.7%	スコット	11.4%	ポルトガル人	4.0%
オーストリア人	36.4%	ジプシー (ハンガリー)	4.4%	タタール	24.6%	ドイツ人	0.7%	ユダヤ人 (ドイツ)	11.2%	南アフリカ人	4.0%
ビルマ族	36.4%	スコット	4.3%	チベット人	24.4%	デンマーク人	0.7%	南アフリカ人	10.4%	黒人アメリカ人	4.0%
マジャル人	36.0%	サン人	4.0%	アジア系アメリカ人	24.3%	スコット	0.6%	白人アメリカ人	10.4%	白人アメリカ人	4.0%
ポルトガル人	35.0%	エスキモー (グリーンランド)	3.8%	黒人アメリカ人	24.0%	南アフリカ人	0.6%	デンマーク人	10.3%	ルーマニア人	4.0%
アラブ人	34.0%	バントウ	3.7%	アイヌ (日本)	24.0%	白人アメリカ人	0.6%	ドイツ人	10.3%	ベルギー人	3.0%
フィン人	34.0%	アジア系アメリカ人	3.7%	ポルトガル人	23.7%	スペイン人	0.6%	イタリア人 (ミラノ)	10.3%	ブラジル人	3.0%
ルーマニア人	34.0%	ベルギー人 (ベルギー)	3.6%	パプア (ニューギニア島)	23.6%	スウェーデン人	0.6%	アイスランド人	9.6%	ドイツ人	3.0%
エストニア人	33.7%	アイスランド人	3.6%	ルーマニア人	23.3%	イタリア人 (ミラノ)	0.6%	アイスランド人	9.5%	フランス人	3.0%
ブリヤート人 (シベリア)	33.0%	パプア (ニューギニア島)	3.4%	中国人-北京人	22.4%	アイスランド人	0.4%	スペイン人	9.4%	ブルガリア人	3.0%
ユダヤ人 (ポーランド)	33.0%	アシメニア人	3.3%	ジプシー (ハンガリー)	22.4%	ポルトガル人	0.4%	スウェーデン人	9.4%	スコット	3.0%
ロシア人	33.0%	ビルマ族	3.3%	ビルマ族	21.0%	オランダ人	0.4%	ブラジル人	8.6%	イスラム	3.0%
エジプト民族	32.7%	黒人アメリカ人	3.0%	中国人-広東人	20.7%	アイスランド人	0.4%	オランダ人	8.6%	イングランド人	3.0%
ポーランド人	32.7%	サルデーニャ人	2.7%	ヒンドロ-黒種 (ボンベイ)	20.4%	ブラジル人	0.4%	サン人	8.6%	アイスランド人	3.0%
ブルガリア人	32.3%	ブリヤート人 (シベリア)	2.6%	キン族	19.9%	イングランド人	0.4%	イングランド人	8.5%	イタリア人 (ミラノ)	3.0%
ラトビア人	32.0%	タイ人	2.6%	フィリピン人	19.8%	ノルウェー人	0.4%	ベルギー人	7.7%	サン人	2.0%
アルメニア人	31.0%	キン族	2.3%	タイ人	19.4%	サン人	0.3%	ポルトガル人	7.6%	ニコバル人	1.0%
チベット人	30.3%	中国人-広東人	2.3%	カラムイク人	19.2%	ベルギー人	0.3%	ノルウェー人	7.6%	バスク人	1.0%
日本人	30.0%	フィリピン人	2.2%	ブリヤート人 (シベリア)	18.4%	イスラム	0.3%	フランス人	6.7%	ネイティブアメリカン	1.0%
チェコ人	29.7%	ナバ族	2.1%	キクユ族 (ケニア)	17.7%	フランス人	0.3%	スウェーデン人	6.7%	キクユ族 (ケニア)	1.0%
サマニ人	29.0%	キクユ族 (ケニア)	1.3%	インド人 (インド)	17.7%	サマニ人	0.1%	ネイティブアメリカン	4.0%	ハワイ先住民	1.0%
中国人-北京人	28.7%	マレー人	1.1%	マレー人	16.9%	バスク人	0.1%	バスク人	3.9%	ドイツ人	1.0%
ジプシー (ハンガリー)	28.7%	スウェーデン人	0.9%	ネイティブアメリカン	15.3%	ネイティブアメリカン	0.0%	サマニ人	3.8%	ポロロ人 (ブラジル)	0.0%
タタール	28.0%	モロコシ	0.9%	スウェーデン人	15.2%	ハワイ先住民	0.0%	ハワイ先住民	2.9%	マレー人	0.0%
朝鮮民族	27.7%	ネイティブアメリカン	0.7%	モロコシ	15.1%	マオリ	0.0%	マオリ	1.0%	マオリ	0.0%
カラムイク人	25.7%	ニコバル人	0.3%	ニコバル人	8.8%	マヤ人	0.0%	マヤ人	1.0%	モロコシ	0.0%
アイヌ (日本)	17.2%	マヤ人	0.0%	マヤ人	1.0%	ポロロ人 (ブラジル)	0.0%	ポロロ人 (ブラジル)	0.0%	ナバ族	0.0%
インド人 (インド)	17.2%	ポロロ人 (ブラジル)	0.0%	ポロロ人 (ブラジル)	0.0%	ナバ族	0.0%	ナバ族	0.0%	ベルギー先住民	0.0%
ヒンドロ-黒種 (ボンベイ)	12.0%	ベルギー先住民	0.0%	ベルギー先住民	0.0%	ベルギー先住民	0.0%	ベルギー先住民	0.0%	ジョコバネ人 ニコバル系	0.0%
タマンダラン人	8.9%	ジョコバネ人 ニコバル系	0.0%	ジョコバネ人 ニコバル系	0.0%	ジョコバネ人 ニコバル系	0.0%	ジョコバネ人 ニコバル系	0.0%	スウェーデン人	0.0%

を整えることに専念していることが窺える。

全体主義の B 遺伝子、自由主義の A 遺伝子

世界には全体主義の国家がいくつか存在する。最も代表的なのは中国であろう。共産党による一党独裁が続いており、人民は共産党の意に背く行為は許されない。そこには民主主義も言論の自由もほとんど存在しないのである。中国は世界の中では B 遺伝子が多い方である。同様に、世界一の独裁国家といわれる北朝鮮も B 遺伝子の割合は高い。共産主義であるベトナムなども B 遺伝子の割合が高い。

対して、A 遺伝子の割合が高い欧米の国家は、もっぱら自由主義、民主主義、資本主義である。アジアの中で最も A 遺伝子の割合が高い日本も然りである。この違いはどこから来るのだろうか。

先述したように、A 遺伝子は常に物事や社会を秩序化、体系化して管理する志向性がある。故に、A 遺伝子が多い集団は放っておいても自ずと体系的な社会が構築されるのである。だから、A 遺伝子の多い欧米や日本では政治的に自由にしておいても、秩序だった社会が自ずと成り立つのである。

対して、B 遺伝子は、体系化された環境の中では力を発揮するが、自ら体系を構築することは苦手である。B 遺伝子が多い集団を放っておいても、ひたすら混沌が続くだけである。自ら体系化された社会を築くことはできない。だから、為政者は全体主義の国家体制を強制的に構築し、人民全体をガチガチに規定しなければ国家が成り立たないのである。また、B 遺伝子の特徴である、上下関係を重視するという特徴もこの傾向を強める。すなわち、B 遺伝子は権力や権威というものに対して、素直に従う傾向が強いのである。B 遺伝子が多い国に共産主義、全体主義、独裁国家が多いのは、このような理由からである。

第二次世界大戦後の米ソの冷戦も、血液型の割合の差によるものである。西側諸国は A 遺伝子の割合が高く、B 遺伝子の割合は低い。ソ連（現在のロシア）は B 遺伝子が 16%ほど存在し、ヨーロッパや北米の西側諸国よりも圧倒的に高い。（ヨーロッパでは東側に行くほど B 遺伝子の割合が高まる。）冷戦においては、A 遺伝子の割合が高く B 遺伝子が低い西側諸国（自由主義、資本主義、民主主義）vs B 遺伝子が多い東側諸国（社会主義、全体主義、共産主義）、という対立だったのである。東アジアでも、比較的 A 遺伝子が多い日本が西側、比較的 B 遺伝子が多い中国が東側となったのである。

究極の B 遺伝子国家・インド

B 遺伝子の割合について考える際に避けて通れないのがインドだ。インドは世界で最も B 遺伝子の割合が高い。インドでは、人も車もウシも皆同じ道を歩いている。インドの人々はガンジス川で水浴びをすることで有名だが、この川には排泄物も流すのである。B 遺伝子の混沌姓が社会全体に表れた事例とも言えるだろう。

インドは独裁国家ではないが、政治体制以前にカースト制度によって社会がガチガチに身分化されている。インドの人々は、自らが生まれたカーストにおいて懸命に生きること、次に生まれてくるときには上位のカーストに生まれ変わることができると考えているため、この制度は特に問題は起こらない。これはいかにも B 遺伝子らしい考え方である。B 遺伝子は与えられた環境を絶対視し、その中で何かを極めることを得意とするが、自ら社会や環境を構築することは苦手なのだ。よって為政者は何らかの形であらかじめ社会を体系化しておかなければ国が成り立たないのである。カースト制度はその究極だ。カースト制度は 3500 年前にアーリア人がインドに侵入した際に構築された制度である。インドには元来から B 遺伝子が多かったのだろう

が、このような集団をまとめるため、アーリア人はカースト制という身分制度を用いたのだと思われる。

インドは、世界一の IT 大国でもある。これは B 遺伝子の特徴を如実に反映している。B 遺伝子は、与えられた環境の中で物事を極め、処理する能力が非常に高い。IT 技術はそれに当てはまる。IT 産業の元締めは欧米諸国であるが、こと技術的な点はインドが中心である。世界の IT 産業は、A 遺伝子の多い欧米が産業構造の枠組みを作り、B 遺伝子の多いインドが技術的な部分をもっぱら担っていると言えよう。

先住民の血液型は偏りが多い

世界を見渡すと、いわゆる先住民と呼ばれる人々の血液型は偏りが大きいことが目につく。アメリカ先住民はほとんど O 型である。特に南米先住民は O 遺伝子が 100% だ。日本列島の先住民であるアイヌは、O 遺伝子の割合がかなり少なく、A 遺伝子と B 遺伝子の割合が高い。大アンダマン諸島の先住民も O 遺伝子が低い。オーストラリアの先住民、アボリジニは A 遺伝子と O 遺伝子のみで、B 遺伝子が全く存在しない。ハワイ先住民も B 遺伝子はほとんど存在しない。このように先住民の血液型は偏っている。文明を発祥させるような集団は、A、B、O の血液型が平均的に全て揃っている必要があるのだろう。

B 遺伝子を持つ集団は外敵侵入に強い

大航海時代以降、世界のほとんどの地域が欧米列強に支配された。当時欧米列強は全世界の制覇を狙っていたはずである。しかし現在、各地域によってその程度は異なった状態にある。オーストラリアや南北アメリカ大陸では先住民の文化が殆ど壊滅し、人口も激減した。いっぽうで東南アジアや南ア

ジア、アフリカでは、植民地支配はされたものの、先住民族の文化や人口は基本的に保たれている。東アジアについては、欧米列挙による植民地化そのものがなされなかった。この違いも血液型で説明できる。

先住民の文化や人口のほとんどを失ったオーストラリア先住民と南北アメリカ先住民は O 遺伝子と A 遺伝子のみであり、B 遺伝子を持たないのである。（特に南米先住民は O 遺伝子しか持たない。）支配者側のヨーロッパ人は O 遺伝子と A 遺伝子に加え、低頻度ながら B 遺伝子も持つ。集団の血液型遺伝子は多種持っている方が有利だ。異なる考え方や能力をその集団に与えるからだ。O 遺伝子だけの集団よりも、O 遺伝子と A 遺伝子の 2 種類を持つ集団の方が物事に重層的に対処できるので「強い」であろうし、そこに B 遺伝子を加われば、遺伝子要素が 2 から 3 に増えるのでより強くなるだろう。すなわち、血液型遺伝子は集団にとって、「武器」とみなせる。オーストラリア先住民やアメリカ先住民は O 遺伝子と A 遺伝子という 2 種類の「武器」しか持たないのに対し、支配側のヨーロッパ人は O 遺伝子、A 遺伝子に加え B 遺伝子も合わせた 3 種類の「武器」を持つ。2 種類の武器を持つ集団と 3 種類の武器を持つ集団が戦えば、3 種類の武器を持つ集団が勝つのが当然だろう。だからオーストラリア先住民やアメリカ先住民は文化・人口の面で欧米列挙にほとんど太刀打ちできなかったのである。

対して、アジアやアフリカはどうか。アジアとアフリカの集団はほぼすべてで、O 遺伝子、A 遺伝子、B 遺伝子と、3 種類の「武器」を持つ。支配する側のヨーロッパ人と同じだ。一時の勢いで欧米列挙の植民地になったが、アジア・アフリカ vs 欧米列挙は、同じ 3 種類の武器を持つ集団同士、潜在的には互角だったのだろう。第二次世界大戦後、多くの植民地が独立したが、先住民族の人口や文化は殆ど壊滅していなかったのである。そればかりか、近年はアジアとアフリカでは人口が急増している。

上下関係に厳しいアジアと寛容な欧米

日本を含む東アジアは上下関係に厳しい。日本では目上の人には敬語を使う。目上の人への対し方と目下の人への対し方は明らかに異なる。他の東アジアでも基本的にはそうである。対して、欧米では、目上、目下という区別はあまりしない。仕事における上司部下という関係は当然あるが、それは業務遂行に限られる。欧米では基本的に上下関係には寛容であり、丁寧な表現はあるが、身分や立場よりも、個人個人に対して尊重するという傾向が強い。

これも血液型で説明可能だ。東アジアではB遺伝子の割合が多い。B遺伝子は自らの立場を重視する。すなわち、目上の人に対しては有無を言わず自らが従うのが当然のことと考え、目下の人からは自らに従って当然だと考える傾向がある。だから、上下関係が厳しくなるのだ。A遺伝子はこのような傾向は少ない。むしろ、立場にかかわらず、相手を認めることを重視する傾向がある。東アジアと欧米の社会における対人文化の違いもまた、血液型から来ていると言えるだろう。

写實的・論理的な西洋、情緒的・経験的な東洋

A遺伝子が多い西洋（ヨーロッパ）、B遺伝子が東洋（東アジア）という文化的対比は、他にも様々な面で現われる。例えば絵画である。西洋画は極めて写實的である。いかに実物に忠実に描くかということに注力して描かれたのが西洋画である。対して、東洋画は幾分情緒的である。実物への忠実性は西洋画に劣るが、作者の感性を大いに表現する絵となっている。実物への忠実性というよりも、描く者がどう感じたかを顕著に表すのが東洋画の画風であろう。これは、A遺伝子が多くB遺伝子が少ない西洋では感情を排して

客観的に物事を見る傾向があるのに対し、B 遺伝子が多い東洋では物事を感覚的・主観的に見やすい傾向があることを示している。

血液型の対比は、科学や学問という観点にも現われる。科学・学問は西洋で発達したものと思われがちだが、東洋でもかなりの蓄積がある。気功や東洋医学などの体系には驚かされるが、その根底にあるのは、経験と感覚である。すなわち、東洋の学問はすべて経験から成っていると言ってよいだろう。対して、西洋の学問は非常に論理的である。物事を理詰めで解明していくのは西洋の十八番である。このような学問における文化的差異も、血液型が作用していると考えられる。A 遺伝子が多い西洋では物事を論理的に追求することに長けている。B 遺伝子が多い東洋では物事を感覚的に処理していくことに長けているのである。

各国のリーダーの血液型

日本	岸田文雄	AB
	菅偉人	OO
	安倍晋三	BO
アメリカ	ジョー・バイデン	?
	ドナルド・トランプ	AO
	バラク・オバマ	AB
中国	習近平	BB
ロシア	ウラジーミル・プーチン	?
台湾	蔡英文	OO
韓国	文在寅	BO

人の移動と血液型分布

○が開拓し、Aが体系立て、Bが洗練させる

次頁図は人類の移動経路と入植時期を示したものである。この図と P130 の血液型因子の分布図を並べて見てわかることは、人類が最近到達した地には O 遺伝子が多いことである。アメリカ大陸、特に最も最近に人類が足を踏み入れた南アメリカ大陸は O 遺伝子しかいない。これは、人類未踏の地への移住の際、まず最初に O 遺伝子が進出することを示している。O 因子のパイオニア精神によるところが大きいだろう。

O 因子の後に進出するのが A 因子である。南米よりもわずかに人類史が長い北米大陸の先住民には、A 因子もある程度見られる。ヨーロッパなど人類の歴史が浅い地域（ヨーロッパは最終氷期にはほとんど大陸氷河に覆われていた）でも A 遺伝子が多い。新天地においては、O 遺伝子が人類社会の基礎を築き、A 遺伝子が更に高度な秩序を構築するといえよう。

最後に進出するのが B 遺伝子である。B 遺伝子の頻度が高いのはインドやユーラシア中央部など、人類居住から時間が経っているところが多い。これは、A 因子が構築した高度な秩序を利用して、B 因子が技術的にさらに磨きをかけることを示している。B 因子は自ら秩序を構築することが苦手だが、構築された秩序の中で技術を極めることに長けている。B 因子は A 因子が整えた秩序があって初めて勢力を拡大できる可言えよう。その証拠に、O 因子と B 因子のみの集団というのは世界には存在しない。B 因子のある集団には必ず A 因子が存在する。

O 因子が多く A 因子と B 因子が少ないアフリカ人

アフリカは現生人類誕生の地である。当然居住の歴史も長い。しかしアフ

リカではO因子が最も多くなっている。なぜか。これには血液型の心理的・社会的力学が大いに働いていると考えられる。第4章で述べた、A、B、O遺伝子型の得意、苦手の関係である。

人類居住からある程度時間が経っている集団ではB因子の割合が高くなるが、そうになると、相対的にB因子を苦手とするA因子が生きづらくなり、A因子の割合が減っていく。すると相対的に集団におけるO因子の割合が増えることになる。こうなるとO因子を苦手とするB因子は減っていかざるを得ない。社会の秩序化が得意なA因子の減少に伴い、社会が無秩序化すること、B因子にとってはマイナスとなる。（B因子は秩序化された環境で力を発揮するが、自ら環境を秩序化することは苦手である。）これによりB因子は減少に転じる。B因子が減少し、O因子が相対的に増加するのに伴い、A因子の割合も僅かに回復する。こうして最終的には、O因子が圧倒的 maximum で、少ないA因子、B因子という平衡状態に至ると考えられる。これが現在のアフリカである。

A因子とO因子しかないポリネシア人

アメリカ先住民の他にも、世界では、A因子とO因子のみでB因子が殆ど見られない集団もいる。ポリネシア人とオーストラリア先住民である。

ポリネシアは1600年前までは人類未到の地であった。であれば、南アメリカ大陸の例を見れば、まずはO因子のみが進出し、その後A因子が進出すると考えるのが自然かもしれない。しかしポリネシアにはA因子がO因子と共に最初から進出している。これは、アメリカ大陸とポリネシアにおける環境条件の決定的相違によるものと考えられる。

アメリカ大陸は人類到達まで、大型哺乳類の楽園であった。マンモス、地上性巨大ナマケモノ、巨大ラクダ、ジャイアントバイソン、野生の大型馬

等、現在では考えられないくらい巨大な大型哺乳類が多数生息していた。これらはすべて人類によって絶滅させられてしまったのだが、逆に言えば、初めてアメリカ大陸に到達した人類はこのような大型哺乳類という“脅威”に立ち向かわなければならなかったはずである。このような環境で生き残れるのは、戦闘力の高い O 因子だけである。神経質で臆病な A 因子は生きていけなかっただろう。O 因子は生粋のハンター気質で、人類の生存に脅威となる大型哺乳類をすべて絶滅させてしまったと考えられる。その後、大型哺乳類のいなくなったアメリカ大陸に A 因子が進出した。（ただし南米までは達しなかったため、現在の南米先住民は O 因子のみであると考えられる。）

対して、ポリネシアには大型哺乳類という脅威は存在しなかった。よって、A 因子も生き残り、共にパイオニア集団として未到地に分布を広げることができた。むしろ航海という高度な管理を要する移動形態をとっていたポリネシア人にとって、A 因子は必須であったのだろう。

A 因子が多いエスキモー

類似の例がエスキモーである。エスキモーはアラスカからカナダ極北、グリーンランド沿岸部に居住する海洋性民族であるが、もともとはシベリア東部に住んでいたとされる。エスキモー（アラスカ）は A 因子の割合が 29% であり、世界の中では比較的高い。一方で、エスキモーの原郷とされる東シベリアでは A 因子の割合が低く、B 因子の割合がずっと高いのである。すなわち、結果的に、A 因子がシベリア東部から追い出されあるいは自主的に脱出し、新天地を求めてアラスカ、カナダ極北、グリーンランドへ旅立ったのである。これは前述のポリネシア人と近いところがある。A 因子（と O 因子も）は、新天地、特に海洋に進出して新天地を目指す傾向があるのだ。そしてその原郷地は比較的 B 因子が高いのである。（ポリネシア人の原郷地とさ

れる東アジア南部・東南アジアも A 因子は少なく、B 因子の方が多い。)つまり、もともとの居住地(大陸)において、A 因子にとってなかなかやりづらい B 因子が増えてきたことで、一部の A 因子が新天地を目指して新天地(海洋)に旅立っていったのであろう。対して、B 遺伝子は新天地に興味は無く、今居る場所にとどまり続ける傾向が強いのである。

B 因子が多い中国・朝鮮、A 因子が多い日本

日本もまた、この「新天地」にあたる。日本は東アジアの中でもチベットと並んで最も A 遺伝子の割合が高い地域であるが、大陸部の中国や朝鮮では B 因子の割合が高い。日本人の起源は大陸にあるのは自明であるから、大陸縁辺部のさらに外の日本列島に、大陸の中心部から、相対的に A 因子を高頻度・B 因子を低頻度に持つ人々が移住してきたことになる。

そして日本国内でも新天地には B 因子が少ない。北海道である。北海道は明治以降本格的に和人が入植した国内の新天地だが、どの地域よりも B 因子が少ない。やはり B 因子は新天地に興味が無いのであろう。

A 因子と O 因子のみのオーストラリア先住民

オーストラリア大陸は人類居住から 5 万年以上が経っている。時間的に考えれば B 因子が多くても良さそうなものだが、実際は全く存在しない。これは、アボリジニの祖先の集団の段階で A 因子と O 因子しかおらず B 因子が全く存在しなかったことが現在まで続いているか、あるいはある時期に集団が非常に小規模になり、B 因子が消滅してしまったのだろう(いわゆるボトルネック効果)。なお、オーストラリアにもジャイアントカンガルーなどの大型哺乳類はいたが、アメリカ大陸と比べれば、その大きさと数は遙かに劣

っていたと考えられる。よって、A 因子の進出も最初から可能だったのであろう。

現生人類の拡散と血液型

以上をふまえると、人類の拡散と血液型の興隆の時系列順序は、以下のようになろう。

1：O 因子が人類未到地に最初に進出。これは O 因子の大型動物に対する戦闘力の高さと、パイオニア精神によるところが大きい。（例：南アメリカ先住民：1 万年）

2：O 因子が人類生存の基盤を作ったうえで、A 因子が進出し、社会秩序を構築。O 因子に対して相対的に優位に立ちやすい A 因子が主導権を握る社会となる。（北アメリカ先住民：1.5 万年）

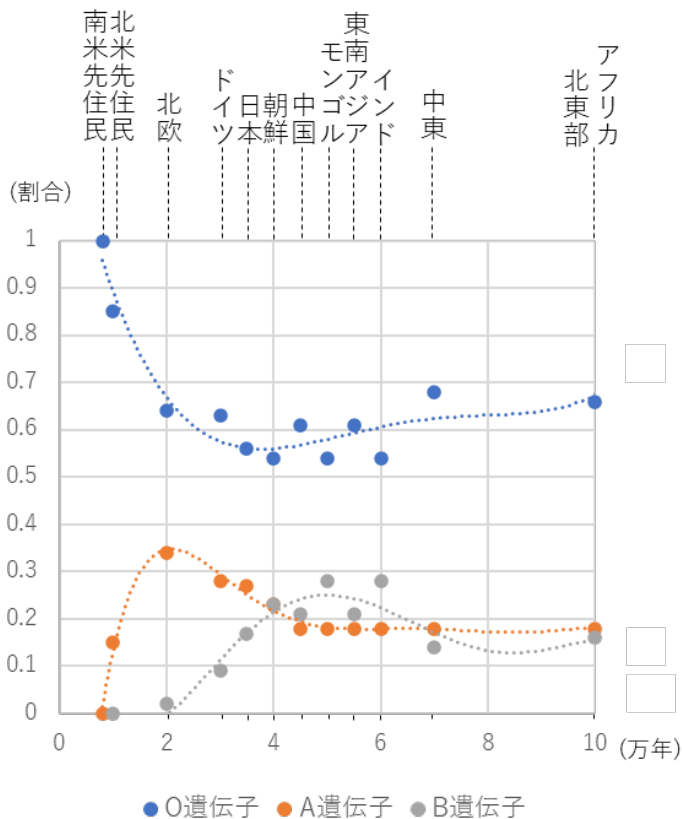
※大型哺乳類などの環境的脅威がない場所では、最初から A 因子が O 因子と同時に進出する。（例：ポリネシア：0.2 万年）

O 因子と A 因子は、ともに未開の地への関心が強いといえる。

3：A 因子が整えた秩序の上に、B 因子が進出。優れた技術力によって、社会はより洗練されたものとなる。自己防衛力も高まる。（ヨーロッパ：3 万年、日本：3.5 万年）

4：B 因子が増えていき、逆に B 因子を苦手とする A 因子は減っていく。（中国：4 万年、インド：6 万年）

5 : A 因子が減ること、集団内での O 因子の割合が相対的に増えるため、O 因子を苦手とする B 因子の割合が減っていく。それに伴い、A 因子の割合もある程度回復。O 因子が圧倒的に多く、A 因子が B 因子よりも少し高いという、平衡状態になる。(アフリカ：10 万年)



人類が入植してからの年数と血液型因子の割合

コラム：動物・植物の血液型

動物・植物にも人間と同じような血液型物質が存在するようだ。しかし、それは人間の血液型遺伝子と相同な遺伝子によるものとは限らないようである。人間に近縁な霊長類では人間と相同な ABO 型遺伝子によって血液型が発現するようである。よって、少なくとも霊長類については、血液の型によって人間と同様の「血液型気質論」が語れるということになる。その他の生物については、人間の血液型遺伝子と相同な遺伝子は存在するようだが、それが血液の型を発現する遺伝子かどうか、分析しなければ何とも言えないだろう。それ以前の問題として、まずは人間において血液型遺伝子が気質を司るメカニズムが解明されなければ、動物における血液型気質論について議論できる下地は整わない。動物の血液型気質論は生物の進化にも関わる非常に興味深い話だと思う。今後の研究に期待したい。

第7章

血液型気質論のこれから

血液型気質論は「占い」ではなく「科学」である

書店に行くと、血液型の書籍はだいたい「占い」のコーナーに置かれている。残念ながら、血液型気質論は一般に占い扱いされることが多いのだ。確かに「血液型と気質の関係は科学的に証明されていない」と言われればそれまでだろう。しかし筆者は血液型を「占い」として扱われている現状に大きな憤りを覚えている。

そもそも、血液型は遺伝子である。遺伝子を分析するのは科学である。そして気質を分析するのも科学だ。ならば「血液型気質論」は間違いなく「科学」の範疇に属すはずである。確かに、血液型と気質の関連性は立証されていないのかもしれない。しかしそれを解明していくという行為自体が科学であるべきだ。冒頭で記したように、日本の心理学会は血液型と気質との関係を科学的に解明しようとする行為自体を頭から拒絶している。こんな現状では「血液型気質論」が日本の学会から科学として扱われるのは到底先の話になるだろう。

しかし、血液型と気質との関連性を確信している人たち（おそらく本書の読者のほとんど）は、「血液型気質論は科学である」と言っても何も違和感はないはずである。

とはいえ、さしあたり、血液型気質論を世間一般において認められる科学に昇華させるには、以下が必要であると筆者は考えている。

遺伝子型の検査を普及させるべき

血液型気質論を正しく認識するためには、遺伝子型で識別する必要がある。本書で何度も述べてきたとおり、血液型はAA型、BB型、AB型、AO型、BO型、OO型の6種類である。巷で定着してしまっている「A型」、「B型」、「O型」、AB型という4区分自体が根本的に間違っている。ここの認識の根本を変えないと正しい科学的議論自体が不可能である。

日本人はだいたい出生時に血液型を調べるが、その際に、AA型とAO型、BB型とBO型を区別することは行わない。赤血球の糖鎖という表現型に差がない（輸血においては両者の区別は不要だ）からだ。赤血球の糖鎖という形質においては、A遺伝子とB遺伝子が共顕性、O遺伝子が隠性なのである。しかし、本書の第1章で述べたとおり、気質については全く別物であると考えられる。

本書で述べてきたとおり、筆者の長年の観察では、AA型とAO型、BB型とBO型は明らかに気質が異なる。AO型とAA型の気質の差は、AO型とAB型の差と全く同様である。気質発現においては、A遺伝子、B遺伝子、O遺伝子はすべてが共顕性と考えられるのだ。糖鎖と気質を決めている遺伝子の領域は同じか、かなりの部分で重複しているが、その発現のメカニズムは全く異なるのであろう。

このような議論を行っていくためにも、まずは血液型の正しい理解のために、AA型、BB型、AB型、AO型、BO型、OO型の6分類が行える体制を整える必要がある。

気質発現のメカニズムの解明と統計データの収集が必要

血液型が科学として昇華するためには、血液型遺伝子が気質に発現するメカニズムを解明しなければならない。一般的に（血液型遺伝子以外で）、気質に影響を及ぼす遺伝子は既に複数発見されている。血液型遺伝子が気質に作用するメカニズムが明らかになる日も遠くないかもしれない。このメカニズムが解明されて初めて、血液型は科学として世間に認められると思われる。

また、血液型と気質との関係を論じる際に不可欠なのが、大量の心理学的データだ。6 タイプの血液型ごとに、気質、適性、相性などを徹底的に調査し、データを大量に蓄積し、科学的に論じていくベースを構築していくべきである。

この、発現メカニズムの解明と統計データの蓄積という両輪で進めていくことが、血液型気質論が万人から科学として認められるためには必要不可欠であろう。

差別でなく 区別

日本人の中には、血液型気質論を全否定し、議論すら拒む人がいる。その理由は大概、「差別につながるから」だという。2000 年代前半に沸き起こった血液型ブーム時には、何本もの血液型に関するテレビ番組が放送されていたが、最近はめっきり見なくなった。なんでも血液型気質論は「差別につながる」という批判がテレビ局に殺到したためだという。しかし、そんな理由で血液型気質論の議論自体が否定されることは非常に残念なことだと思う。

これは人種差別と人種研究の関係と同じだ。近年、人類学において人種の研究自体が下火である。「人種は存在しない」という人までいる。しかし、現在まで蓄積された各種の形質人類学的データからは、「人種」という区分が存

在することは明らかである。人種「差別」が否定されるという風潮の中で、人種を科学的に研究するという風潮までが否定されているのが現状である。こんな状況は非常に非科学的である。人種差別は政治問題、人種研究は科学である。政治は科学に左右されてはならない。どんな世の中であろうと、真実のみを追究するのが科学の役目である。それ以上でも以下でもない。科学が政治に左右されるようなら、それはもはや科学とは呼べないであろう。

血液型も同じだ。血液型による「差別」が存在し得ること自体は否定しないが、それは、血液型気質論の科学研究を否定する理由にはならない。血液型差別は政治問題、血液型気質論の研究は科学である。「差別が起こるから」という理由で科学である血液型気質論の議論自体を放棄してしまうのは、人類を真実の叡智から永久に遠ざける極めて愚かな行為でしかない。

そもそも、血液型気質論という科学がもたらすのは、本来は「差別」でなく「区別」である。「区別」とは人間の認知において最も基本的な概念である。性別の区別、年齢の区別、身体の区別、出身地の区別、国籍の区別、身分の区別、人種の区別、人と動物の区別、生き物（種）の区別、物の区別・・・人間は日々様々なものを区別して識別している。それは、「区別」というものが、生きる上で、必要不欠で、更に言えば、生きるために多大なメリットがあるからだ。人間でも、生物でも、物であっても、相手（対象）の属性を理解することで、よりよい関係を構築することが可能になるのである。血液型も同様のはずである。

相手の血液型を知れば、各血液型の特徴を踏まえ、円滑で良好な人間関係を築く助けとなる。それはお互いにとって良いことである。血液型は良好な人間関係の構築おける、最も大きな武器の一つになり得るのである。「血液型気質論は差別だ」と否定的に捉えるのではなく、人間関係に有用なツールで

あるとポジティブにとられることで、世界は大きく変わっていくはずである。

<参考文献>

- ・ ABO FAN <https://abofan.jimdofree.com/>
- ・ ABO WORLD <https://www.human-abo.org/>
- ・ Shoko Tsuchimine, Junji Saruwatari, Ayako Kaneda, Norio Yasui-Furukori (2015) ABO Blood Type and Personality Traits in Healthy Japanese Subjects, Plos One.
- ・ 金澤正由樹 (2014)『統計でわかる 血液型人間学 入門』幻冬舎ルネッサンス
- ・ 鈴木芳生 (2005)『血液型 性格判断』日本文芸社
- ・ 鈴木芳生 (2008)『人付き合いが驚くほどうまくいく！「血液型」の本』王様文庫
- ・ 武田知弘 (2018)『本当はスゴイ！ 血液型』ビジネス社
- ・ 能見俊賢 (2001)『「血液型」怖いくらい性格がわかる本』三笠書房
- ・ 能見俊賢 (2004)『血液型おもしろ読本ふたたび！』文化創出版
- ・ 能見俊賢 (2002)『決定版【血液型】ココロと体に効く辞典』青春文庫
- ・ 能見正比古 (1971)『血液型でわかる相性 伸ばす相手、こわす相手』青春出版社
- ・ 服部治 (2019)『9 タイプの血液型 (遺伝子型) による相性』信毎書籍出版センター
- ・ 藤田紘一郎 (2006)『パラサイト式血液型診断』新潮選書
- ・ 藤森真 (2004)『血液型・相性診断』金園社
- ・ 古畑種基 (1962)『血液型の話』岩波書店
- ・ 山本茂 (1986)『Bioscience Series 血液型』化学同人
- ・ 夢プロジェクト (2008)『血液型 比べてビックリ！その人の人間性が見える本』夢文庫

